R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事





詪	果長	副課長	課長補佐	課長補佐	係	長	課	員	担	当

# R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事

設備設計一級建築士

第6211号

浅山 明

第286776号

第384579号

17992

		八龙工 場门総日建勤公園	바ョ	]##.E	は立石 野球场人コアホート攻修工事							
一連番号	図面番号	図 面 名 称	連番号	図面番号	図 面 名 称	一連番号	図面番号	図 面 名 称	一連番号 図面番号	図 面 名 称連番	番号 図記	面番号 図面名称
001		表紙	061	E- 059	非常照明・誘導 <u>灯設備 2 階平面図</u>	121	E- 119	自動火災報知設備 1階平面図(1)	181 E- 179	ナイター照明 仕様・機器姿図・システム系統図 241	1 E-	239
002	E- 000	図面リスト	062	E- 060	非常照明・誘導灯 <u>設備 3階平面図</u>	122	E- 120	自動火災報知設備 1階平面図(2)	182 E- 180	ナイター照明 ピット階平面図 242	2 E-	240
003	E- 001	電気設備工事特記仕様書(1)	063	E- 061	コンセント設備 1階平面図(1)	123	E- 121	自動火災報知設備 1階平面図(3)	183 E- 181	ナイター照明 1階平面図 243	3 E-	241
004	E- 002	電気設備工事特記仕様書(2)	064	E- 062	コンセント設備 1階平面図(2)	124	E- 122	自動火災報知設備 2階平面図(1)	184 E- 182	ナイター照明 2階平面図 244	4 E-	242
005	E- 003	電気設備工事特記仕様書(3)	065	E- 063	コンセント設備 1階平面図(3)	125	E- 123	自動火災報知設備 2階平面図(2)	185 E- 183	ナイター照明 配置図 245	5 E-	243
006	E- 004	電気設備工事特記仕様書(4)	066	E- 064	コンセント設備 2階平面図(1)	126	E- 124	自動火災報知設備 2階平面図(3)	186 E- 184	自動制御設備 計装図(1)	6 E-	244
007	E- 005	電気設備工事特記仕様書(5)	067	E- 065	コンセント設備 2 <u>階平面図(2)</u>	127	E- 125	自動火災報知設備 3階平面図(1)	187 E- 185	自動制御設備 計装図(2)	7 E-	245
008	E- 006	電気設備工事特記仕様書(6)	068	E- 066	コンセント設備 2 <u>階平面図(3)</u>	128	E- 126	自動火災報知設備 3階平面図(2)	188 E- 186	自動制御設備 1階平面図(1) 248	8 E-	246
009	E- 007	電気設備工事特記仕様書(7)	069	E- 067	コンセント設備 3 <u>階平面図(1)</u>	129	E- 127	自動火災報知設備 3階平面図(3)	189 E- 187	自動制御設備 1階平面図(2)	9 E-	247
010	E- 008	配置図・案内図	070	E- 068	コンセント設備 <u>3階平面図(2)</u>	130	E- 128	自動火災報知設備 4階平面図	190 E- 188	自動制御設備 1 <u>階平面図(3)</u> 250	0 E-	248
011	E- 009	構内配電・通信線路図	071	E- 069	コンセント設備 <u>3階平面図(3)</u>	131	E- 129	雷保護設備 1階平面図	191 E- 189	自動制御設備 <u>2 階平面図(1)</u> 251	1 E-	249
012	E- 010	受变電単線結線図	072	E- 070	コンセント設備 4階平面図(1)	132	E- 130	雷保護設備 2階平面図	192 E- 190		2 E-	
013	E- 011		_	E- 071	コンセント設備 4 <u>階平面図(2)</u>	133	E- 131	雷保護設備 3階平面図	193 E- 191		3 E-	
014	E- 012			E- 072	コンセント設備 <u>4階平面図 (4 )</u>	134	E- 132		194 E- 192		4 E-	
$\vdash$	E- 013			E- 073	総合盤姿図・端子盤リスト	135	E- 133		195 E- 193		5 E-	
016	E- 014		076	E- 074	構內交換設備・構内情報通信網設備系統因	136	E- 134		196 E- 194		6 E-	
017	E- 015		077	E- 075	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 ピット</u> 階平面図(1)	137	E- 135		190 E- 195		7 E-	
017				E- 076	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 ピット</u> 階平面図(2)	138	E- 136		197 E- 193		8 E-	
018				E- 076	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 ピット</u> 階平面図 (3)	138	E- 136		198 E- 196		9 E-	
019	E- 017		_		構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 - 1階</u> 平面図(3) 構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 - 1階</u> 平面図(1)		_				-	
			080	E- 078		140	E- 138		200 E- 198		0 E-	
021	E- 019		081	E- 079	構內交換設備。構內情報通信網設備 1階平面図 (2)	141	E- 139	スタジアム音響設備 機器姿図(1)	201 E- 199		1 E-	
022	E- 020		082	E- 080	構內交換設備・構內情報通信網設備 1階平面図(3)	142	E- 140		202 E- 200		2 E-	
023			083	E- 081	構內交換設備・構內情報通信網設備 2階平面図(1)	143	E- 141		203 E- 201		3 E-	
024			084	E- 082	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 2階平面図(2)</u>	144	E- 142		204 E- 202		4 E-	
025	E- 023		085	E- 083	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 2 階平面図(3)</u>	145	E- 143		205 E- 203		5 E-	
026	E- 024	動力制御盤標準結 <del>線図・接地線系統図</del>	086	E- 084	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 3階平面</u> 図(1)	146	E- 144	スタジアム音響設備 3階平面図	206 E- 204		6 E-	
027	E- 025	動力制御盤結線図	087	E- 085	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 3階平</u> 面図(2)	147	E- 145	スタジアム音響設備 4階平面図	207 E- 205	267	7 E-	265
028	E- 026	電灯分電盤標準結線図	880	E- 086	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 3階平面</u> 図(3)	148	E- 146	スタジアム音響設備 配置図	208 E- 206	268	8 E-	266
029	E- 027	電灯分電盤結線図(1)	089	E- 087	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 4階平</u> 面図(1)	149	E- 147	スタジアム音響設備 調整室機器配置図	209 E- 207	269	9 E-	267
030	E- 028	電灯分電盤結線図(2)	090	E- 088	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 4階平</u> 面図 (2)	150	E- 148	大型映像装置設備 仕様書(1)	210 E- 208	270	D E-	268
. 031	E- 029	電灯分電盤結線図(3)	091	E- 089	構内交換設備・構 <u>内情報通信網設備 4階平面図(</u> 3)	151	E- 149	大型映像装置設備 仕様書(2)	211 E- 209	271	1 E-	269
032	E- 030	電灯分電盤結線図(4)	092	E- 090	TV共同受信設備・時刻表示設備・誘導支援設備 系統図・姿図・システム図	152	E- 150	大型映像装置設備 システム系統図	212 E- 210	272	2 E-	270
033	E- 031	幹線・動力設備 ピット階平面図(1)	093	E- 091	音声誘導設備 システム図・機器姿図	153	E- 151	大型映像装置設備 スコアボード正面立面図(改修後)	213 E- 211	273	3 E-	271
034	E- 032	幹線・動力設備 ピット階平面図(2)	094	E- 092	TV共同受信設備・時刻表示設備・誘導支援設備 ビット階平面図(1)	154	E- 152	大型映像装置設備 スコアボード断面詳細図(改修後)	214 E- 212	274	4 E-	272
035	E- 033	幹線・動力設備 ビット階平面図(3)	095	E- 093	TV共同受信設備・時刻表示設備・誘導支援設備 ビット階平面図(2)	155	E- 153	大型映像装置設備 スコアボード 1 階・ 2 階平面図(改修後)	215 E- 213	275	5 E-	273
036	E- 034	幹線・動力設備 1階平面図(1)	096	E- 094	TV共同受信設備・時刻表示設備・誘導支援設備 ピット階平面図(3)	156	E- 154	大型映像装置設備 スコアボード 3 階平面図・梁伏図(改修後)	216 E- 214	276	6 E-	274
037	E- 035	幹線・動力設備 1階平面図(2)	097	E- 095	TV共同受信設備・時 <u>刻表示設備・誘導支援設備</u> 1階平面図(1)	157	E- 155	大型映像装置設備 スコアボード屋根平面図(改修後)	217 E- 215	277	7 E-	275
038	E- 036	幹線・動力設備 1階平面図(3)	098	E- 096	TV共同受信設備・ <u>時刻表示設備・誘導支援設備 1階</u> 平面図(2)	158	E- 156	大型映像装置設備 スコアボード取付鋼材軸組図(改修後)	218 E- 216	278	8 E-	276
039	E- 037		099	E- 097	TV共同受信設備・ <u>時刻表示設備・誘導支援設備 1階</u> 平面図(3)	159	E- 157	大型映像装置設備 スコアボード断面詳細図(改修前)	219 E- 217	279	9 E-	277
040	E- 038		100	E- 098	TV共同受信設備・ <u>時刻表示設備・誘導支援設備 2 階平面</u> 図(1)	160	E- 158		220 E- 218	280	D E-	278
041	E- 039		101	E- 099	TV共同受信設備・時刻表示設備・誘導支援設備 2 階平面図 (2)	161	E- 159		221 E- 219		1 E-	
042	E- 040			E- 100	TV共同受信設備・時 <u>刻表示設備・誘導支援設</u> 備 2 階平面図(3)	162	E- 160		222 E- 220		2 E-	
042	E- 040		103	E- 101	TV共同受信設備・時 <u>刻表示設備・誘導支援設備</u> 3階平面図(1)	163	E- 161	大型映像装置設備 スコアボード取付銅材軸組図(改修前)	223 E- 221		3 E-	
043	E- 042		103	E- 102	TV共同受信設備・時 <u>刻表示設備・誘導支援設備 3 階平面図(2)</u>	164	E- 162		224 E- 222		4 E-	
044	E- 042	幹線・動力設備     4階平面図	104	E- 102	1V共同交信設備・ <u>時刻表示設備・誘導支援設</u> 備 3 階平面図(2)  TV共同受信設備・ <u>時刻表示設備・誘導支援</u> 設備 3 階平面図(3)	165	E- 163		224 E- 222 225 E- 223		5 E-	
	E- 043		_		IV共向受信設備・ <u>時刻表示設備・</u> 3階平固図(3) 放送設備 機器姿図・システム図		E- 163		225 E- 223 226 E- 224		6 E-	
046 047	E 045			E- 104 E- 105	放达設備 機器会図・システム図 放送設備 系統図	166 167		大型映像装置設備 スコアボード機器姿図(3) 大型映像装置設備 音声・映像操作室機器配置図	226 E- 224 227 E- 225		7 E-	
$\vdash$	E- 045						E- 165	大型吹像装置設備 音戸・吹像操作 全機 お記置 図 大型吹像装置設備 サブスコアボード設置位置			_	
048	E- U46				放送設備 ビット階平面図	168	E- 166		228 E- 226		8 E-	
049	E- 047	電灯設備 1階平面図(3)	-	E- 107	放送設備 1階平面図	169	E- 167		229 E- 227		9 E-	
050	E- 048			E- 108	放送設備 2階平面図	170	E- 168		230 E- 228		0 E-	
051	E- 049			E- 109	放送設備 3階平面図	171	E- 169		231 E- 229		1 E-	
052	E- 050			E- 110	放送設備 4階平面図	172	E- 170		232 E- 230		2 E-	
053	E- 051			E- 111	ITV設備 機器 <u>姿図・システム図・系統</u> 図	173	E- 171		233 E- 231		3 E-	
054	E- 052		_		ITV設備 1階平面図	174		中央監視設備 システム構成図(2)	234 E- 232		4 E-	
055	E- 053		115	E- 113	ITV設備 2階平面図	175	E- 173	中央監視設備 システム構成図(3)	235 E- 233		5 E-	
056	E- 054	電灯設備 4階平面図(1)	116	E- 114	自動火災報知設備 凡例・特記・連動表	176	E- 174	中央監視設備 中央監視点一覧表 1	236 E- 234	296	6 E-	294
057	E- 055	電灯設備 4階平面図(2)	117	E- 115	自動火災報知設備 <u>系統図・点数表</u>	177	E- 175	中央監視設備 中央監視点一覧表 2	237 E- 235	297	7 E-	295
058	E- 056	電灯設備 4階平面図(4)	118	E- 116	自動火災報知設備 ピット階平面図(1)	178	E- 176	中央監視設備 ビット階・1階平 <del>面図</del>	238 E- 236	298	в Е-	296
059	E- 057	非常照明・誘導灯 <u>設備 照明器具姿</u> 図	119	E- 117	自動火災報知設備 ピット階平面図(2)	179	E- 177	中央監視設備 2階平面図	239 E- 237	299	9 E-	297
060	E- 058	非常照明·誘導灯 <u>設備 1階平面図</u>	120	E- 118	自動火災報知設備 ビット 臨平面図 (3)	180	E- 178	中央監視設備 3階平面図	240 E- 238	300	0 E-	298
1												
		設計者			法適合確認欄 検証者 設計番号	特	記	· 	[事名	図面番号		Λ
						1 1		海阜  自由		1	1	

徳島県東部県士整備局 < 徳島 > | アで後土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事 E-000 図面名 1 : NS(A1) 1 : NS(A3) 図面リスト



## 営繕工事共通仕様書

# 工事概要

工事名称

R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事

鳴門市撫養町立岩

建物概要 鳴門総合運動公園野球場「オロナミンC球場」 構造·規模 RC造一部S造 地上4階 敷地面積 261,079.98(m2) 19,413.67(m2) 延床面積 消防法施行例別表第1の区分 1項 (イ)

4. 工事種目	
種目	工事概要
大型映像装置設備	図示大型映像装置の改修工事
非常用発電設備	図示太陽光発電パネルの設置工事

## 5 猛暴を老庸した丁期

本工事は猛暑を考慮した工期設定の対象外工事である。

本工事は、資材価格高騰に対する特例措置について(令和4.12.9建設第686号)に基づ(特例措置の対象工事である。

## 営繕工事共通仕様書

図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。

公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 公共建築丁事標準什樣書(雷気設備丁事編) 今和4年版 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編) 公共建築改修丁事標進什樣書(建築丁事編) 令和4年版(以下「改標仕」という。) 公共建築改修工事標準仕樣書(電気設備工事編) 令和4年版 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編) 今和4年版 木造建築工事標準仕様書 令和4年版 令和5年版 令和4年版(以下「標準図」という。) 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)・同解説 建築工事標準詳細図 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編) 令和4年版 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編) 今和4年版 敷地調査共通仕様書

## また、次の図書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)を参考とする。

建築工事監理指針 今和4年版(以下「監理指針」という。) 雷気設備丁事監理指針 今和4年版 機械設備工事監理指針

## 優先順位

設計図書の優先順位は、次の順とする。

質問回答書(からに対するもの)

特記仕様書(営繕工事共通仕様書を含む)

公共建築工事標準仕様書等

# 丁事実績データの登録

エーテスポープ・シェスト 受法者は、請負代金額が500万円以上の工事については受法・変更・しゃん工・訂正時に、工事実績情報サービス(コリンズ)に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。

受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。

・登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 ・しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。

## 訂正時は、適宜とする。

なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。

受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。 なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。

# 4. 工程表

受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日(土曜日、日曜日、祝日等を除く。)以内に提出すること。

受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。

なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日(特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日)をいう。

施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員の承諾を受けること。 上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。

「m p.7/w Mzに 受法者は、本工事の一部を下講に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければ ならない。なお、請負対象額(設計金額)が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に

受注者は、本工事の全部若いは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下舗契約を締結してはならない。(なお、有資格業者とは、建設工事の舗負契約に係る一般競争人札及び指名競争入札参加資格審査要綱(昭和59年1月18日徳島県告示第50号)第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。)

受注者は、下舗契約を締結するときは、下舗負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務 の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならなり。

## 8. 施工体制台帳及び施工体系図

施丁体制台帳の作成

受注者は、下舗契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、施工体制台帳及び再下舗負通知書(以下「施工体制台帳」という。)を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備え置かなければならない。

## 施工体系図の作成及び掲示

受注者は、下請契約(以下の(3)及び(4)の場合を含む。)を締結した場合は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する 法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

## 警備業者の記載

受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

## 運搬業者の記載

受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。

受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。

## 再下請負通知書を提出する旨の書面の掲示

受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。

## 9. 電気保安技術者等

電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。

・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。

一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。

工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

## 10. 施工中の安全確保

工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること。

工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること、名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を 添付すること。

## 工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと

丁事の施丁に伴う災害及び火害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設丁事火衆災害防止対策要編(今和元年9

月2日付け国土交通省告示第496号)、建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正)その他関係法令に従い適切に処

受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事(仮囲い等仮設材設置を含む)着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。

地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置(平面・深さ)、規格、構造等を確認しなければならない。

受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない、万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度補修又は補償すること。

受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業(ローブ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。)又は貨物自動車から卸す作業(ローブ解きの作業及びシート外しの作業を含む。)を 行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。

受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から即す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。

受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンブトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により

受注者は、トラック(クレーン装置付)を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置(ブームの格納忘れを防止(警報)する装置、ブームの高さを制限する装置等)付きの車両を原則使用しなけ

休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。

受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せ て確認すること、また、監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。

受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。

仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。

上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階(天井)のスラブはコリ工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を図り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。

受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等 の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、 作業を中止すること。

作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。

既設配管等を破損させた場合の停電、断水等の影響範囲及び破損防止のための対策について関係者と協議すること。

事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。

- ③ 給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。
- ② 受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しな

# 11. 撤去時の資機材残置の防止

足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。

# 12. 交通安全管理

受注者は、丁事用車両による土砂、丁事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当業者、 交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない、特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与える おそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。

## 過積載による違法運行の防止

受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。

積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと

・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと

・過稽載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと

・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと

・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある

# 13. 発生材の処理等

発生材の処理等は、次により適正に行う。

1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する

					設計者			 法適合確認	3欄	検証者	設計番号	特 記	/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	工事名	図面番号	
一級建築士	一級到	整築士						設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-001
第286776号	第384	579号						第6211号						図面名	縮尺	1 : NS(
渡邉 和幸	浅山	00	西山	浩司		7	]	浅山 明		寺田 庄作				電気設備工事特記仕様書(1)		1 : NS(





2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱 の他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守す ること、図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を仰ぐこと 3) 産業廃棄物の種類ごの処分編についた。 3) 産業廃棄物の種類ごの処分編については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。 4) 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。 7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書(様式3)、産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により、適正に処理されて いるか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければなら ・ 1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないが調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結 果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。 既存の分析調査結果の貸与 ( あり ・ なし ) 2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)1.5.1及び関係法令により行うこと。 事前調査は、建築物石綿含有建材調査者(特定、一般)、又はこれと同等の能力を有する者が行うこと。
 同等の能力を有する者とは、(一社)日本アスペスト調査診断協会に令和5年9月30日までに登録されたものをいう。 発注者の指示により、分析によるアスペスト調査を行う場合の費用については、監督員との協議による。 その場合の分析方法は、JIS A 1481-1によること。 結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 3) 表示 掲示け次のとおり行うこと · 事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。 ・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。 ・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。 喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。 建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は、課設リサイクル法に基づく対象課設工事(特定課設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定課設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施 行令で定める基準以上のもの)においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければなら ない、また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品適用ガイドライン[建築工事編]」に基づき提出すること。なお、「建設リサイクル法通知済 証、は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。 資源の有効な利用の促進に関する法律(以下「資源有効利用促進法」という。)及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)に基づく対応は、以下のとお 1) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第19号)第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事には、「一定規模以上の工事」という。」において、コンケリート(二次製品を含む。)、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、(一財)日本建設情報総合センターのコブリス・ブラスにより再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。 2) 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係るの促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令(H3.10.25建設省令第20号)第7条で規定され る工事又は一定規模以上の工事において、建設発生士、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、コブリス・ブラ スにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員に提出すること。 3) 受注者は、上記計画書を丁事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)すること。 受注者は、上記計画書に変更が生じた場合は、速やかに計画を変更し、その変更の内容を 監督員に報告すること。 5) 受注者は、工事完了後速やかにコブリス・ブラスにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出すること。 6) 受注者は、上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること。 7) 受注者は、コブリス・ブラスの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力すること。ただし、バージン材を使用する生コンクリート 受注者は、土砂を再生資源利用計画書に記載した搬入元から搬入したときは、法令等に基づき、速やかに受領書を搬入元に交付しなければならない。 再生資源利用促進計画書を作成する上での確認事項等 受注者は、再生資源利用促進計画書の作成に当たり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、工事現場内の土地の掘削その他の形質の変更に関して発注者等が行った土壌汚染対策法等 の手続き状況や、搬出先が盛土規制法の許可地等であるなど適正であることについて、法令等に基づき確認しなければならない。また、確認結果は再生資源利用促進計画書に添付し監督員に提出 するとともに、工事現場において公衆の見やすい場所に掲げなければならない。 受法者は、建設現場等から北砂搬出を他の者に委託しようとするとき、特記に土工事の記載がある場合は「建設発生土の処理」に定められた事項等(搬出先の名称及び所在地、搬出量)と、前項で行った確認結果を、委託し搬出者に対して、法令等に基づいて通知しなければならない。 建設発生士の搬出先に対する受領書の交付請求等 受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画書に記載した搬出先へ搬出したときは、法令等に基づき、速やかに搬出先の管理者に受領書の交付を求め、受領書に記載され た事項が再生資源利用促進計画書に記載した内容と一致することを確認するとともに、監督員に写しを提出しなければならない。 また、その受領書の写しを工事完成後5年間保存しなければならない。 建設発生土の最終機出先の記録・保存 ただし、以下の(1)~(3)に搬出された場合は、最終搬出先の確認は不要である。 (1) 国又は地方公共団体が管理する場所(当該管理者が受領書を交付するもの) (2) 他の建設現場で利用する場合 (3) ストックヤード運営事業者登録規程により国に登録されたストックヤード 本工事に使用する建築材料、設備機材等(以下「建材等」という)は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載されて工種別施工計画書及びその証明になる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図 書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。なお、各専門特記仕様書 中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿(最新版)」及び「設備機材等評価名簿(最新版)」記載品を指すも のとする。 県産木材の原則使用 2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 (a) 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 (b) (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材 3) 受注者は、誘負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事制に監督員に提 出し、承諾を得なければならない。 4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳鳥県木材認証機構から発行される「産地認証証 明書、の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。 5) 県内の森林から直接調達するなど、前頃により難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。 製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含 む,)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。また、それら の木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、

徳島県東部県士整備局 < 徳島 > 工事名 R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・ 図面名

標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。

県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。 公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。

に基づ(変更の許可において同じ。))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない

受注者は、「徳島県リサイクル認定制度」に基づく徳島県認定リサイクル製品の使用を積極的に推進するものとする。

本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の から を満たすものとする。

塗料(塗り床を含む)は、ホルムアルデドド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

・部材、部品が厚外製品であっても、厚内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば原内産資材として取り扱う。

1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。

なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を工種別施工計画書に記載し、監督員の承諾を得なければならない。

徳島県認定リサイクル製品を使用した場合、受注者は工事完了までに「徳島県認定リサイクル製品等使用実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。

、及び の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。

本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。

設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査等を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。

設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、標仕記載の「疑義に対する協議等」による。 工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は営繕課へ問い合わせ、工事に遭漏のないようにすること

試験等によらなければ確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。

2) 受注者は、木材以外の建設資材について、県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。また、請負代金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。

受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等(以下、「県内企業調達建材等」という。)を優先して使用するよう努めなければならない。また、県内企業調達建材等の別を工 種別施工計画書に記載するものとする。

ポーシェージョン (1986年) 137日) 受注者は、再生砕石を使用する場合、 県内の再資源化施設 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づ(許可を有する施設 (同法第15条の2の6第1項

合板、木質系フローリング、構造用バネル、集成材、単板積層材、MDF、バーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少な

保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないが、発散が極めて少ないものとする。 接着剤は、フタル酸ジ - n - ブチル及びフタル酸ジ - 2 - エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼンを発散しないが、発 散が極めて少ないものとする。

品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと、結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと、また、その原因を検

施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること、不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること、手直し工事は、受 注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。

本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1国総施第225号)。に基づき指定された排出ガス対策型建設機械 とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民 間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等と

みなすが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場におい

1875年 - 1878年 - 1878

は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種 、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県

本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書(検査記録表)の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。

受注者は、当初諸負対象余額(設計余額)が税込7千万円未満の場合において、遠隔臨場の実施を希望する場合は、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領しに基づき遠隔臨場を実施すること

全球が起始、工事において使用するJRAMはアンルーバーMANAによりを受けませた。 受注者は、本工事において使用するLRAMはならない。県産木材を購入した場合、受注者は、工事完了まで に「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。

受注者は、監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし、次のいずれかに該当する工事は対象外とする。

受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法(昭和 25年法律第226号)に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。

受注者は、当初請負対象金額(設計金額)が税込7千万円以上の場合において、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施しなければならない

原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(洋式トイレ)」を設置しなければならない。

原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快適トイレ)」を設置しなければならない。

国が耐臭ながままた。(BRI 生成) マンフィン・ファー 原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ(快適トイレ)」を設置しなければならない。

県内産資材の原則使用

県内産資材(次のいずれかに該当するもの)

県内産再生砕石の原則使用

認定リサイケル製品の使用

討し、再発防止のための必要な処置をとること

公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。

て使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。

また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。

工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること

受注者は仮設トイレを設置する場合、次のとおりとしなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。

(注)快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。

受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。

区画線工事、舗装工事、標識設置工事、照明灯工事

当初請負対象金額(設計金額)1千万円未満の工事

当初請負対象金額(設計金額)3千万円以上の工事

(注)洋式トイレとは、和式トイレの便麻部分を洋式化したトイレのこと

当初請負対象金額(設計金額)1千万円以上3千万円未満の工事

当初請負金額が200万円未満の工事

排出ガス対策型建設機械

特定自主検査

・材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品・ ・徳島県内の工場で加工、製造された製品

 工事名
 図面番号

 R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事
 E-002

 縮尺 1: NS(A1)
 1: NS(A1)

 電気設備工事特記仕様書(2)
 1: NS(A2)

MIYA Architect's Office Mark (7)第2249

## 21. 設計変更箇所確認

といった。は、主場内は個色 観計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。また、工事しゅ ん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。

22. 工事検査及び技術検査 次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。

当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事
3千万円未満	-	1回
3千万円以上5千万円未満	-	2回
5千万円以上1億円未満	1回	2回
1億円以上	2回	3回

# (注)低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。 (注)一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。

中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、締結後速やかに監督員と協議すること。

中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。

基礎杭工事については、調負対象額にかからず、基礎杭工事完了後、中間を実施する。 外壁改修工事等において、足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現認ができなくなるおそれがある場合は、当初調負対象額に関係なく、中間検査の実施にて監督員と協議する

## 23. 完成図等 電子納品: 対象

受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」とすること。

・竣工図(製本3部、電子データ2部)(サイズ:監督員の指示による) ・工事写真(電子データ2部)

使用材料一覧表(竣工図表紙裏面に貼付、電子データ2部)

・保全に関する資料

その他監督員が指示する図書(必要部数)

しゅん工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。しゅん工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及リジナル形式をCD-R等に保存する。

工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部出来形が写真で的 確に確認できること。

工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。

既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は竣工図に反映させること。

24. デジタル工事写真の小黒板情報電子化 受注者は、デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事(以下「対象工事」という。)とすることができる。

対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について(県土整備部)」に記載された全ての内容を適用することとする。

## 25. 火災保険

本工事の着手に際し、火災保険等(火災保険、建設工事保険その他の保険(これに準ずるものを含む。))を請負額に応じて付保する。(標準請負契約約款 第55条)

工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)について付保する。 付保除外工事

次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。

・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合(外壁補修工事等)

付保する時期及び金額

鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、舗負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。

工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。

・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。

建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。

26. 公共事業労務費調査 当初請負対象金額(設計金額)が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等 、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を通切に行わなければならない。

受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には受注者は、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む)が前述と同様の義務を負う旨を定めなけ

## 27. 暴力団からの不当要求又は工事妨害の排除

※カノ川からルーヨ安水ストは上申が音の併称 受法者は、工事の施工で開し、象力団等からの不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合( に規定する場合は、下請負人から報告があったとき)には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。

受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に関して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けしなければならない。

受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。 受注者は、排除対策を講じたにもかからず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期内に工事が完成しないと認められる場合 は、「徳島県公 共工事標準請負約款」(以下「約款」という。)第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。

受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害屈を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。

交任者目的、参列は守りが1917に入るい場合とよりでも目的でいません。 阪日間に近にからいばれるという。 田田はおが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工 脚延長の請求を行わなければならない。

# 28 事故報告書

			設計者			法i	i合確認欄	検証者	設計番号	特記	<b>人名巴韦拉思</b>   数世日   人名	工事名	図面番号	
一級建築士	一級建築士					設備設計-	級建築士		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳士 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-003
第286776号	第384579号					第62	1号					図面名	縮尺	1 : NS(A
度邊 和幸	浅山 明	西山 浩司				浅山	明	寺田 庄作				電気設備工事特記仕様書(3)		1 : NS(A

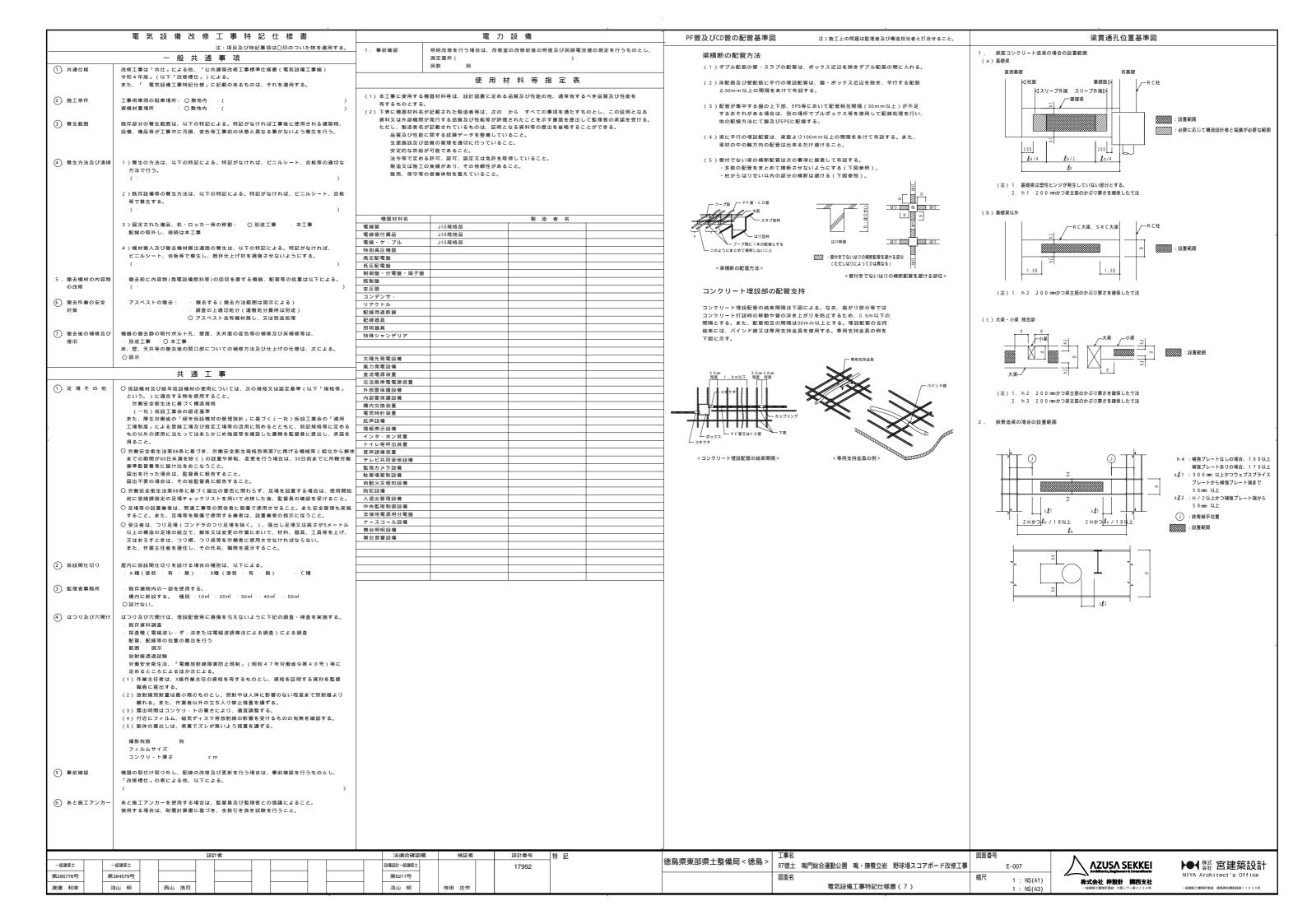


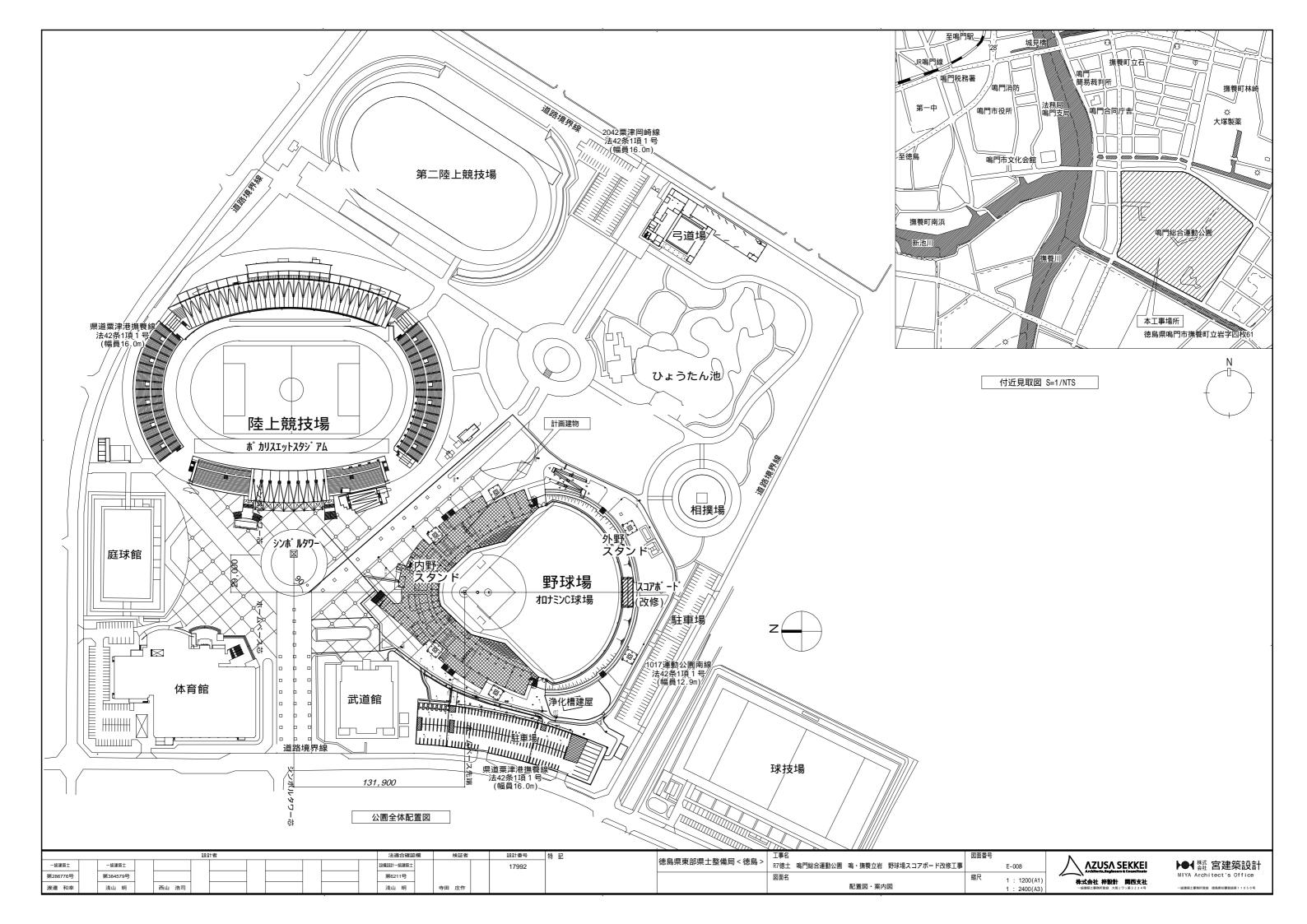


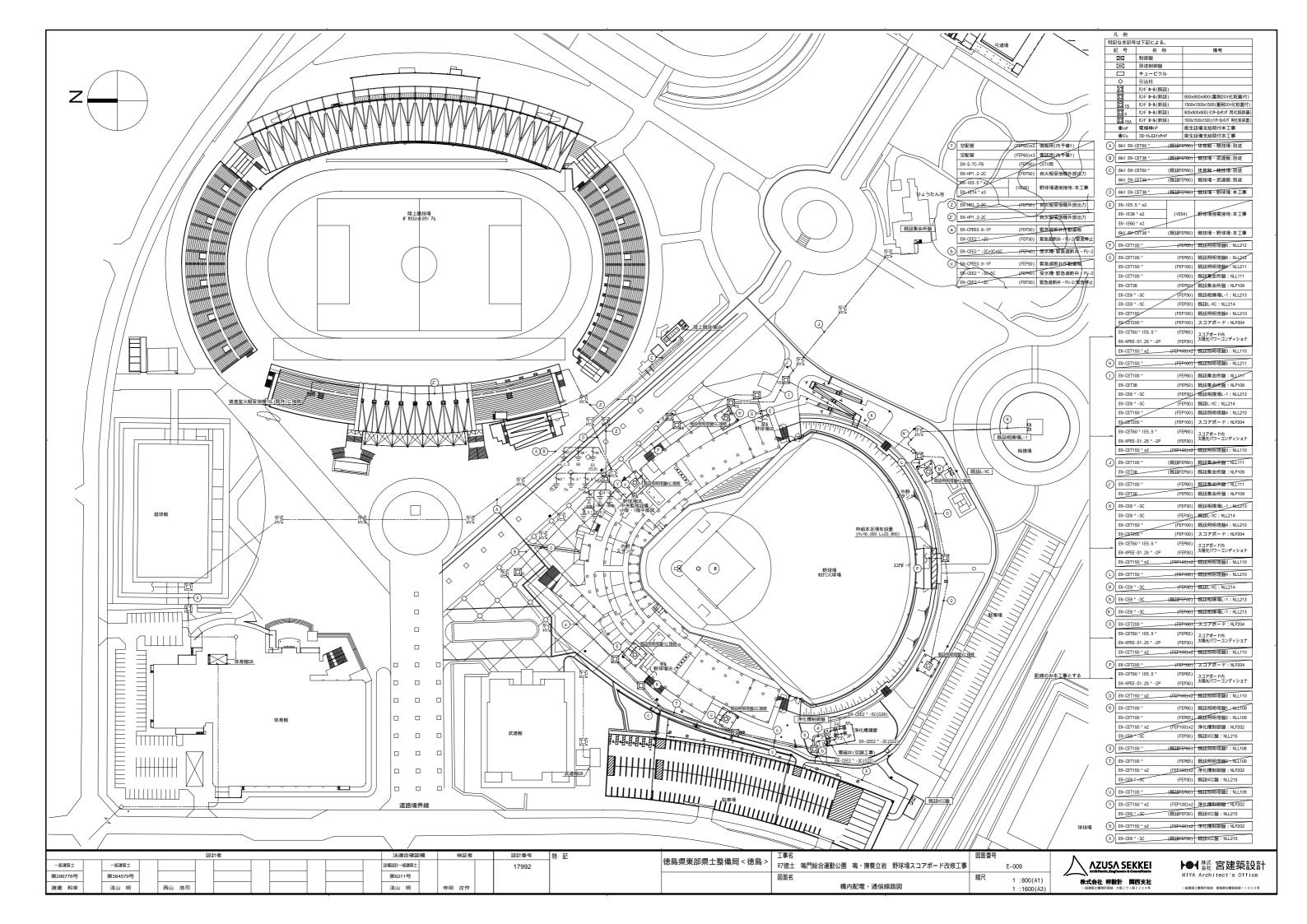
	I. 設計概要	第 3 種地域		·		区分
	建物名称 鳴門総合運動公園野球場「オロナミンC球場」 所 在 地 鳴門市撫養町立岩四枚61番地	65 dB以下	分類	項目	建電空網	映 浄 外 別
-	建 築 主 徳島県 用 途 観覧場(野球場)  工事 種目 ◆新築・増築・改築・改祭・その他( )	第 種地域     ** dB以下		(1) 自家発電設備用オイルタンク及びサ - ビスタンク迄の油配管工事	* X M T	福 福 地
般	用途地域 準工業地域 防火地域 法22条地域	「官庁施設の総合耐雷・対津治計画其準(今和3年版)、耐震安全性の分類に準ずる (2) 地下室等の二重壁内の水抜き管の製作及び設置	7 F	② サ・ビスタンク用防油堤躯体及び仕上げ		
事	その他の地域地区 (・都市公園 建ペイ率 60 % 容積 率 200 %	第一次   1   1   1   1   1   1   1   1   1	1 +	(3) 自家発電設備用一次側給排水配管工事 (4) 自家発電運転用給排気設備工事		++++
-AR	工 期 着工:令和 **年 **月 **日── 竣工:令和 **年 **月 **日	内野スタンド   ブリッジ	<b>1</b> F	5 ユニットバス・ユニットシャワーの換気扇の設置	• •	
	概成工期 着工:令和 **年 **月 **日——竣工:令和 **年 **月 **日 敷地面積 261,079.98 m²	建築非構造部材	10	(6) 一般換気扇の設置 (7) 同上用の取付枠の製作及び設置	• • • •	++++
l	総建築面積 *** m³ 建ペイ率 *** %	・ ディン ・ ドロ ・ ド	1 10	(8) 機器類付属制御盤とその二次側配管配線工事		
	延べ床面積     *** m²     容積率     *** %       容積率対象床面積     *** m²     容積対象外床面積     *** m²	エレベーターの耐震クラス		(9) 自動制御などの現場盤への電源接続 (10) 設備用機器、付属制御盤への電源接続及び接地工事		++++
	道路種別 北、西: 県道、東: 市道、南: 市道 道路幅員 北、西: 16m、東: 16m、南: 12.9m	エスカレーターの耐震処置 昇降機の耐震処置は「昇降機技術基準の解説」2016年版による	書	11. 生産設備用機器、付属制御盤などの取付及び二次側配管配線工事		
	敷 地 状 況   旧内野スタンドは工事着手時に解体工事が完了予定、既存照明棟、スコアボード棟、外野スタンドは残置 棟 別 概 要	1 工場製作の床パネル、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、	- '	<ul><li>(12) 電動プラインド、電動カ・テン、電動シャッタ・、自動ドアなどの 制御盤及び二次側配管配線工事</li></ul>		'
	棟 名         内野スタンド         ブリッジ         ***	ジェル・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・マン・	J b	13. ガス漏れ警報設備		
	階数     地上4階     地上2階     * * *       軒高     31.16m     4.60m     * * *	耐震構造の水平震度は以下による 4 ② 現場製作の床、間仕切り壁類の開口、取付け枠の製作、設置及び補強 ③ 間仕切り壁間口部の空隙充填及び補修		(14) 制御用の電極棒の設置 (15) 制御用のフロ・トスイッチの設置	<u> </u>	
	最高の高さ 31.42m 5.98m ***	建築非構造部材の水平震度は下表による	<b>1</b> F	16. 光天井などの照明器具用箱付及び下面仕上材料(ル・パ・等)の		<del>                                     </del>
	基礎下端 *** RC造一部Si造 Si造 ***	A類の外部 建築主構造部材の定義 以 (吹出口、吸込口等を含む)	-	設置		
	構 造 種 別  RC造一部Si造 Si造 ***  ◆耐震構造・免震構造 ・耐震構造・免震構造 ・耐震構造・免震構造	及び特定至 1.外壁及ひその仕上げ 切 日 6 プロック。れんがへの診備機器取付け用限口、取付け枠の製作	+	1. 機械室の床開口設置及び補強		++++
	地 業 杭基礎(既製コンクリート杭)	B類及びA類 の一般室 1.0 0.6 0.4 2.建具及びガラス 3.間仕切り及び内装材 富	4 [	② 機械室の床配管ピット及び蓋の製作及び設置	0	
	建築面積     ***     ***       消防法別表1     消防法別表1     消防法別表1	建築設備の水平震度は下表による  4・天井及び床材  通  ② ALC版、押出し成形セメント板、PC版類の設備機器取付け用開口、  東西機器(ゲ)情報をPC人 REに主持の機器については、特別内の数字)。 FRHは  取付け枠の製作、設置及び補強	1 -	(3) 巻揚機周囲のチェッカ・プレ・トの製作及び設置 (4) 昇降路内ピットの防水、集水桝及び点検用タラップの製作及び設置		++++-!
建	(普通・無窓) (普通・無窓) (普通・無窓)	イ 重要機器(水槽類を除く。防振支持の機器については、括弧内の数字) 5.屋根材 5.屋根材 5.屋根材 6.造り付けの家具及び事務機器類 8.床や壁の石材面の設備機器取付け用開口の製作 8.床や壁の石材面の設備機器取付け用開口の製作	<b>1</b>	(5) 各階出入り口開口の設置及び補強		
築	構造制限 ・耐火 ・準耐火 ・制限無   ・耐火 ・単耐火 ・利取 ・ 両 (音・無)   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特定 2.0 (2.0) 1.5 (1.5) 1.0 (1.0) 7.外橋その他	+	(6) 出入り口三方枠取付け用下地鉄骨の設置 (7) 出入り口扉三方枠の製作及び設置	$\frac{9}{1}$	++++-
概	階 ㎡ 項(普・無) ㎡ 項(普・無) ㎡ 項(普・無)	一般     1.5 (2.0)     1.0 (1.5)     0.6 (1.0)     特定室の定義       ロー般機器(水槽類を除く。防振支持の機器については、括弧内の数字)     活動拠点室、活動支援室、活動通路、    1 湧水槽、蓄熱槽等の各種水槽の躯体断熱層、内外の防水及び仕上げ  「満水槽、蓄熱槽等の各種水槽の躯体断熱層、内外の防水及び仕上げ」	1	(8) 三方枠取付けと枠廻り空隙の充填及び補修	ŏ	
要	「	分類 上層階、屋上及び塔屋 中間階 1階及び地階 活動上重要な設備室、危険物を貯蔵 (2) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (3) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (2) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (2) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (2) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (2) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (3) 同上マンホ・ル蓋及びダラップの設置 (4) によっている (4) におっている (4) によっている	11	(9) 軌条、中間ビ・ム、ブラケット等昇降路内の鋼製部材一式の製作 及び設置	$\odot$	'
1	Ta	行ル 1.5 (2.10) 1.0 (1.5) 0.6 (1.0) 又は文州 90至 9 年 7 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		10) 9のうち中間ビ・ムの製作及び設置		
1		ハ 重要水槽 電気・機械設備工事特記仕楼書に 5 (3) 同上内設備配管第四次台の製作及び設置 (5) 同上内設備配管第四次台の製作及び設置 (5) 同上内設備配管第一点 リルカバタラップの10分割	機	(1) 9のうち軌条取付け用下地鉄骨の製作及び設置 (12) 機械室天井フックの製作及び設置	<u> </u>	++++-
		77州 上間降、陸上及び95座 中間回回 「地域の10回回 ちら。 特定 2.0 1.5 1.5 1.5 1.5 2.0 1.5 1.5 1.5 2.0 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5		(13) ホ-ル押し釦、インジケ-タ-、鋼索等の躯体開口の設置及び補強		
	積         階         ㎡         項(普·無)         ㎡         項(普·無)         ㎡         項(普·無)           階         ㎡         項(普·無)         ㎡         項(普·無)         ㎡         項(普·無)	-般 1.5 1.0 1.0 とする。		(14) 昇降路、ピット内の保守用コンセントの設置 (15) 昇降路外の遠方操作又は警報監視インタ - ホン用配管配線工事		++++
	4 階 ㎡ 項(普・無) ㎡ 項(普・無) ㎡ 項(普・無)	- 一敗小信 分類 ト層陸 屋ト及75塔屋 中間陰 1階及75地陸		(16) 遠方操作盤、警報監視盤及インタ - ホンの設置及び調整(監視盤		<del>             </del>
	3 階	カボ	] L	DC電源共)		++++'
	2 階     ㎡     項(普·無)     ㎡     項(普·無)     ㎡     項(普·無)       1 階     ㎡     項(普·無)     ㎡     項(普·無)	一般     1.0     0.6     0.6       #     (12)     浄化槽の躯体、内外防水及び仕上げ       水     (13)     同上用マンホ・ル蓋及びタラップの設置		(7) 一次側電源供給工事 (8) 機械室内非常電源と商用電源切替え開閉装置の製作及び設置	<u>ol</u>	<u> </u>
	合計 ㎡ 項 ㎡ 項 ㎡ 項	場所 建物(棟名) 15、通水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置 15、通水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置		19. 同上インターホン本体及び取り付け	0	
	外部仕上げ 仕上げ表による	場 所   内野スタンド ブリッジ   15. 湧水槽、蓄熱槽等用液面電極取付け座の設置   16. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報、液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極棒取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極極取付け   16. 同上用各種満減水警報・液面電極極取付け   16. 同上和工作を表現しません。	+	1. 機器類設置用フックの製作		
	内部仕上げ 仕上げ表による	屋上及び塔屋 ・2~6階建の場合は最上階 4階 ・階 ・階 17.同上用電気配管配線	1 2	2.機器類設置用フックの設置		
$\vdash$	注:以下、⊙ のついたものを適用する。	- 7 ~ 9 階建の場合は上層 2 階	機	<ol> <li>3. タ・ンテ・ブルビット内の防水と仕上げ</li> <li>4. タ・ンテ・ブルビット内の排水管工事</li> </ol>		++++
	方式 設備概要	・10~12階建の場合は上層 3 階     ・	駐車	5. 一次側電源供給工事		
	受電設備     ● 3     3 W     6,600 V     60 H z     ● 屋内形     ● 屋外形 (既存受変電設備を利用)       発電設備     ● 3     3 W     600 V     60 H z	中間階     地階、1階と上層階を除く階     3 階     *階     *階     (接続用アングル、防鳥ネットを含む)	設 備	6. 非常用電源設備工事 (パッテリー) 7. 消火設備工事		++++
ļ	<ul><li>ディ - ゼル機関 ・ガスタ - ビン (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	196	1	8. カ・プミラ - の製作及び設置		
	電力貯蔵設備   ・直流電源装置 (・鉛 ・アルカリ )   ・交流無停電電源装置 (・鉛 ・アルカリ )	1階及び地階 地階 1階及び地階 1 円 1 円 1 円 1 円 1 円 1 円 1 円 1 円 1 円 1		(1) 外構範囲の整地、舗装、マーキング工事		++++-
	幹線設備 ●動力(3 3W 210V ) ●電灯(1 3W 210V/105V)	但し、1階 = 1階の床面	<b> </b>	(2) 外構範囲の雨水排水設備(枡、配管等)		
	<ul> <li>通信・情報設備(・構収通信網設備(・配管・ケーブル・ネットワーク機器)・構内交換設備(・デジタMPBX・VoIP)</li> <li>気 (・情報表示設備・マルチサイン装置・出退表示装置 (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・)</li></ul>	. 工事発注形態	+	3. 外構範囲の雨水排水抑制設備、調整池工事 (4) 外構範囲の汚水・雑排水設備工事(枡、配管)		
	設 ● 並声設備(・業務用・非常用・企業務用非常用兼用 ** ₩ ** 回線 )	・ 建築工事は3 I 区 (1 I 区:バックネット裏スタンド、2 I 区: 3 型側スタンド、ブリッジ) に分割	13	(5) 外灯設備、弱電設備(ITVその他)の配線工事		
	備 (・) 誘導支援設備 (・) 音声誘導装置 (・) インターホン (・保守用 (・) 外部受付用 ・ (・) トイレ等呼出装置 ・受付呼出装置	- 電気設備工事 ・機械設備工事は2 I 区に分割(管工事、空調工事) ・ 外標工事 ・ 大型映像装置改修工事 ・ 浄化槽改修工事 7 (3) 同上縦 どいの第一桝への配管接続	外構	(6) 外灯設備、弱電設備 (ITVその他) の基礎工事 (7) 外灯設備、弱電設備 (ITVその他) の埋設配管		++++-
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	同上第一代の影響   ・	係	8 外構範囲の散水栓設備(埋設管含む)		
	<ul> <li>・テレビ電波障害 防除設備 ●監視カメラ設備(・アナログ伝送・ネットワーク伝送・配管)</li> <li>・駐車場管制設備 ・ 防犯・入退室管理設備(・ 防犯装置 ・ 入退室管理装置)</li> </ul>	・ 工事区分     が     5. 雨水利用時、貯留槽への流入配管接続     ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	+	(9) 外構範囲のサイン工事(基礎含む) (10) 上記サイン工事までの電気設備工事		
	自動火災報知設備 ②GR型10207 トレス(・単独 ②複合 ) ①自動閉鎖装置 ・ガス漏れ	: 該当項目は番号に○印の付いたものを適用する。区分は○印か、○ 印のない場合は 印のついたものを適用する。 事 7. 同上的部構やシのカープロー管の設置 ・ ・ ・		11. 門扉設置工事(基礎含む)		
	雷保護設備 ・JIS A4201-1992 ⊙JIS A4201-2003(・・・・・)) ・受雷部(・笠木 ・突針 ・ 陳上導体 ) 響報監視制御設備 ・ 警報盤 ・ 簡易型監視制御装置 ・ 監視制御装置	区分     8. 同上貯留槽以降の雨水利用設備       項目     20 mm (20 mm)	+	(12) 先行土木工事部分の仕上げ復旧工事		
	上水供給方式 ・水道直結式・増圧給水方式 ・高置水槽式 ・加圧ポンプ式 (既存受水槽・ポンプを利用)	項 目 選 電 空 際 快 / 化 橋 別 途		① 太陽電池アレイの製作及び設置		0
	総計 排 排 (散水) ・水源(・処理水 ・雨水 ①工水) ・供給方法(・高置水槽式・加圧ボンブ式・・・・) 水 給湯方式 ・中央(・貯湯式・瞬間式 ・ガス・電気) ②個別式(・砂湯式・瞬間式)(・ガス・電気)	(1) 工事用電力、上下水道、ガス引込み工事(引込み負担金を含む) (1) 流し台、ガス台、戸棚及びフードの製作及び設置 ・ (2) 工事用電力、上下水道、ガス使用料金(基本料金を含む) (2) 同上給排水管及び排水金物の接続	4 F	(2) 接続箱の製作及び設置 (3) 太陽電池アレイ架台の製作及び設置		
設備	<ul><li>(単型)</li><li>(単型)</li><li>(単型)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)</li><li>(重要)<td>(2) 工事用電が、こ下小道、ガス使用料金(基本料金を含む)     (2) 同工部排水管及び排水金初の接続       (3) 本設電力引込み工事     3) 同上フ・ドへのダクト接続</td><td>14</td><td>(3) 太陽電池アレイ架台の製作及び設置 (4) パワーコンディショナー及び系統連係保護装置の製作及び設置</td><td></td><td>t<u>öl l</u></td></li></ul>	(2) 工事用電が、こ下小道、ガス使用料金(基本料金を含む)     (2) 同工部排水管及び排水金初の接続       (3) 本設電力引込み工事     3) 同上フ・ドへのダクト接続	14	(3) 太陽電池アレイ架台の製作及び設置 (4) パワーコンディショナー及び系統連係保護装置の製作及び設置		t <u>öl l</u>
概	設備 消火設備 ガス設備 ・都市ガス ○液化石油ガス (・ボンベ・バルク)	(4) 本設上水引込み工事     (4) 洗面化粧台の製作及び設置       (5) 本設下水引込み工事     (5) 同上給排水管接続	<b>-</b>   *	(5) データ計測装置の製作及び設置 (6) 表示装置の製作及び設置		
要	カス設備       ・都市カス       ・沙皮化石油カス(・ボンベ・パルグ)         エネルギー       ・電気       ・ガス(・都市 ・液化石油ガス) ・油(・重油 ・灯油)・廃熱利用	(3) 本設 下水引込み工事       (5) 本設ガス引込み工事       (5) 同上階採水管接続       (6) 本設ガス引込み工事	陽	(6) 表示装直の製作及び設置 (7) 日射計・気温計の製作及び設置		
	熱源方式 ・中央熱源 ・・地域熱源	(7) 本設電力引込み負担金     ・     便     (7) 既製浴槽の設置       (8) 本設上水引込み負担金     ・     ・     (8) ユニットバス・ユニットシャワ・類の設置	光	(8) 電気配線・配管工事(太陽電池アレイ~接続箱) (9) 電気配線・配管工事(接続箱~パワーコンディショナー)		
	空     熱源機器     ・冷凍機     ・ポイラー(温水発生器含)     ・ヒートポンプ冷凍機     ・冷温水発生機       気     ・蓄熱槽     ・氷蓄熱ユニット     ・コジェネレ・ション     ・シ空冷ヒートポンプエアコン	(8) 本設上水引込み負担金       ・       (3) ユニットバス・ユニットシャワ・類の設置         (9) 本設下水引込み負担金       ・       (3) 同上給排水管接続	<b>d</b> H	(9) 電気配線・配管工事(接続相~ハワーコンテイショナー) (10) 電気配線・配管工事		
	配管方式 ・冷温水配管(・2 管式 ・4 管式) ・ 冷媒配管(・2 管式 ・3 管式)	(1) 本設ガス引込み負担金 (1) 同上ダクト接続	]	(パワーコンディショナー~データ計測装置・日射計・気温計・表示装置・受電設備等)	+++	<del>           </del>
	<ul> <li>空調が か方式</li> <li>・単一ダクト ・単一ダクト+ファンコイルユニット ・ファンコイルユニット</li> <li>・パッケ - ジ形空調機(床置) ・空冷t-トボンプパが-ジ(・②マルチタイプ・シセパレート)</li> </ul>	(1) 本設受電後引き渡し迄の基本料金     ・       本設受電後引き渡し迄の使用料金     ・       (1) 同上一次側電気配管配線       室     (1) 既製化粧鏡の設置	_	(1) 屋外記置場等のネットフェンスの設置		<del></del>
	設 ・ガスエンジンヒートポンプユニット ・氷蓄熱ヒートポンプユニット ・小型水熱源ヒ・トポンプユニット ・ 小型水熱源ヒ・トポンプユニット ・ 小型水熱源ヒ・トポンプユニット ・ 小型・水熱源ヒ・トポンプユニット ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	12 本設後引き渡し迄の上水基本料金 ・ 13 特注化粧鏡の設置 ・ 13 特注化粧鏡の設置 ・ 14 年際第十五 区内の製作工 20 日本	- I	(2) 消火器の設置(諸官庁手続き共)	•	++++-
	# 換気方式 ・中央 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	本設後引き渡し迄の上水使用料金     (14) 大便器等水平区画の耐火区画の製作及び設置       (13) 本設後引き渡し迄の下水基本料金     ・ (15) 手すり、ベビーデェア	15	(3) 同上設置用ボックス       (4) 手動プラインド		
	自動制御 ・電気 ①電子(・デジタル調節器) ①デジタル(・DDC、中央監視装置)	本設後引き渡し迄の下水使用料金 (16) ペーパーホルダー、ジェットタオル、オストメイト(デイング を含む)		(5) 同上ボックス、レールの製作及び設置	0	
	エレベ・タ・ ・乗用 ・車椅子兼用 ・荷物用(1,750 kg) ・ 26 人乗 ・ 60 m / 分 ・ 1台       ・乗用 ・車椅子兼用 ・荷物用(***kg) ・ ***人乗 ・ ***m / 分 ・ ***台	(1 4) 本設後引き渡し迄のガス基本料金     ・ (17) 多機能トイレのトイレバックー式       本設後引き渡し迄のガス使用料金     ① 防火 (煙)シャッタ - の製作・設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置	110	(6) 家具、什器、備品(建物に固定しないもの)       (7) スポーツ備品、器具、選手ロッカー		++++
	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	(5) 本設電話引込み工事 (2) 同上用連動制御器と感知器との製作と設置及び配管、配線工事	]	8 洗面カウンター、シャワーブース、トイレブース		
	設 備 エスカレ・タ・・*** ・幅 ***m ・ *** 基	(1.6) 本設電話引込み負担金       ・       (3) 防火戸の摩、枠の製作・設置(自動閉鎖装置用切り込み補強共)         (1.7) 工事上の各種申請、届出費用       (4) 同上用自動閉鎖装置、連動制御器及び感知器の製作と設置及び配管	+	(9) スライディングウォール (10) 調乳シンク	$^{\circ}$	++++-
		(18) 既存上下水道、ガス管の撤去及び手続き(届出費用を含む) ①		11. カーテン		
	機設 乗り入れ方式 ・***	(19) 工事施工に関する電波障害調査     (5) 可動式防煙壁の製作・設置及び自動降下装置緩衝装置の製作及び設置       (20) 工事施工に関する電波障害対策工事     (6) 同上用連動制御器、懸知器の製作・設置及び配管配線工事	++		+++	++++-
	機 ・大型車用(・・・台)・中型車用(・・・台)・中小型車用(・・・台)	9 7. 電動式排煙窓の開放装置の製作、設置及び二次側配管配線工事				
$\vdash$	<u>(収容台数)</u> 注:以下、記入値及び , <b>○</b> のついたものを適用する。	防     (3) セキュリティ・区画等に用いる庫の配管配線用ボックスの製作及び設置       (1) 大規模な機器類の基礎の製作及び設置     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	++		+++	++++-
	外気温湿度 夏: 34.6 、56.8 % 冬: 1.7 、62.1 %	(1) 同上アンカ・ポルトの箱入れ、埋込み設置     ・     (1) 同上用配線及び装置の製作及び設置				
l	気 積 雪 量 42 cm ( *** kg / m²·cm) 多雪区域の指定 ・指定あり ①指定なし     凍結 深度 *** cm	(3) 小規模な機器類の基礎や架台の製作及び設置 ・	++		+++	++++-
設計	保 最多降水量 32 mm/10min	(3) 設備機器類の取付け用インサート及び吊りボルトの製作及び設置 (5) 13.同上用配管、配線工事(受信機・機械排煙口)				
気象	風     向     年間最多:     西北西       設     風     圧     力     建築基準法に基づき定められた風速(Vo)・36 m/s     地表面相度区分:・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(6) S造の設備機器類吊り下げ用取付け金物の製作及び設置 14. 同上用配管、配線工事(機械排煙口~手動開閉装置) 15. 防煙ダンパーの製作、設置及び自動閉鎖装置の製作及び設置	++		+++	++++-
条件	計   耐風性能分類(「官庁施設の基本的性能基準」に準ずる)(W:風圧力,再現期間)	16. 同上用連動制御器、感知器の製作、設置及び配管配線工事				
	作性 構造体 ・ (1.3W,200年) ・ (1.15W,100年) (1.0W,50年:建基法)・*** 建築非構造部材 ・ (1.3W,200年) ・ (1.15W,100年) ・ (1.0W,50年:建基法)・	(17) 消火栓及び消火器一体型消火栓の製作及び設置	++		+++	++++-
	類 建築設備 • (1.3W,200年) (1.15W,100年) • (1.0W,50年:建基法) •			ANICE DE LA COMPANIE		
$\vdash$	そ の 他 ・風洞実験による ・時刻歴応答解析による ・*** 設計者		注: 図面番	該当項目は番号に◯印の付いたものを適用する。区分は҈印か、◯印のない ほと	場合は 印のつ	ハたものを適用する。
-#	ix al fai	技術とは一般複数   大変に有   技術に対する   大変に対する   大変に対すな   大変に対すな   大変に対する   大変に対する   大変に対する   大変に対する		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	★・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	宮建築設計
-	6776号 第384579号	第6211号 図面名	縮尺	Architects, lingingers & Consultants		ect's Office
$\vdash$	和幸 浅山 明 西山 浩司	注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:   注:	mil	1 : NS(A1) 株式会社 梓設計 関西支社 1 : NS(A3) 株式会社 梓設計 関西支社		風保知事登録第11050号
_				A 27 1		

電気設備工事種目			•			
	注: ①のついたものを適用する。 工事関係図書 (1) 施工計画書	 a 総合施工計画書は、工事全体を通じて受注者等が行う工事組織の編成と運用、工事	工事現場管理  (1) 電気保安技術者	 		
番号 工事種目 ①23	外 備 考 品質計画書	環境の整備と維持、工事請負契約に基づく監理者への対応などについて、本工事の	(1) 电机床及放射量	○ 現代目で遊走する ・ 見代目で遊走しない		
1 電灯設備 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	施工報告書	固有の条件に適応した具体的な方策を定めたものとする。 b 工種別の施工計画書は、その工種については監理者の指示に従って作成し提出する。	② 電気主任技術者	着工から引渡までに必要となる電気主任技術者の費用は工事請負金額に		
3 電気自動車用充電設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		c 施工計画書に定めた各項目の品質を確保するために必要なチェックリストを作成し、	2 WT 9 //	・ 含む(・主任技術者を選定する)〇含まない		
4 電熱設備		施工時に自主確認を行い監理者に施工報告書を提出すること。	3.施工条件	施工時間 時~ 時 感染症等の拡大防止の為、「建設業における新型コロナウィルス感染予防対策ガイドライン		
5   雷保護設備		d 施工計画書で定めた各項目を施工するにあたり、適切な時期に行う確認、試験、 検査等、施工品質を確保するために必要な事項を定めた品質計画書を提出する。		(最新版)」等を参考に、工事場所、現場事務所、及び休憩所などにおける感染防止対策を		
7 電力貯蔵 直流電源装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		e.事前に機器の搬入計画書を作成し監理者の承認を得ること。		実施し、工事関係者に体調不良者が発生した場合の連絡体制を整備し、工事開始前までに 監督員の承諾を得ること。		
設備 交流無停電電源装置 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司 司	② 着工時、中間期	○提出書類は「工事に関する書類作成要領ー施工者が提出する書類−」による。	(4) 発生材の処理等	○ 発生剤の処理等は、共仕に従い行う。		•
分散電源Iネ碁ギ・マネジメントラステム ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	の提出書類	<ul><li>①工事写真は「営繕工事写真撮影要領(令和3年版)」及び「営繕工事写真撮影要領</li></ul>		<ul><li></li></ul>		
8 発電設備 自家発電(原動機) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(平成28年版)による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編」(最新改訂版) による。		種類 処分許可業者の会社名 優良 所在地 運搬距離 処分費 (km) (税扱・円) 単位		
太陽光発電装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
#	③)総合図等	作成図面の種別		7スファルト類   四国リサイケル(株) (中間処分)   ○   名西郡石井町高川原字高川原1696-1 7.4 1,000 t		
<b>種</b> 9 構内情報通信網設備		作成図・縮尺 種類		汚泥 (射)徳島県環境整備公社 板野都松茂町高久字朝日6番の地先 8.4 12,800 t 板野都松茂町高久字朝日6番の地先 8.4 12,800 t		
1 1 情報表示 マルチサイン装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		○平面図 ○天井伏図 · 天井内伏図 ○展開図 · ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○				
設備 出退表示装置		U総言図 · 1/100 · · · ·		37/9/- h (無筋)		
1 2 映像・音響設備		·総合施工図 1/50		金属(処分) (株)旭金属 ○ 徳島市東沖洲1丁目12 17.0 0 t		
1 3 拡声設備		躯体開口について建築、構造、設備間の整合確認を目的として総合図調整時に「開口		膜ブラ (財)徳島県環境整備公社 (板野都松茂町富久字朝日6番の地先 8.4 35,000 t 板野都松茂町富久字朝日6番の地先 8.4 35,000 t		
14   誘導支援   音声誘導装置   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		確認会議」を実施する。		廃プラ     (財)徳島県環境整備公社 (徳島東部)     ○ 板野都松茂町富久字朝日6番の地先 板野都松茂町富久字朝日6番の地先     8.4     35,000     t		
トイレ等呼出装置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		各工事間の相互調整完了後の総合図、総合施工図(詳細寸法等を記述した図面)の監理 による取扱い		○ 上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増減変更の対象としない。 また、この場合、処分単価の見積書を求め、減額変更を行うことがある。		
受付呼出装置       15       テレビ共同受信設備		○確認を行う ・承認を行う		なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者(以下、「優良産廃処分業者」と		
16 監視カメラ設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		<ul><li>総合図作成時に主要室の照度分布図を提出すること。</li></ul>		いう。)に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として有料産廃処分業者に 変更すること。ただし、諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う		
1.7 駐車場管制設備	(5) 工事の記録等	a総合会議・分科会及び監理者等と協議した結果についての記録を整備する。		場合は、理由書を監督員に提出すること。		
1 8   防犯・入退室   防犯装置	会議・打合せ記録	b 実施工程表、週間・月間・工種別工程表を整備する。		また、コンクリート、アスファルト類の搬出先には、中間処理施設のみとする。 木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。		
19 火災報知設備 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	工事写真	c 工事の施工に際し試験を行った場合は、直ちに記録を作成する。 d 懇談される等、後日の目視による検査が容易でない部分の施工は工事写真を整備する。	機器及び材料			共通工事
2 0 中央監視制御設備 2 1 医療関係 非接地電源用分電盤 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1.化学物質を拡散	・本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するもの	1. 監理者事務所	●随時監理のため、可能な範囲で下記スペース、備品の準備、共有をすること。
設備 ナースコール設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6 騒音規制基準	騒音規制対象機器について、施工に先立ち品質計画書を作成し監理者の承認を得ること	する建築材料等	とし、次の(1)から(5)を満たすものとする。		③設ける 規模 ・10㎡ ・20㎡ ・35㎡ ●65㎡ ・100㎡ ・ ㎡程度
2 2 構内配電線路		竣工時、敷地境界にて騒音測定を行い、規定騒音値以下を確認し報告書を提出すること		(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティ クルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアル		<ul><li>設けない</li></ul>
2.4 テレビ電波障害防除設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7.現場情報の	・工事期間中、施工品質の管理と現場の円滑な運用を目的として、工程表・工事写真・		デヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。	0	MG OIL INT THE THE THE MINTER WHITH
25 スタジアム音響設備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	電子的な情報交換	護事録・その他、現場情報をインターネットを使用して情報交換が可能とすること。		(2)保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が 極めて少ないものとする。	(2). 監理者事務所の 備品	<ul><li>備品 ⊙机、椅子、書棚、黒板、製図板、掛時計、寒暖計</li><li>⊙ゴム長靴、雨合羽、防寒服、保護帽、懐中電灯、安全帯、安全靴</li></ul>
2 6 大型映像装置設備	8.停電作業	工事着手前に停電作業計画書を監理者に提出し承認を受けること。		(3)接着剤はフタル酸ジ・n・ブチル及びフタル酸ジ・2・エチルヘキシルを含有しない		<ul><li>○電話機、ファクシミリ、コピ・機(通信費、複写費、工事連絡便を含む)</li></ul>
	9. 気密保持	下記のクリーンル - ム仕様室に設置する電線管、ポックスについて室への汚染空気の流	λ .	難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アヒトアルデヒト、トルエン、キシ レン、エチルペンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。		<ul><li>⊙衣類ロッカ - 、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具</li><li>⊙パソコン機器一式 ( ⊙外付け記憶装置 ⊙アプリケーションソフト ⊙印刷装置</li></ul>
	5 . XLE (KIT	を防止するシール材充填・防塵パッキン等の施工計画書を監理者に提出し承認を受ける		(4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、		①LAN設備 ②インターネット設備 ②web会議一式 を含む)
		( クリーンルーム )		放散が極めて少ないものとする。		数量 ○監理者人数と必要に応じた数量とする。
電気設備工事特記仕		放射線使用室の壁等にボックス・盤等を埋込む場合は鉛板による放射線防護処置の		(5)上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、 その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとす	③. 工事用仮設物	構内につくることが ⊙ できる ・できない
	- ロー	施工要領書を提出し監理者に承認を受ける。		る。なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のものを、ホ	(4). 仮設計画書	建物位置と敷地との相対関係、搬出入方法と敷地内外の条件、足場の危険防止、衛生、安
項目特記事項		選定する機器は、設計の性能が確保されているか以下の検討、計算書により性能を確認	L,	ルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものをいい、原則と して、ホルムアルデヒドを放散しないJIS及びJASのF 規格品を使用す	O	全計画書等を作成し監理者に提出する。(建設省営監発第13号(平成7年5月25日)
一般共通事項		監督員に提出すること。		るものとする。		「建設工事安全施工技術指針」・建設省経建発第1号(平成5年1月12日)「建設工事公衆 災害防止対策要綱」を厳守すること。)
総則		・照度分布図 ・在 / 不在センサ・感知範囲図(動作時間含む)			⑤. 工事用水	横内既存の施設 ① 利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)
(1) 共通仕様 · E-001図による。		・電路計算書(幹線、分岐)	②. 機器及び材料の	本工事に使用する機器及び材料(以下「機材」という。)は、設計図書に定める品質	_	
		· 变圧器容量計算書、変電設備換気計算書	品質等	及び仕様、性能を有するものとし、以下のいずれかに該当するものとする。 ○ USD び INSマーク等の物質機関のマーク表示のある機関	(6). 工事用電力	構内既存の施設 ③ 利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)
(2) 特記事項 a 特記事項で「図示」とあるは、設計図面記載事項を	医味する。	· 短絡電流計算書  · 保護協調計算書		○ JIS及びJASマーク等の認証機関のマーク表示のある機材 ○ エコマーク認定製品((公財) 日本環境協会)	(7). 残土処分	○構外に搬出し適切に処理(残土処理事業許可通知書の写しを提出のこと)
③ 適用基準等		·高調波電流流出計算書		<ul><li>使用機材等指定表</li></ul>		・構内指示の場所に敷均す ・構内指定の場所に堆積する
4 設計図書の優先順位 すべての設計図書は、相互に補完するものとする。	にだし、設計図書間に相違がある場合	· 自家発電機計算書(容量計算、換気計算、騒音計算) ②太陽光発電設備計算書		<ul><li>○ 上記以外のもので以下のア~エの事項を満たすもの ア.品質及び性能に関する試験データが整備されていること。</li></ul>		⊙指定された処分場以外へ搬出する場合は監督員の承諾を得ること。
の優先順位は次による。		·電力貯蔵設備(直流電源装置)容量計算書、機器発熱量		イ.法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。		なお、増減変更の対象としない。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ にはることとし、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
1) 質疑回答書(補足訂正追加事項を含む) 2) 現場説明書(現場説明に対する護事録、見積要)	百里を今む)	・テレビ共同受信レベル計算書		ウ.製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 エ.販売、保守等の営業体制が整えられていること。		建設発生土の発生場所ごとに、かつ4,000m³までごとに1回採取して、土壌検査を行う
3)特記仕樣書	RECEU)	- 監視カメラ画角検討書 - モニタ - 画面視認検討書		エ. 版元、床寸号の音楽序前が並えられていること。 なお、この材料を使用する場合は、ア~エの証明となる資料を監理者		こととする。その他、「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における
4)図面(上記「3)」で示す特記仕様書以外の図面		・情報通信機器(ネットワーク機器及びUPS)・テレビブースタ機器発熱量		に提出して承諾を受けるものとする。		留意点」による。ただし、建設発生土の公共工事間の利用を行う場合で、担当者相互
5)設計説明書(設計意図伝達) 6)標準仕様書(「共仕」、「標準図」を含む)		<ul><li>○機器取付強度計算書(仕様基準によるものは除く。屋外設置する設備は耐風計算を含む</li><li>○機器荷重条件書(受変電設備、発電設備、電力貯蔵設備、ケ・ブルとケーブルラック)</li></ul>	)	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有するものであることを証明する資料 として、設計図書に定める仕様と使用する機材の仕様との比較表を監理者に提出すること。		の同意が取れた場合には、分析の必要はない。 ○土壌検査を行った結果、条例の基準に適合しない場合には、監督員と協議すること。
7)国土交通省大臣官房庁営繕部監修 電気設備工事	監理指針 令和4年版			本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物を発散しないか、極めて少ない物とする。		○最終処分場の指定
<ul><li>⑤ 工事実績情報システム(CORINS)へ</li></ul>				アスペスト含有機材は使用を禁止する。		排出土:普通土
の登録	40 77 18 18 29	始于31本连   後日整注本壁が50m / 6750 7750 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	(3). 試験·検査報告書	a.機器・材料は、現場に搬入した時点、あるいは必要に応じて製作工場における製造		会社名:松浦開発興業(株)
6. 契約 本工事の契約は民間(七会)連合協定工事請負契約:		竣工引き渡し後に発注者等が設置(新設及び移設)を予定している主要な機器について 以下に示す仕様の調査、確認を行い一覧表にまとめて監督員に報告し、施工に反映させ	搬入時検査報告書	または組立てが完了した時点で、種別ごとに受注者が検査を行い、検査報告書を		所在地:徳島県撫養町木津字イケヤ谷1449番6ほか10筆
民間(七会)連合協定工事請負契約約款に規定する すみやかに修補する。	L事戦泚が発生した場合は、	ること。	工場検査報告書	監理者に提出する。		処分単価:3,400円/m³ 運搬距離:鳴門総合運動公園から処分場までの距離 7.1km
		<ul><li>○電源(電圧、負荷容量、接続方法、コンセントブラグ形状、発電機回路の必要性)</li><li>○通信(TEL、LANの必要数量)</li></ul>	機能・性能証明書	b.量産品あるいは標準品で実測値などが整備されているものは、機能表または能力		The second section of the second contract of the second section of ALE / J = 90 Up. Sec. V/ pic_pipe. J . 1 N/III
7.建設工事保険等 受注者は本工事の全ての物件に対して、建設工事保 契約後すみやかに監理者を経て建築主に提出する。	<sup>夫寺に</sup> 川入し、それらの証書の写しを   	S.E ( (		計算書など性能の証明となるものの提出をもって前a号の検査とすることができる。	⑧. 埋戻し及び盛土	○根切り土の中の良質土を使用し、締固める。 ✓
建設工事保険会社 ①工事費見積要項書による。				c.監理者が指示する機器・材料の検査には、監理者の立会いを受ける。 d.配線・配管・小型器具・雑材料その他の軽微なものは、梱包などの表示による材質	(9). 金属管の塗装箇所	( 下記の露出配管・ボックスは塗装を行う。(但し、溶融亜鉛メッキ材は除く)
	13. 計量メータの確認		=。	・呼称寸法などの確認をもって前a号の検査とすることができる。	~	○屋上及び屋外 ・倉庫 ・駐車場 ・工場 ・電気室 ・機械室 ・EPS
8 工事区分等 図示によるほか、工事区分による。但し、疑義を生	じた場合は工事着手前に質疑応答書	<ul><li>○工事施工前に計量確認計画書を作成し発注者及び監理者に提出のこと</li><li>○工事室で後計量施初計画書に基づきその施工状況を限合し、その判定終果を計量施初書</li></ul>	-	e. 工区ごとの施工が終了したときは、設計図書の定めまたは監理者の指示がある場合、 その施工についての報告書を取得者に提出する。		○指定色
		○工事完了後計量確認計画書に基づきその施工状況を照合し、その判定結果を計量確認書 記載し提出すること。		その施工についての報告書を監理者に提出する。 f.試験及び検査の立会いに要する費用(交通費・宿泊費共)は工事請負金額に含む。	(10). 屋内の施工時に行う塗料	⊙F とする。 · ( ) とする。
をもって確認する。 建筑工事など他の工事なの即会な共和公は 結准値	ヒロチトばかどを検討でもったて回す	注記)		(工事現場外での試験及び検査)	_	
をもって確認する。 建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。	<b>にり仕上げなどを検討できる施工図を</b>					○標準仕様書による。
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。	<b>より仕上げなどを検討できる施工図を</b>	<ul><li>計量確認実施計画書には、確認項目、確認負荷、確認方法、確認時期、確認者をわかり やすく記載する。</li></ul>	4 実機によるデモ	什样詳細決定前に実機によるデモの必要なものは以下とする。 -	11) 塗装筒所の塗料の 種別・涂り 回数	
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。 9.起工式、上棟式 ①工事請負金額に含む ・含まない	まり仕上げなどを検討できる施工図を	やすく記載する。 〇確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の	<ul><li>(4) 実機によるデモ の確認</li></ul>	仕様詳細決定前に実機によるデモの必要なものは以下とする。 ・LED照明器具(姿図記号: )	種別・塗り回数	·(
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納 提出して監理者の承認を受ける。 9.起工式、上棟式 等に要する費用		やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。		・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)	種別・塗り回数	
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9. 起工式、上様式 等に要する費用  (①) 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:		やすく記載する。 〇確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の		· L E D 照明器具(姿図記号: )	種別・塗り回数 (2) スリーブの材料及び仕様	·( ) 〇標準仕様書による。 ·( )
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納 提出して監理者の承認を受ける。 9.起工式、上棟式 等に要する費用		やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(毎年)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。	の確認	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)	種別・塗り回数 12 スリーブの材料及 び仕様 13 インサ・トの許容	·(
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9. 起工式、上様式 等に要する費用  (①) 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:		やすく記載する。  一確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。  一計量権認は原則として全数行うこと。  一種算計器(一)検定付き・・・無検定)  他工事及び別途で設置する機器の位置、仕楼等を確認の上施工図・承認図等を作成し、	の確認	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) 〇(対象設備:中央監視、大型映像装置 )	種別・塗り回数  (2) スリーブの材料及び仕様  (3) インサ・トの許容引抜荷量	·( )  ○標準仕様書による。 ·( )  ○標準仕様書による。 ·( )
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9. 起工式、上様式 等に要する費用  (①) 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定 (倍率) 状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器 (○検定付き・・無検定)	施工 1.施工の検査等	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) 〇(対象設備:中央監視、大型映像装置 )	種別・塗り回数 (2) スリープの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷量 (4) インサート等及び	・(     )       ○標準仕様書による。     ・(       ・(     )       ○標準仕様書による。     ・(       ・(     )       あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○確算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置、仕楼等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 を機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施	の確認	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) 〇(対象設備:中央監視、大型映像装置 )	種別・塗り回数  (2) スリーブの材料及び仕様  (3) インサ・トの許容引抜荷量	・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を 提出し、監理者の承認を受ける。 ・( )  のあと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との収合	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置,仕標等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 種材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施 工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定対象室 ・図示	種別・塗り回数 (2) スリープの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷量 (4) インサート等及び	・( )  ○様準仕様書による。 ・( )  ○様準仕様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を提出し、監理者の承認を受ける。 ○あと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。 ・性能確認試験 (・行う 製造者試験成績表による )
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置、仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 種材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施 工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類す	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度 測定	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ )  室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はバッシブ型採取機器により行う。 測定対象室 ・図示 . 測定箇所数 ・図示 .	種別・塗り回数 (2) スリープの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷量 (4) インサート等及び	・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を 提出し、監理者の承認を受ける。 ・( )  のあと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置、仕楼等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施 工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類す る原因による品質上、性能上、安全上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度 測定 3.施工者による	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等) 〇(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 ( ) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はバッシブ型採取機器により行う。 測定対象室	種別・塗り回数 (2) スリープの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷量 (4) インサート等及び	・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を提出し、監理者の承認を受ける。 ○あと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。 ・性能確認試験 (・行う 製造者試験成績表による ) 施工確認試験は施工単位ごとに3本以上の引抜き試験を行う。
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9.起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置、仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 種材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施 工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類す	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度 測定	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)  ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ )  室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。測定対象室 図示 別定箇所数 ・図示   受注者は当該工事の施工管理にあたり、日常工事に直接係わる現場作業所職員の構成とは別に、施工品質の管理を目的とする自主施工管理者を選任し、この者を含めた施工管理体制を組織し、品質管理を徹底すること。当該自主施工管理者は、品質計画書の作成及び	種別・塗り回数 (2) スリーブの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷重 (4) インサート等及びアンカー	・( )  「「「「「「「「「「」」」」」  「「「「「」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「「」」  「「」  「「」」  「「  「「」  「「  「「  「「  「
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9.起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(停率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○預算計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置,仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類する原因による品質上、性能上、安全上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、 当該部位についての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度 測定 3.施工者による	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)  ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ )  室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。測定対象室	種別・塗り回数 (2) スリープの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷量 (4) インサート等及び	・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  ○標準仕様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を提出し、監理者の承認を受ける。 ○あと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。 ・性能確認試験 (・行う ・ 製造者試験成績表による ) ・施工確認試験は施工単位ごとに3本以上の引放き試験を行う。 ・穿孔前の埋設配管の有無の探査は、非破壊検査とする。
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9.起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 関係官署その他の機関への必要なすべての届出手続:	き等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積奪計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置,仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類する原因による品質上、性能上、安全上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、 当該部位についての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・ 試験は受注者等の責任を軽減するものではない。	施工 1・施工の検査等 2・化学物質の濃度 測定 3)施工者による 品質管理	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)  ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ ) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。測定菌所数 図示  測定箇所数 図示  受注者は当該工事の施工管理にあたり、日常工事に直接係わる現場作業所職員の構成とは別に、施工品質の管理を目的とする自主施工管理者を選任し、この者を含めた施工管理体制を組織し、品質管理を徹底すること。当該自主施工管理者は、品質計画書の作成及び施工品質の確保のための確認、立会、検査、指導、監督等を行い、実施内容について報告書の提出を行う。	種別・塗り回数 (2) スリーブの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷重 (4) インサート等及びアンカー	・( )  「「「「「「「「「「」」」」」  「「「「「」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「「」」  「「」  「「」」  「「  「「」  「「  「「  「「  「
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 届出手続き等  図係官署その他の機関への必要なすべての届出手続: 一覧表にして発注者に遅滞なく報告すること。	参等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15.監理者の承認・検 ・試験	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の 設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積算計器(○検定付き 無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置,仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、 監理者の承認を受ける。 機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任 を軽減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類する原因による品質上、性能上、安全上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、 当該部位についての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・ 試験は受注者等の責任を軽減するものではない。	施工 1.施工の検査等 2.化学物質の濃度 測定 3.施工者による	・LED照明器具(姿図記号: ・PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)  ②(対象設備:中央監視、大型映像装置 )  見本施工の実施 (・ ) 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルペンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。測定菌所数 図示  測定箇所数 図示  受注者は当該工事の施工管理にあたり、日常工事に直接係わる現場作業所職員の構成とは別に、施工品質の管理を目的とする自主施工管理者を選任し、この者を含めた施工管理体制を組織し、品質管理を徹底すること。当該自主施工管理者は、品質計画書の作成及び施工品質の確保のための確認、立会、検査、指導、監督等を行い、実施内容について報告書の提出を行う。	種別・塗り回数 (2) スリーブの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷重 (4) インサート等及びアンカー	・( )  「「「「「「「「「「」」」」」  「「「「「」」」  「「「「」」」  「「「」」  「「「」」  「「」  「「」」  「「  「「」  「「  「「  「「  「
建築工事など他の工事との取合わせ部分は、補強納: 提出して監理者の承認を受ける。  9 . 起工式、上棟式 等に要する費用  ① 官公署その他への 届出手続き等  図係官署その他の機関への必要なすべての届出手続: 一覧表にして発注者に遅滞なく報告すること。	参等の名称、届出先、届出予定日を (4) 他工事との取合 15. 監理者の承認・検 ・試験	やすく記載する。 ○確認項目は、計量範囲、逆相結線、自動検針装置等のデータ設定状況及びメータ機器の設定(倍率)状況等に区分し明確に記載すること。 ○計量確認は原則として全数行うこと。 ○積奪計器(○検定付き・無検定) 他工事及び別途で設置する機器の位置,仕様等を確認の上施工図・承認図等を作成し、監理者の承認を受ける。 機材、施工が設計図書に適合しない場合、その責は受注者にあり、それらについての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任を経減するものではない。 また、施工に用いられ、または工事目的物に組み込まれた製品の欠落またはこれに類する原因による品質上、性能上、安全上の不具合がある場合、その責は受注者にあり、当該部位についての施工図、製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任を経減するものではない。  「製作図に対する監理者の承認ならびに監理者による検査・試験は受注者等の責任を経減するものではない。  「特別	施工 1・施工の検査等 2・化学物質の濃度 測定 3)施工者による 品質管理	・ LED照明器具(姿図記号: ・ PCにより監視操作するモニタ・画面(例 照明制御画面、監視カメラ画面等)  ○(対象設備:中央監視、大型映像装置  ・ 見本施工の実施 ( ・ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、監理者に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定対象室 ・ 図示 ・ 別定断所数 ・ 図示 ・ 別定断所数 ・ 図示 ・ 別定断所数 ・ 図示 ・ 別定断所数 ・ 図示 ・ 別に抵正品質の管理を自的とする自主施工管理者を選任し、この者を含めた施工管理体制を組織し、品質管理を激底すること。当該自主施工管理者は、品質計画書の作成及び施工品質の確保のための確認、立会、検査、指導、監督等を行い、実施内容について報告書の提出を行う。	種別・塗り回数 (2) スリーブの材料及び仕様 (3) インサ・トの許容引抜荷重 (4) インサート等及びアンカー (4) 障害物の処理 図面番号	・( )  「個準性様書による。 ・( )  「個準性様書による。 ・( )  あと施工アンカー(吊下げ部分には使用しない)を使用する場合は事前に施工計画書を提出し、監理者の承認を受ける。 「のあと施工アンカーの選定・施工は、あと施工アンカー協会有資格者によること。・ ・性能確認試験 ( 行う ・ 製造者試験成績表による ) ・施工確認試験は施工単位ごとに3本以上の引抜き試験を行う。 ・ 亨孔前の埋設配管の有無の探査は、非破壊検査とする。 ・ あと施工アンカーの構造基準は、あと施工アンカー協会構造基準による。  現場説明事項によるほか、工事上撤去移設を要する軽微なものは本工事の範囲とする。

	電力設備	工 事	· ·				·	1		·		·	
耐震施工				耐塩害措置				分電盤・制御盤			構内交換設備		
1) 耐震施工	「官庁施設の総合耐震計画基準・対津	波計画基準」に準ずることとし		1) 耐塩害仕様	<ul><li>○下記の金属部材を有す</li></ul>	るものについて、必要	夏に応じて耐塩害仕様を設定する。	(1) 遮断容量	* 電灯分電盤、重	助力制御盤及び受変電設備等に設置する配線用遮断器の定格遮断容量は当該	1. フロア・プレ・ト	○水平高低調整形(空転防止リング付) 水平調整形 簡易形	
	耐震措置の計算及び施工方法は、「共				製造者標準による、耐				l .	D必要とする遮断容量以上の定格とする。			
	「建築設備耐震設計・施工指針2014年			②. 屋外配管部材			SUS304・スーパーダイマ ZAM等	S = 1 + 1 + 1 + 1 + 1	m== 7.0%		2. ロ・テンション	○一般用 個 ・ボタン電話用 個 ・取付けを含む 納入する	
	なお、施工に際し、耐震強度計算書を 1)設計用水平地震力(K <sub>H</sub> )	監埋者に提出し、水認を受ける	うものとする。 -				SUS304・スーパーダイマ ZAM等 816とし防錆処理を実施する。	② 屋外キャビネット		屋外に設置する機器キャピネットは図面に記載のない場合は次による。 製鋼板 (焼付け塗装)	3.番号計画	電話機の外線番号計画、内線番号計画、その他サービス機能(グルーピング、	g.
	機器の重量 [kgf] に、設計用標準	水平震度を乗じたものとする。	なお、特記なき場合、	② 屋外盤			(\$304・亜鉛照射 (ZnTS50)+塗装		l .	表明版(焼10円至表) 融亜鉛メッキ) ・銅板製(焼付け塗装)	- · M - 2 H M	短縮ダイヤル、転送機能、発信制限等)の設定は監理者と協議の上、承認を得	
	設計用水平震度 (K <sub>H</sub> ) は電気設備工	事特記仕様書(1)による。					n内面塗装膜厚50μm以上)						
	但し、高さ60mを超える建築物、気					亜鉛メッキ (HDZ35)					情報通信設備		
	地震応答解析等による床応答加速度 重要機器	<b>ぎに基つき設計用標準水半震度(</b>	(K <sub>H</sub> )を算出すること。				内面塗装膜厚40μm以上) 316とし防錆処理を実施する。	地中埋設配管・配線			. 1.機器、配管配線	<ul><li>○機器( 本工事 ⊙ 別途工事)、配線( 本工事 ⊙ 別途工事)</li><li>○配管( ⊙ 本工事 ・ 別途工事)</li></ul>	<i>i</i> )
	○配電盤 ○発電装置 ·特別高	高圧機器 直流電源装置	交流無停電電源装置	4. 発電機	重耐塩仕様 ○溶融3			(1) 地中埋設深さ	地中埋設深さに	は、原則として下記による。	0 71-+0-19-49		
		青報設備架 ⊙火災受信機			・溶融団	亜鉛メッキ鋼板塗装(外	面塗装膜厚100μm内面塗装膜厚60μm以上)			FEP管 路盤下面より -300以上、鋼管類 路盤下面より-300以上	2. アンテナの設置位置	○原則、Wi-Fiアンテナは天井内に設置しない。天井下、又は壁面に設置するこ 但し、止むを得ず設置する場合は、天井内がメーカーの保証する動作環境であ	
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					亜鉛メッキ (HDZ35)			道路以外部分	FEP管 GLより -600以上、鋼管類 GLより -600以上		電波強度が低下しないか(Wi-Fiの機能に影響が無いか)検討の上、設置する	
	2)設計用鉛直地震力(F <sub>V</sub> ) 設計用鉛直震度(K <sub>V</sub> )は、設計用水	(亚雲度 (K)の1/2と1. 水平	物震力と同時に働				面塗装膜厚80μm内面塗装膜厚50μm以上) 316とし防錆処理を実施する。	② 地中線路の余長	マンホ・ル・ル	(ンドホ・ル内でケ・ブルの余長を見込む。			
	くものとする。	(干燥及(パ゚) の1/2との、水干/	- PR / J C PJ M J IC BU	5. 照明器具		・耐塩仕様	THE OFFICE CAME / O.	E) 12 1 MAN O M DE		黄断箇所は管路とし、その両端は約1mの余長を見込む。	テレビ共同受信設備		
	3)機器の耐震性能も同等以上とする。						)「照明器具及び照明用ポールの耐塩害に						
	4)屋外に設置する機器についても適用	する。			関するガイド」に準ず	' వ .		(3) 埋設票	地中管路出入口	□、曲折部には埋設票を設ける。 ・コンクリ・ト製 〇鉄製	1.電界強度測定及び	受信可能な全てのチャンネルについて、測定及び調査をする。	
	5)盤内の耐震性能 地震時における盤内の揺れに対応し	,た会長及び可とう性を持った配	配線とする。					4) 埋設標識シ・ト	○全ての地中	配線にはケ・ブル埋設標識シ・ト(2倍長以上)等を設ける。	受信調査		
	6)3kg以下の器具は、脱落が防止でき			配線器具				0 12000	01000		テレビ電波障害防除装置		
	その他構造体からポルト等により単	単独に支持を行う。天井下地に器	器具支持材を取付ける	1). 配線器具プレ・ト 類	特記なきプレ・トは ・	惻順 鞮 (	) ○金属製( )	⑤. 地中引込み管路の		管路にて建物に引込む防水鋳鉄管及び配管類の管路口には防水装置を設	1 . 電波障害事前調査	調査箇所数 箇所	
	事は原則不可とする。	3 T. 7 T.	HD / H D H	(2). 配線器具	タンプラスイッチは埋込	連用形(大角形)とす	<b>వ</b> .	管路口防水装置	けること。 なま	6、使用材料・工法は施工計画書を提出し承認を得ること。		調査チャンネル :	
	7) 躯体より直接支持されていない器具 チェーン等で脱落対策を施すこと。		はソイヤー又は		壁付コンセントは埋込連	用形(大角形)とし、	2口の場合は複式を使用してよい	(6) 地中箱	蓋の記号表示、	鋳型流し込み(電気 ○電力 ○通信・ )	映像・音響設備の試験		
	8) 形鋼用吊ボルト支持金物は、全て外		٤.		下記の特殊形コンセント			0 13 1 1		内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。	1.映像・音響設備	映像・音響設備の試験は、動作試験のほか以下の試験を行う。	
							彡 ○ 防水形 接地極付 赤・緑等の器具を採用するものとし、			ブルには、用途・ケーブル種別・サイズ・出先~行先・他を表示した	の試験	<ul><li>○ インピ - ダンス試験</li><li>○ 残響時間</li><li>○ 伝送周波数特性</li><li>○ 音圧分布</li></ul>	
(2) 機器等の振れ止め	吊下げ固定する機器等は、上部躯体よ	りの吊下げ金物による支持の他	也振れ止めを設ける。		完電機電源、UPS電源に19 使用色は監理者の指示に				線名札を取り付	付けること。		○ 残響時間	
③ 引込配管	建物への配管の引込部の耐震処置及び	建物のエキスパンションジョイ	(ント部の配線				能を満たす事を確認した報告書を提出する。	(7) ハンドホール	八ンドホールギ	<b></b>			
31,210,21	<ul><li>建物への配管の引込部の耐震処量及び</li><li>○建物への配管の引込部には、標準図</li></ul>			.  _	○絶縁抵抗 ○極性 ○	)相回転 ○接地 ○電	≣圧 ·		○ ボルドロッ			中央監視制御設備工事	
	にある以下の施工を行うこと。			3) フロア・プレ・ト	① 水平高低調整形(空転	防止リング付) ・オ	K平調整形 · 簡易形				1.機能試験	「標仕」の機能試験による他、停復電時の総合連動試験において、表示、動作等	等の機能確認
	<ul><li>⊙ 変位量 0.2m以下(FEP管の</li><li>亦位量 0.2m以下(FEP管の</li></ul>			4. ハイテンション	⊙ 回転又は上下動形	- p	内部固定形 · 外部固定形	雷保護設備				をし、記録に残すこと。	
	<ul><li>・変位量 0.6m以下(FEP管の ・変位量 1.0m以下(FEP管の</li></ul>			⑤ 0Aフロアー配線	ハーネスジョイントポッ			1. 突角部の保護	水平道体たパ=	ラベットなどへ施設する場合は、可能な限り外側端部に近く施設するとともに、			
	・ 変位量 1.0 m以下(FEP官の ・ 免震建物導入部の引込配線は、				使用していない接続口は			・・大用即り体語		7 ヘットなどへ施設する場合は、可能な限り外側端部に近く施設するとどもに、 - 突角部より突き出すか、追加の受雷部を設けること。		7 0 14	
	行うこと。				ハーネスジョイントには 表示を記すこと。	四路番号表示を貼り付	け、OA床上(カ-ペット下面)に位置					そ の 他	
				⑥. コンセント表示	表示を記すこと。 コンセントには以下表示:	を行う事。					① 点検口	点検口類の裏面には、点検箇所を明記する。	
4 . 免震層内に設置 する配管類	・配管、ケーブル、配管用設備架台は 発生しないように以下の離隔距離を		隕傷、機能不全が		<ul><li>○電源供給元の盤名称</li></ul>		回路表示				② 屋外設置の架台等	○屋外及び屋上の機器類のチャンネルベ・ス・架台及びケ・ブルラック・ワイヤ	ヤリングダ
ナる町昌瀬	完全しないように以下の離隔起離を 一般 水平変位 ± 600mm	ヒ帷採9も。 鉛直変位 0~	-40mm	(一) 天井内のコンセント	塵、埃などにより火災器・	生のおそれがあるため	、天井内にコンセント等の差込口は原則				③) あと施工アンカー	クト・ボックス類・ボルトは、溶融亜鉛めっきまたはSUSとする。 ②あと施工アンカーを使用する場合は、監督員及び監理者との協議によること。	.
	重要管路 水平変位 ± 600mm						必要のある場合は、コンセント等の差込口に	=			S. S. C.IR. I. F. J. J.	・ のと他エアグカーを使用する場合は、監督員及び監理者との協議によること。 使用する場合は、耐震計算書に基づき、全数引き抜き試験を行うこと。	٠
	注)重要管路 電力引込管路、通						置(プルボックス等の密閉されたボックスに	=				標準機器取付高さ基準	
	離隔距離の確認は目視ではなく実測				収納(コンセント形状は を行い、点検、メンテナ		トラッキング対策を講じたコンセント等)、 に点検口を設けること。			受変電設備工事	0 =4==		
	配管関係の施工要領書は構造監理者	1 に承認を得ること。		接地工事				1.締付け確認表示		企業面に締付け確認表示を行うものとし、原則として現場代理人、	① 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表に	たよる。
(5) エキスパンション	⊙エキスパンションジョイント部の配	記線は、標準図の配管類12の対	対応例により施工する	_				1 . DD 1917 DE 86 42 //		を 技術者、配電盤メーカ担当技術者が捺印するものとする。		名 称 測 点 取付高[mm	ım ]
ジョイント部の	こと。			1).接地極	接地極の材料は下記によ 10 はW=30、 L=900、1		(14 )の長さは 1500mm 以上とし、 0としてま業し去まない			器盤、動力制御盤についても同様とする。)		ブラケット(一般) 床上~中心 2,100	
配管					(雷保護用を除く)	4 lat 11 - 40 ( E=120	02000202240					" (	1
ŀ						号 接地抵抗值	接 地 極	2.試験	1	重動動作試験を行ない、試験記録を提出する。 		避難口誘導灯 床上~下端 1,500以上	·
						E <sub>A.D</sub> 10 以下				には、予定する運転条件(停電時、火災時、デマンド制御及びセンサ - 5、電力供給の制御(発電機の負荷への供給試験含む)や他設備、別途機器		廊下通路誘導灯 床上~上端 1,000以下	
電線類・電線管保護物他	<del>-</del>					EC.D 10 以下				実に実施されるかの確認を含む。		スイッチ (一般) 床上~中心 1,300	
1 ケ・ブル、電線	⊙ エコケ-ブル ・ 一般					E <sub>A</sub> 10 以下				験実施計画書 (事前)		" (多機能トイレ) " 1,100 コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット(一般) " 300	
② ケ・ブル表示札の	各階EPSにおいて、ケ・ブルラック	Fの配線には 下記の内窓を表	5元   た表示札を		-	E <sub>C</sub> 10 以下				験実施手順書(事前)		# (和室) # 150	
取付け	取付けること。		CAN O TO ACAN TO C			ED 100 以下			○総古建劉訊:	験実施記録書 (事後)		" (台上) 台上~中心 150	
	○ 用途 ○ 幹線番号 ○ ケ-ブル種	別、サイズ ①電原種別、電影	圧 ⊙出先~行先			ELB回路共用) 2 以下		3 . 高圧ケーブル	高圧ケーブルの	D端未処理材は、JCAA規格品を原則とする。		コンセント(自販機用) 床上~中心 2,200	
	工事名称 施工年月日	·施工者名				E <sub>LH</sub> 10 以下			(60sq以上は£	王縮型端子とする。)		コンセント(冷蔵庫用) 床上~中心 1,800 コンセント(車庫) 床上~中心 800	
□    □    □    □    □    □    □	配線経路、電線サイズ、配線本数、管	<b>吹井ノブかじ機能を港</b> 見すれげ	ず 図面トタ小扫海		0	ELA 10 以下 Et 10 以下	EB(14 )× 連一 組 EB(14 )×3連- 組					引込開閉器箱(低圧)   床上~中心	
3) 配線本数、音扇寺	に	<b>始り1 人なこ慌能を凋走りれは</b>	1、凶肌 C 多少相連				EB(14)×3連-組					分電盤、0A盤、制御盤、実験盤 床上~中心 1,500 (上端1,9	,900以下)
1 .					○ 拡声用増幅器	EDt 100 以下	EB (10 ) x 1 (L = 1000mm)					開閉器箱 " 1,500	
4 埋設配管、ボックス					② 測 定 用	E <sub>0</sub>	E B (10 ) x 1 (L = 1000mm)			力貯蔵設備工事		電磁開閉器用押しボタン     " 1,300       接地用端子箱     地上、床上~中心     500	
	鉄筋コンクリート造の柱には原則とし	て打込みボックスは行わないこ	٤.									接地用端子箱	
(5) 結露防止	結露するおそれのある壁,天井にボック	ウスを埋込む場合は結霧防止断勢	熱カバー取付等の結露	② 接地抵抗測定			大接地極、または基礎接地極の場合の接地	1.試験	停、復電時の過	重動動作試験を行ない、試験記録を提出する。		接地極埋設標 地上~中心 600	
	防止処置を行う。	w = 10-700 20 70 11 EVI 5					特期及び回数は以下による。 ************************************					給油ポックス 地上~給油口 1,000	
					(・接地極設置時 1 ₪ ○大地抵抗率を着工前に		国 · 竣工検査前1回 )					端子盤 (EPS・電気室) 床上~中心 1,500 壁付需話機 床上~中心 1.500	
6 防火煙区画貫通処理	防火区画の貫通部には、国土交通大臣	認定工法による貫通処理を行う	こと。		○ ハ □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			_				壁付電話機         床上~中心         1,500           アクセスポイント         床上~中心         (天井高)×0.9	<u> </u>
(7) 中空防火区画壁の	中空防火区画(114条区画含む)壁内に	に設置する配線器具等のアウト!	レットポックスは、	照明器具								親時計 " 1,500	
防火措置	鋼製ポックスを使用し国土交通大臣認			1 . ランプの光源色	LED電球の光源色は、	各室の色温度施工計画	書を提出し監理者の承認を受ける。	-		改 悪 饥 进 丁 孛		子時計、スピーカ " (天井高)×0.9	,
1				2. ランプの予備	○不要					発 電 設 備 工 事		アッテネータ     " 1,300       出退表示盤     " (天井高)×0.9	
<ul><li>8 ケ・ブルラック 保護カバ・</li></ul>	屋外のケ・ブルラック及び屋内に露出 (EPS内の低圧配線・通信配線用は除く				・各種総個数の %			1 . 試験	停、復電時の過	里動動作試験を行ない、試験記録を提出する。		出退表示盤 " (大开局)×0.9 発信器(出退表示用) " 1,300	—— I
本暖ガバ・	屋外に設置する保護カパ-は、風圧力に			3 . 照度測定	照度は、各室2ヶ所(中心			2.回路試験	※雪機同吹きち	青の電源種別、電圧のチェックを行ない、確認記録を提出する。		インターホン " 1,300	
	トルクレンチにより適正締付トルクに						、3mピッチの桝目状に測定する。	- · □ m m ex	70 -B 198 EI EI EI EI	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		外部受付用インターホン子機 ″ 標準図による	
	人が乗るおそれのある床上のケ・ブル		(リップタイプとする。		また、鉛直照度(FL+150	い丿も測定する。		③ 系統連携申請	太陽光発電設備	# 等を電力会社の電源と系統連携する場合の申請は本工事とする。		呼出ポタン (多機能トイレ) " 900	
9) 屋上階のケーブル	屋外の床上に設置するケ-ブルラックに	ナ 近傍の継ば甘珠空から行か。	止めた町ェーレ	4 . 照明制御の照度測	照度センサーによる照明:	制御回路は、照度及び	入力電力を測定し測定表を提出する。					復帰ボタン (多機能トイレ) " 1,800 廊下表示灯 (多機能トイレ) " 2,000	
9)屋上階のケーフル	産介の体工に設直するケーノルフックに	a、凡房の%(概基礎等から旅れ)	止めて取ること。	定等	照度及び入力電力測定	(100%点灯時	○ 夜間 ○ 昼間 )	4) 直流配線表示		5接続箱とパワ・コンディショナ・間の配管等に取り付ける太陽光直流配線 は、彫刻・エッチング等屋外に設置しても容易に消えない方法により表示		ポースパガ (多機能ドイン) " 2,000 テレビ機器収容箱 " 1,800	
						(調光制御点灯時	○ 夜間 ○ 昼間 )		注意寺の表示に すること。	e、nexx エッテンプで圧/17に収量∪しつ台勿に用えない月法により表示		火報受信機(複合盤)     床上~操作部     800~1,500	
10. パスダクトの敷設	① 直線部の距離 m に 1 箇所エ	C キスパンションパスダクトを討	設けること。	5. 非常用の照明装置	測定箇所は、各室2ヶ所以	人上とし、測定記録率 *	を提出する。					副受信機 床上~中心 1,500 機器収容箱 "800~1,500	I
(1). 用途表示	各機器収容箱等の前面には銘板取付け	7 世田冷声ニャにこ		の照度測定箇所数								機器収容箱 " 800~1,500 発信機 " 800~1,500	
(1). 用述表示	各機器収容箱等の前面には銘板取付け プルボックス、ジャンクションボック											発音機 " 800-1,300 警報ペル " (天井高)×0.9	-
	表示内容は図面に記載の無い場合、監			6. 照明設備の仕様			月器具名称、台数、ランプ名称または種類、 					表示灯 " (天井高)×0.8	j
I				の確認	消費電力、消費電力の (一覧表において設計		「記載し、添付すること。 こと、)		诵作	言・情報設備工事		連動制御器(自動閉鎖) " 1,500	
(2). 盤類の鍵	各種盤類、機器収容箱は原則鍵付きと 鍵リストを作成し、発注者の承認を得		8、機器仕様決定前に	Eh +1 27 /#	, 36-50, C 00 V 1 C 00 0 1		/					ガス漏れ検知器 (LPガス) 上端 300 " (都市ガス) 天井面~中心 (天井面)-200	
1	**セッハ   セトル ()、光注句の外部を停	<b>⊌</b> ⊂ C₀		動力設備				耐震施工 電線類・電線管保護物	電力設備工事に	L J O			双付の場合)
I				1.機器への接続	本工事制御盤より別途電			耐塩害措置					
1				2.電動機の接地	・金属管接地(7.5kwを ○専用接地線式	起ん のものは 専用接地	18x 11√ C 9 © 。 )	接地工事					I
1				3 . 配線器具	特殊コンセントはプラグ	付とする。		地中埋設配管・配線					
				4 . インパータ装置の	三相可変速電動機用イン	パータ装置の規約効率	は、次の数値以上とする。						
				規約効率	電動機出力(kll) 0.4 0.75	5 1.5 2.2 3.7 5.5	7.5 11 15 18.5 22 30 37	7				/ (株本 ) / 工井宮 ) は0 0 12 *** / エ井宮 ) は0 0 12 *** / エオロ とり は り 0 12 *** / エオロ とり とり は り 0 12 *** / エオロ とり	_
							91.0 91.5 92.0 92.5 93.0 93.5 94.0	]				(備考) (天井高)×0.9 及び(天井高)×0.8 は天井高が 2500~3000mm の場合に適用する。	
					備考) (1)電動機の供給電								
					(2)インパータ効率	単は、100%負荷時の値	とする。						
		L-tx		3,2 see A ea	M 44-7-4-	+n+1 == =	[s+ +7		<u> </u>	丁重々			$\longrightarrow$
4874AV 1	部交音 46.7mc年上	[看		法適合確認相	検証者	設計番号	特 記	徳島県東部県士整備	 	工事名 ログは1、1点明が入室新八国 ・	図面番号	AZUCA CEVVEL LA 4 ## == 7± ^*	<sub>€≐π≟⊥</sub>
	一級建築士		_	設備設計一級建築士		17992				R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事	E-006	AZUSA SEKKEI ★ 株式 宮建築	
第286776号 第	第384579号		_	第6211号						図面名	縮尺 1 : NS(A	MIYA Architect's Of 株式会社 梓散計 関西支社	TTICE
渡邉 和幸	浅山 明 西山 浩司			浅山 明	寺田 庄作					電気設備工事特記仕様書(6)	1 : NS(A3		1 1 0 5 0号







太陽光発雷設備設置工事 特記什樣書

(注)什様書と異なる箇所については監督員の承認により変更を可能とする。

## 1. 一般事項

## 1.1 滴用範囲

本仕様書は、R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事の内 系統連系用太陽光発電設備工事について適用する。

## 1.2 納入場所

徳島県鳴門市撫養町立岩四枚61番地

## 1.3 適用規格・法規等

本工事の設計・施工に当たっては、下記の法令・規格等に基づくものとします。

- (1) 労働基準法
- (9) 日本産業規格 (JIS)
- (2) 労働安全衛生法 (3) 建築基準法
- (10) 日本電機工業会標準規格 (JEM) (11) 日本電気規格調査会標準規格(JEC)
- (12) 日本電線工業会規格 (JCS)
- (4) 電気事業法
- (13) 内線規定
- (5) 電気工事士法 (6) 消防関係法規
- (14) 系統連系規定
- (7) 電気設備技術基準
- (8) 電力品質確保に係る

系統連系技術要件ガイドライン

## 1.4 保証条件

引渡し後1年以内に設計もしくは製作不良、その他工事者の責任に帰すべき不都合が発生した場合は、 速やかにこれを無償で修理、または、良品と交換するものとします。

なお、上記保証期間を経過した後に、機器製作不良等丁事者の責に帰すると判断される原因により 事故が生じた場合、その修理・取替に要する費用については、協議の上決定するものとします。

機器仕様にある寸法及び重量等が特定メーカーを指定するものではない。異なる数値がある場合は、 監督員に一覧表を作成の上で協議を行い、承認を得ること。

## 2. システム概要

# 2.1 設備の概要

連系する電力系統 : 高圧一般配電線(三相3線、6.6kV、60Hz)

: R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事

発電設備の種類 : 太陽電池発電所

: 太陽電池容量 11.85kW 以上 パ゚ワーコンディショナ容量 10kW×1台

本システムは、太陽電池モジュール、太陽電池用架台、パワーコンディショナ (接 続箱機能、連系保護装置含む)、計測監視装置及び表示装置等より構成します。

- (1) 太陽電池は太陽からの日射を受けると直流電力を発生し、これをパワーコンディショ ナ(接続箱機能)で集電します。
- ②) パワーコンディショナは、この直流電力を並列する商用電源の電圧、周波数、位相 と同期した交流電力に変換し、対象とする負荷へ電力を供給します。
- ③ 連系保護装置等により、パワーコンディショナ及び系統の異常時には連系を 遮断します。
- (4) 運転データ等は、計測監視装置により収集します。

## 2.3 運転方式

パワーコンディショナは、下記の通り運転を行うものとします。

- ① 太陽電池の動作特性を監視し、設定値に達するとパワーコンディショナ を自動的に起動します。
- (2) 太陽電池の出力を監視し、設定値以下になると自動的に運転を停止します。
- ③ 太陽光発電システムによる負荷への電力供給は、原則として日中発電時のみ を対象とします。日中発電時に日射不足により給電不能となる場合は自動的
- 4) 太陽電池出力監視による発電装置自動停止後の復帰は時限を採って行い、 不要な高頻度のポンピング (ON / OFF動作)を避けます。
- (5) 交流系統に事故が発生した場合やパワーコンディショナ故障時は、速やか に商用系統との連系接続を解列し確実に停止します。
- (6) 商用系統の事故の場合は、商用系統が復旧すれば設定時間後、手動で 再投入して運転を再開します。

## 2.4 系統連系保護方式

本システムにおける連系保護装置は、電気設備技術基準に沿って設置するものとします。 電気設備技術基準の解釈第229条の規定による保護継電器の種類・設置相数 および検出場所を表 - 1に示します。 (高圧連系)

表 - 1

保護継電器の種	種類	設置相数	検出場所
1 地絡過電圧継電器	(OVGR)	零相回路	受電盤内に設置(別途工事)
2 過電圧継電器	(OVR)	1相	
3 不足電圧継電器	(UVR)	3相	
4 周波数上昇継電器	(OFR)	1相	パワーコンディショナ内
5 周波数低下継電器	(UFR)	1相	
6 単独運転検出機能	(受動・能動)	-	

## 2.5 データ計測方式

本システムにおけるデータ計測に当たっては、(1)に示す機器により、

② に示す条件で、 ③ に示すデータを自動的に収集し、パーソナル コンピュータ内に1時間データを蓄積し、抽出できる計測システム

# を構築します。 (1) 使用機器

・パーソナルコンピュータ : 1式 : 1組 気温計 : 1組 ・データ検出用機器及び信号変換器: 1式

# ② 測定周期、演算周期

 測定周期 演算周期

# ③ データ収集項目

表 - 2

6秒

: 1分

項目	測定点数	データ格納
·日射量	1点	0
<ul><li>気温</li></ul>	1点	0
・パワーコンディショナ出力電力	1点	0
・太陽電池出力電力	1点	0

パワーコンディショナ台数分の合計値とします。

## 2.6 納入機器範囲

納入機器は表 - 3に示す通りとします。

## 表 - 3

No.	機器名	仕 様	数量	備考
1.	太陽電池モジュール	単結晶太陽電池	32枚	防眩仕様 うち2枚ダミー
2.	太陽電池架台	壁面用	1式	
3.	パワーコンディショナ	10kW	1台	
4.	計測監視装置		1式	パーソナルコンピュータ、他一式
5.	日射計		1台	
6.	気温計	測温抵抗体	1台	
7.	ディスプレイ表示装置		1式	

## 3. 機器什樣

3.1 太陽雷池

単結晶シリコン太陽電池防眩仕様

容量 : 11.85kW 外形寸法 : 図面参照 出力特性 : 表 - 4 参照

18	- 4
項目	モジュール出力
最大出力	395W min-3%
最大出力動作電圧	30.55 V
最大出力動作電流	12.94 A
開放電圧	36.97 V
短絡電流	13.82 A
	_

条件 : 日射強度 AM1.5 1kW/m<sup>2</sup> モジュール温度 25

太陽電池モジュールを15直列2並列 + ダミー2枚にて使用するものとします。

耐風圧条件: 徳島県鳴門市、地表面祖度区分 、基準風速 36m/s

正圧 2,282Pa、負圧 -1,237Pa、隅角部負圧 -1,512Pa モジュール風圧性能が記載された製品仕様書を設計者へ提出、承認をとるものとする

## 3 2 架台

構造 壁面用 外形寸法 別途図面参照 : アルミ押出型材 材質

強度 関係法規に基づき必要な強度を有するものとします。

# 3.3 パワーコンディショナ

系統連系パワーコンディショナ(屋内壁掛形) 種類

容量 10kW

入力電圧範囲 : DC0~650V

: 三相3線 V相接地 AC202V 60Hz 出力電圧 自立出力 単相2線100V 3.0kVA

電力変換効率 : 97%

出力基本波力率 : 0.95以上

交流電流ひずみ率 : 総合5%以下 各次3%以下

制御方式 最大出力追従制御

運転/停止 :「2.3 運転方式」によるものとします。 保護機能 :「2.4 系統連系保護方式」によるものとします。

計測機能 表示項目(切替式)

> 直流電圧 ・直流電流 ・直流電力 ・交流電圧 ・交流電流 ・交流電力

交流雷力量

接続箱機能 回路数 ; 入力4回路

収納機器 ; 入力回路断路端子及び逆流防止ダイオード

配線用しゃ断器・誘導雷保護器(ZNR)

外形寸法 別途図面参照

塗装色 マンセル 5 Y 7 / 1 近似色

周囲温度 - 10 ~ 50 、相対湿度10~ 95% 周囲条件

(結露なし)

## 3.4 計測監視装置 使用機器

: パーソナルコンピュータ、他一式 設置場所 : 屋内 : A C 1 0 0 V 電源電圧

3.5 日射計

対象

: ISO Second Class 相当とします。 計測精度

: 太陽電池架台近辺に設置 設置場所

## 3.6 気温計

種類 測温抵抗体 センサー Pt100 外形寸法 別途図面参照

設置場所 : 太陽電池架台近辺に設置

## 3.7 ディスプレイ表示装置

屋内壁掛形 構造 外形寸法 別途図面参照 電源電圧 : A C 1 0 0 V 表示内容 : 発電電力、発電電力量 他

## 4. 工事範囲

# 4.1 据付、配線工事

(1)据付工事 納入機器の据付工事

(2)配線工事

納入機器の配線工事

## 4.2 接地用配線工事

(1)納入機器のC種及びD種接地工事

## 4.3 工事範囲外

(1)太陽電池架台用の基礎工事

## 5. 試運転・完成検査項目

試運転・完成検査項目は、下表に示す通りとします。

	1.	3			
	太陽電池	パワ- コンディショナ	計測監視 装置	ディスプレイ 表示装置	配線 ケーブ ル
外観・構造試験	0	0	0	0	0
絶縁抵抗試験	○注	○注			0
絶縁耐圧試験	○注	○注			
保護装置特性		○注			
動作確認試験		0	0	0	

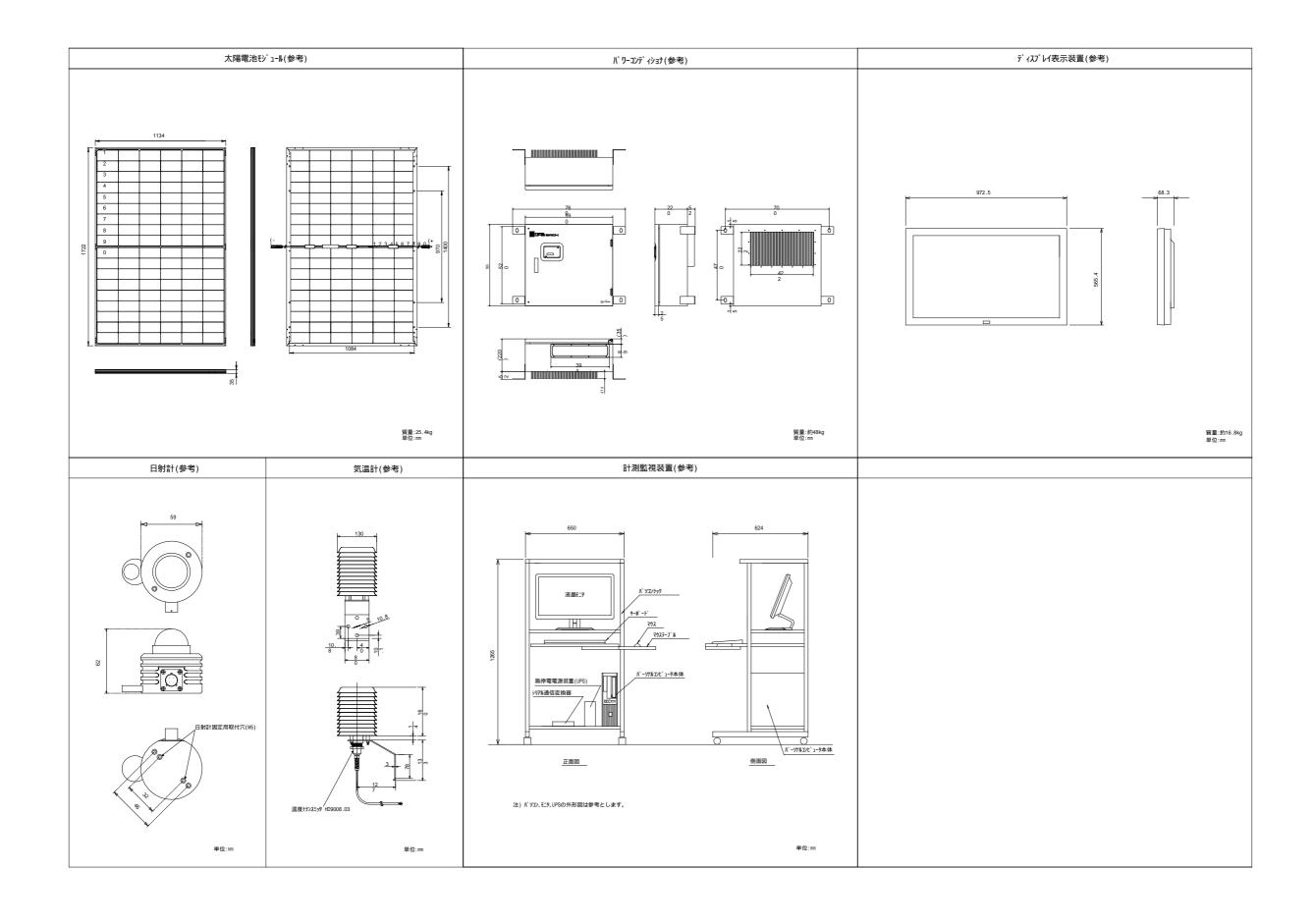
注) 現地試験は省略し、工場試験成績書にて承認とする。

法谪合確認欄 設計番号 設備設計一級建築士 17992 第286776号 第384579号 第6211号 浅山 明 浅山 明

図面番号 徳島県東部県士整備局 < 徳島 > R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事 E-018 図面名 1 : NS(A1) 太陽光発電設備 特記仕様書

**NZUSN SEKKEI** 株式会社 梓設計 関西支社

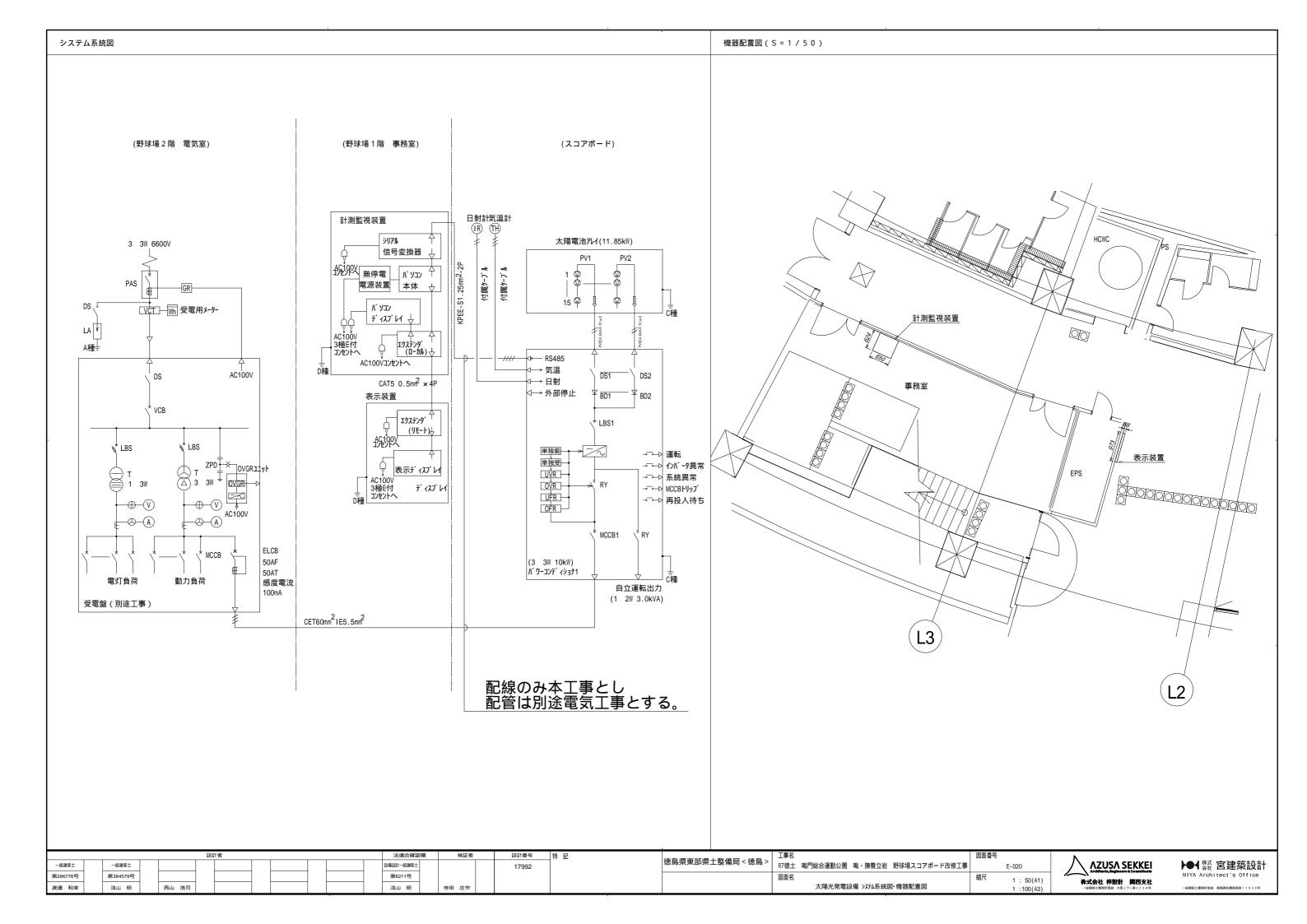


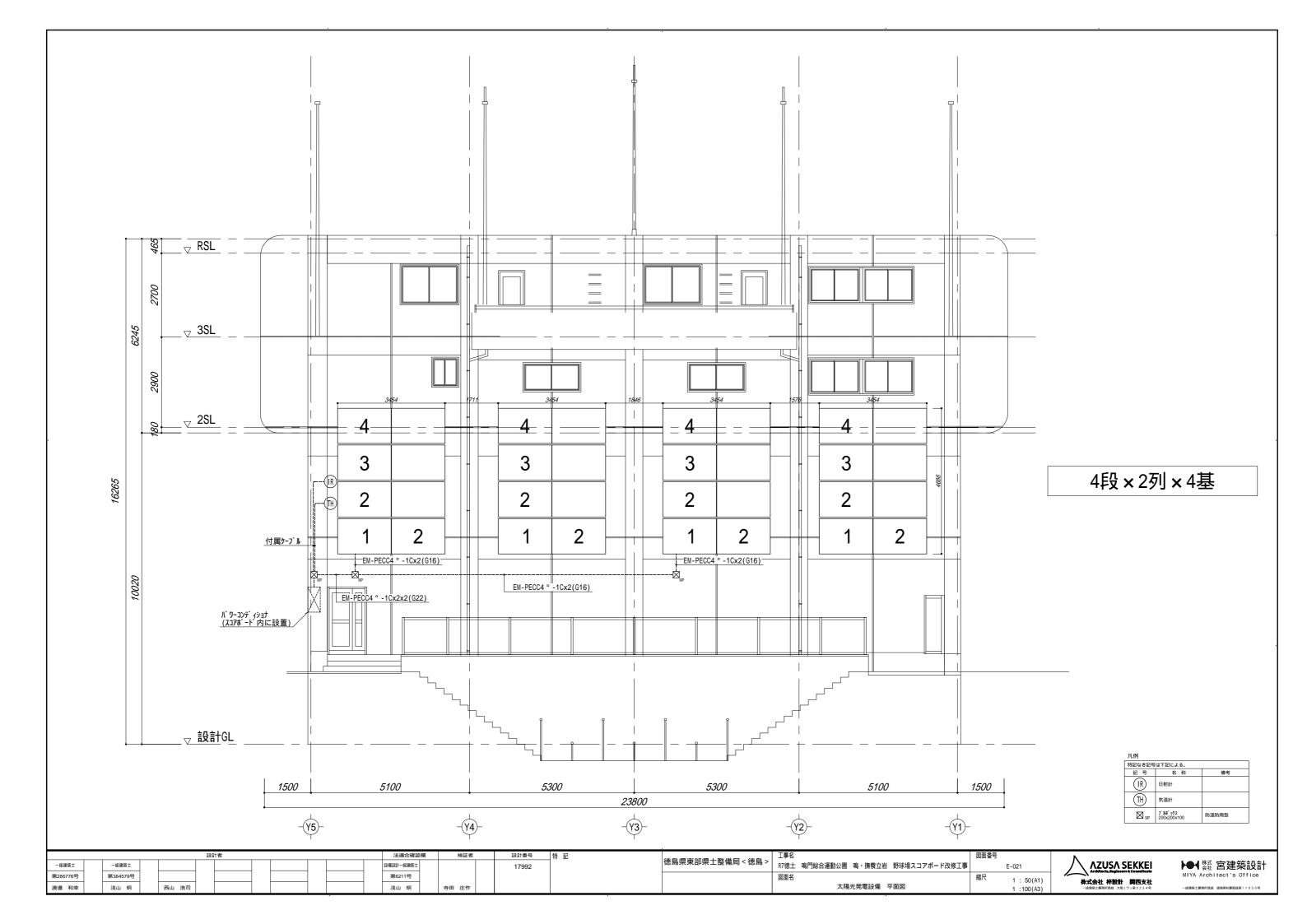


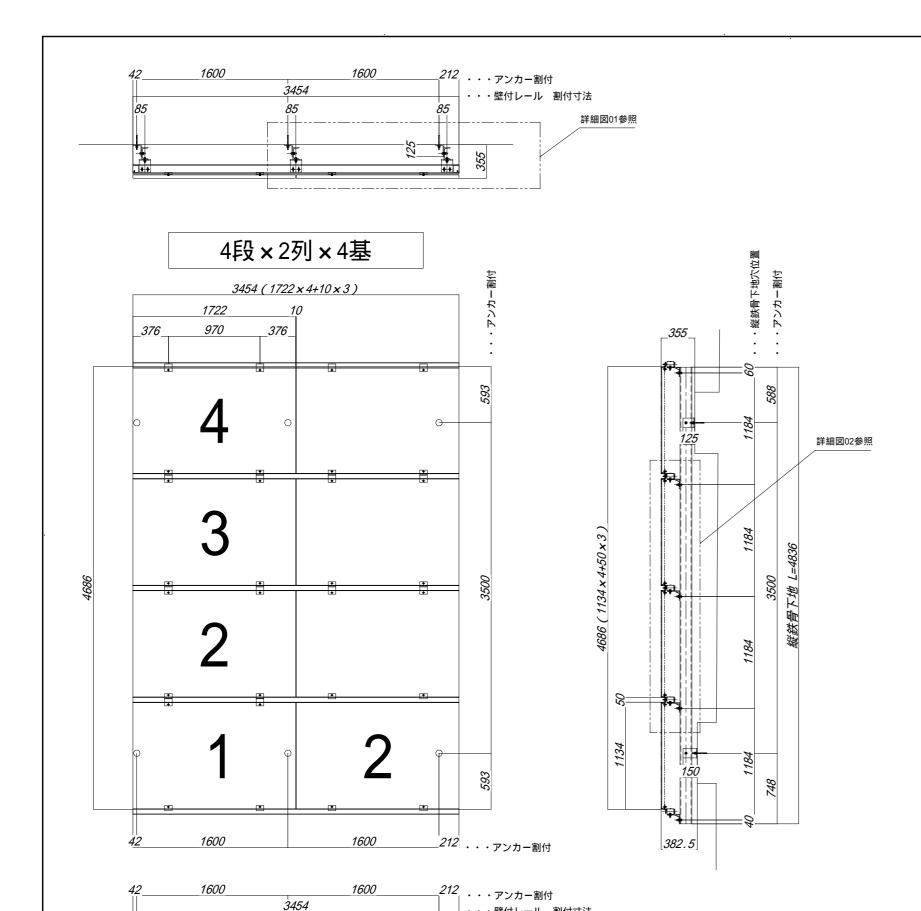
Г				設計者			法適合確認相	開	検証者 設計番号		特記	(A. A. A		図面番号		
Г	一級建築士	一級建築士					設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-019	/\
Γ	第286776号	第384579号					第6211号						図面名	縮尺	1 : NS(A1)	1
Γ	渡邉 和幸	浅山 明	西山 浩司				浅山 明		寺田 庄作				太陽光発電設備機器姿図		1 : NS(A3)	



►●◀ <sup>株式</sup> 宮建築設計
MIYA Architect's Office
一級建築士事務所登録 徳島県知事登録第11050号

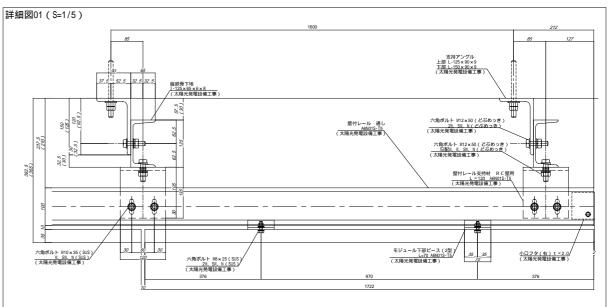


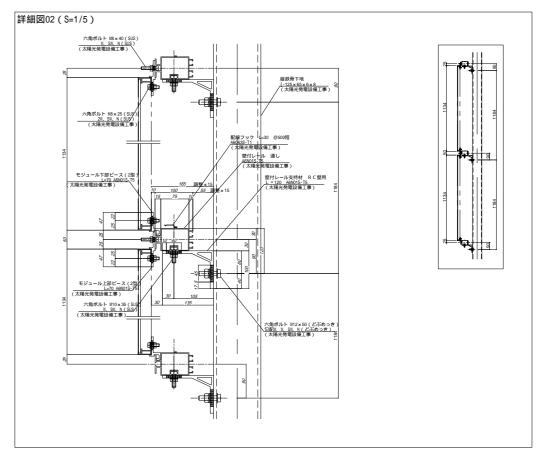




・・・壁付レール 割付寸法

詳細図01参照



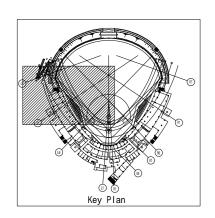


# (注)寸法は参考とする。

宮建築設計

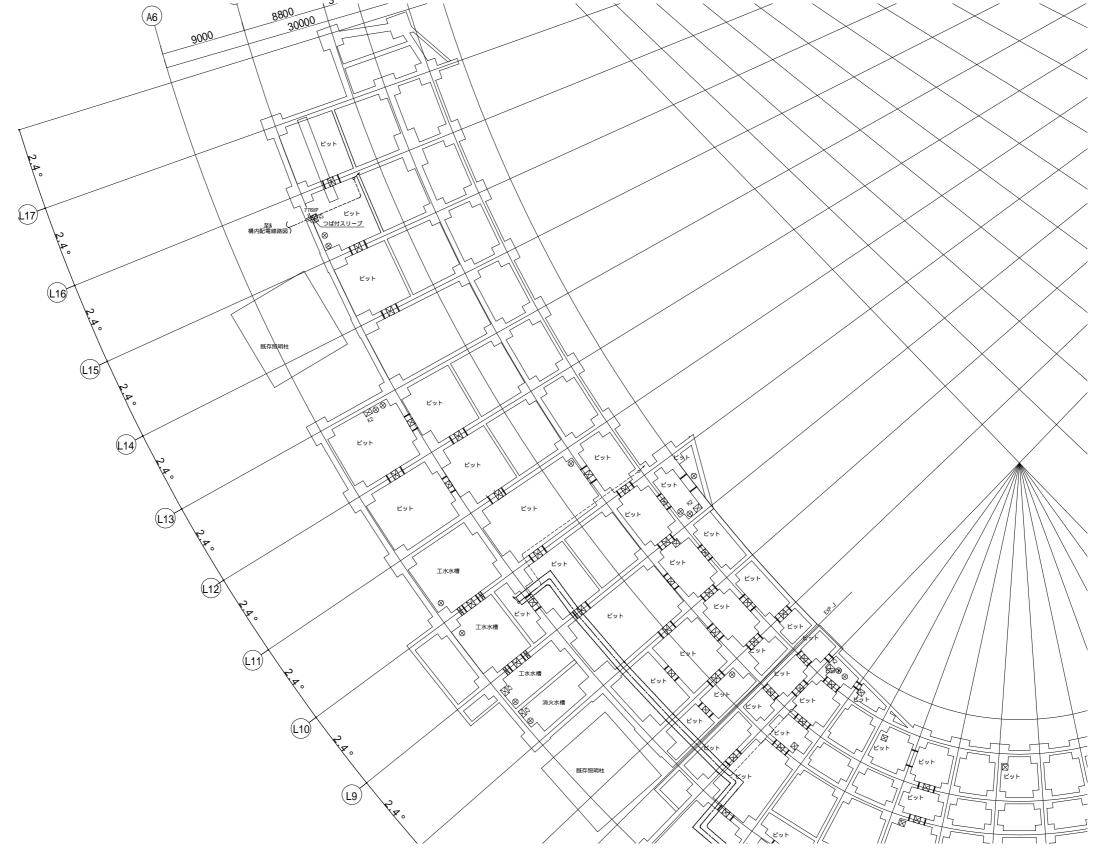
1			設計者			法適合確認相	欄	検証者		設計番号	特 記	40.0	工事名	図面番号	특	<b>N</b>	
	一級建築士	一級建築士				設備設計一級建築士				17992		徳島県東部県士整備局<徳島>	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工場	<b>5</b>	E-022	AZUSA SEKKEI Architocto, Englissory & Consultanto	▶●◀ 株式 宮
	第286776号	第384579号				第6211号							図面名	縮尺	4 00(14)		MIYA Archite
	度邊 和幸	浅山 明	西山 浩司			浅山 明		寺田 庄作					太陽光発電設備 パネル取付参考図	There .	1 : 20(A1) 1 : 40(A3)	株式会社 梓散計 関西支社 -級建築土車務所登録 大阪(ワ)第3234号	一級建築士事務所登録 德昌





凡例		
記号	名 称	備考
	電灯分電盤	
M	動力制御盤	
250	別途制御盤	
€5 €3	空調室内機	
€)	送風機	
<b>\$</b>	全熱交換器	
	空調室外機	
53	排風機	
5	手元開閉器	
@	壁付コンセント	3P15A+E付
×	プルボックス	
8 8	立上げ、引下げ	
	ケーブルラック	
「配管配線凡例」		
	床隠蔽配管配線	
	天井内コロガシ配線	
	露出配管配線	
	地中配管配線	

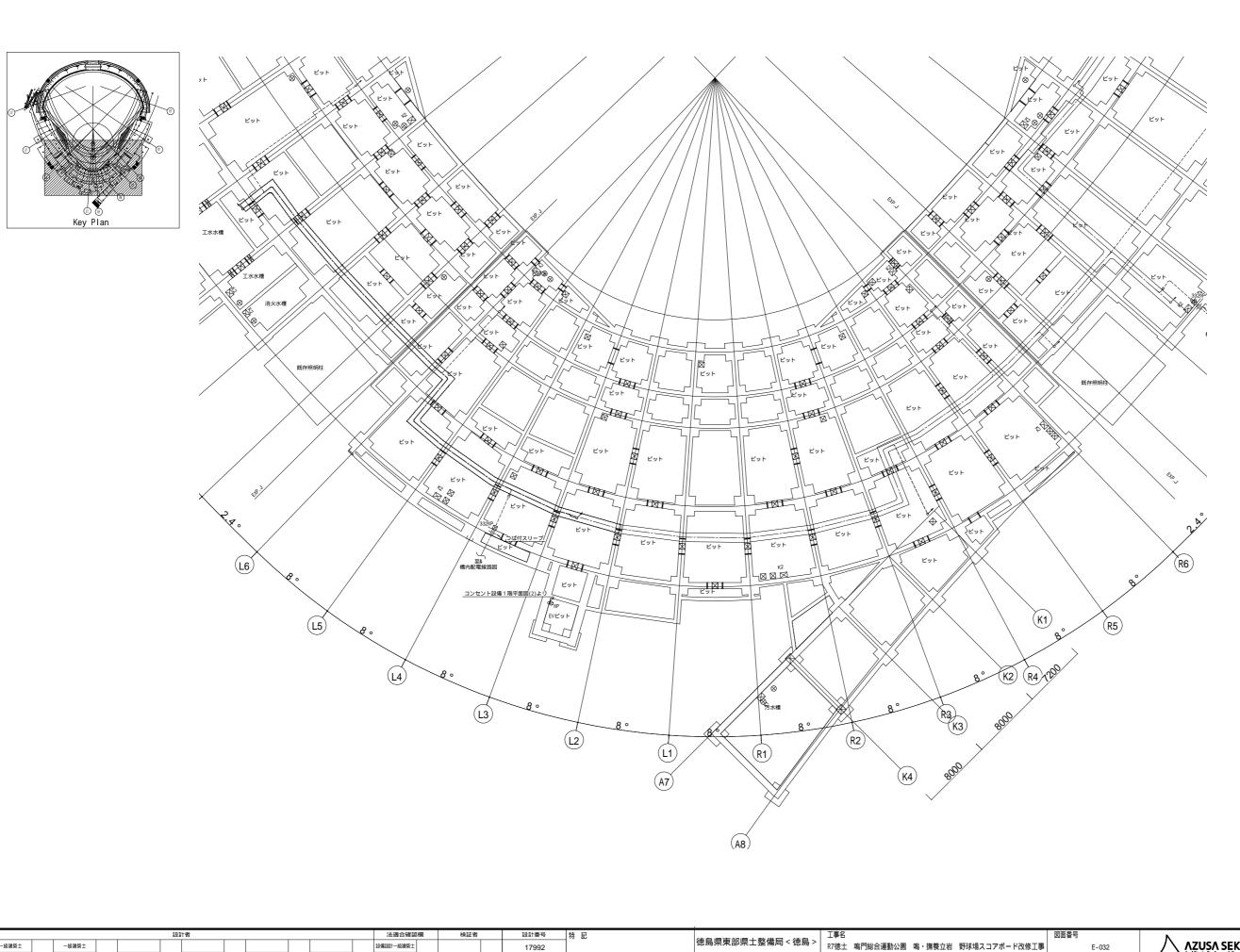
1.特記なき配管配線は下部		
	線プロック結線図参照とする	•
・二重天井内ケーブル配線の	)壁引下げは、壁内保護管	に収める。
・ケープ M配線の防火区画賞	通部は、金属管又は防火	処置材を使用して施工する。
その他のプロック又はコンクリ	J-ト壁を貫通する部分は、	配管で保護する。
(1)1 空調室内機・空調	換気扇等	
図中記入なき配管配	線は、下記による。	
	EM-EEF2.0-3C(1CE)	天井内、保護部分は(PF22)又(E25)
<del>//\</del>	EM-EEF2.0-3C(1CE)	(PF22)
#+	EM-EEF2.0-3C(1CE)	屋内(E25)屋外(G28)
##-	EM-EEF2.0-3Cx2(1CE)	屋内(E31)屋外(G28)
≠3.5	EM-CEE3.5 ° -2C+3C	屋内(E39)屋外(G36)
(2)3 動力		
動力制御盤負荷表に	よる。	
2.屋内ケープ ルラックは溶融亜鉛	スメッキ鋼板製メラミン焼付塗装	仕上(ZM)とし、屋外は(Z35)を使用する
<ul><li>特記なきサイズ は幹線系</li></ul>	統図参照とする。	
・ケープ ルラックは幹線動力設・	備工事とする。	
3.特記なきプルボックスサイズに	t200x200x100とし、その他	しは下記の通りとする。
Мыры: (Wx100) x	(Dx100) x (Hx100) (WP:	屋外形SUS製)
→ 110H · () · ·	(, () (	



	設計者								法週台催認	3有網	<b>検証者</b>		設計番号	_ 特 記			工事名		j	
一級建築士	一級建築士								設備設計一級建築士				17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土	- 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-031	
第286776号	第384579号								第6211号							図面名		縮尺	1 : 200(A1)	1-
渡邉 和幸	浅山 明	西山 浩司	1						浅山 明		寺田 庄作						幹線・動力設備 ピット階平面図(1)		1 : 400(A3)	



▶●◀ 株式 会社	宮建築設計
MIYA Archi	tect's Office
一級課節士事務所登録	後島際知事登録第11050号



设備設計一級建築士

第6211号

浅山 明

17992

一級建築士

第286776号

渡邉 和幸

一級建築士

第384579号

浅山 明

西山 浩司

徳島県東部県士整備局 < 徳島 >

図面名

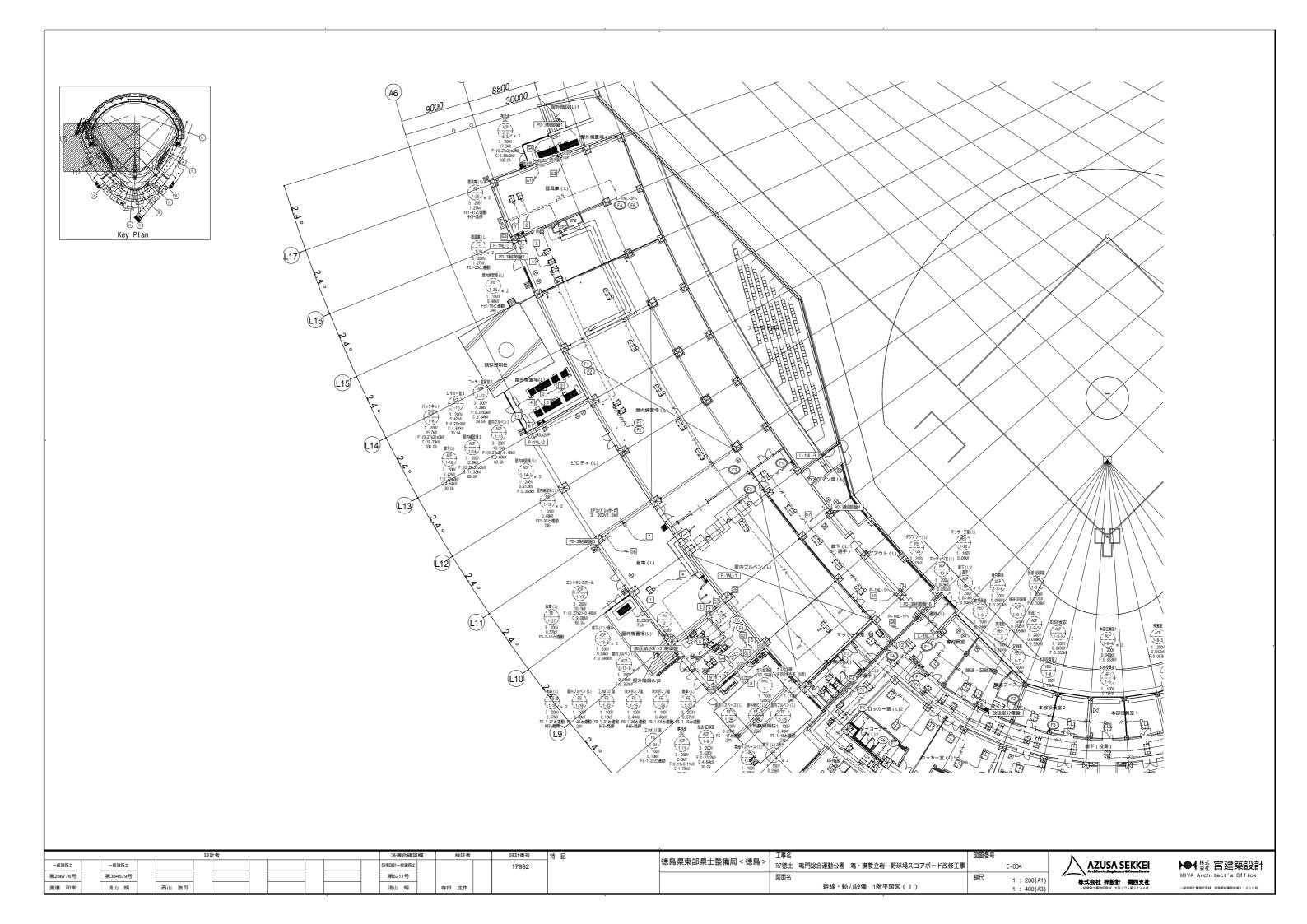
幹線・動力設備 ピット階平面図(2)

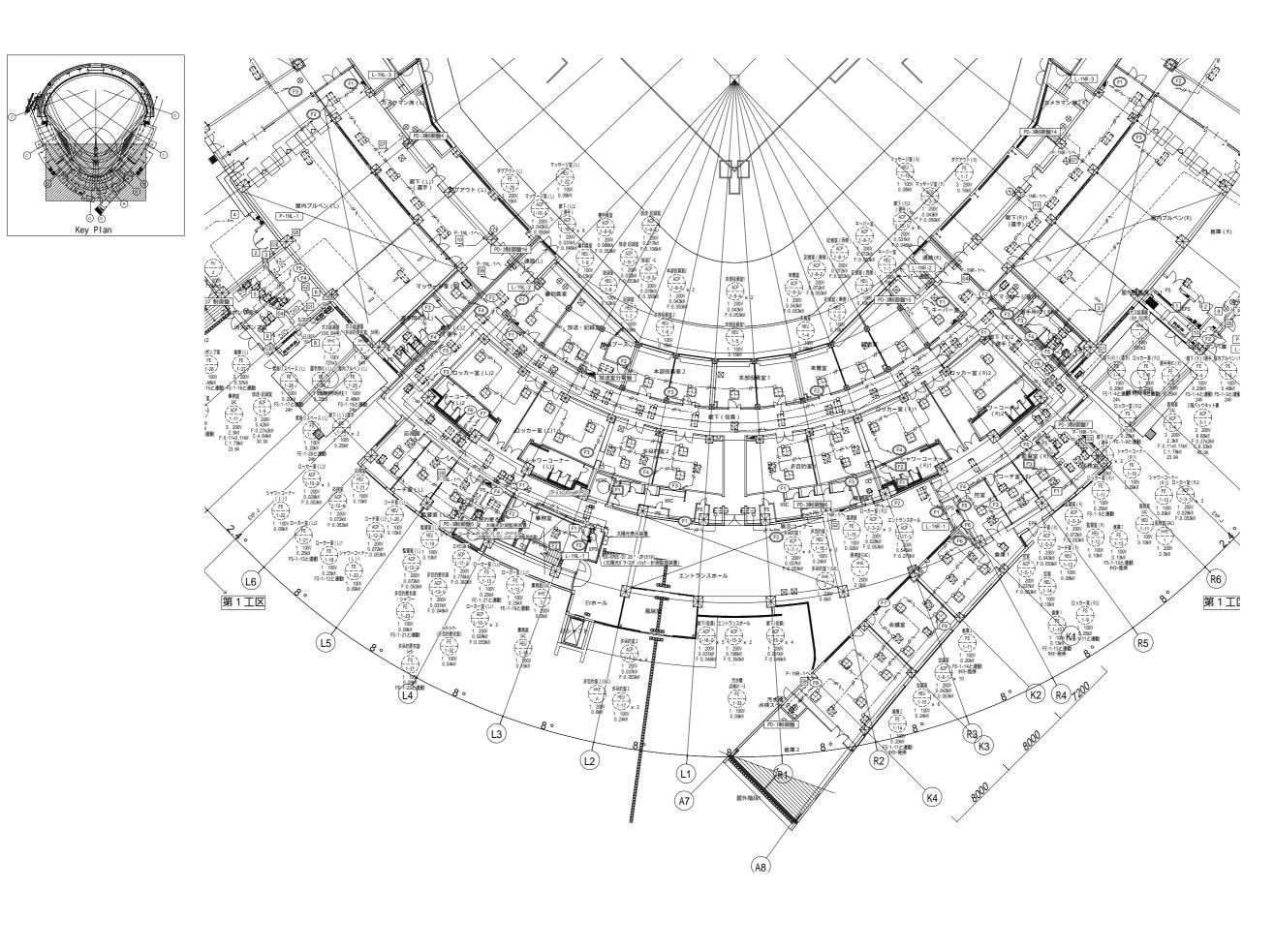
▶●◀ <sup>株式</sup> 宮建築設計 **VZUSV SEKKEI** MIYA Architect's Office 株式会社 梓設計 関西支社

E-032

1 : 200(A1) 1 : 400(A3)

縮尺





法適合確認欄

设備設計一級建築士

第6211号

浅山 明

一級建築士

第286776号

渡邉 和幸

一級建築士

第384579号

浅山 明

西山 浩司

設計番号

17992

徳島県東部県士整備局 < 徳島 >

図面名



図面番号

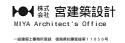
縮尺

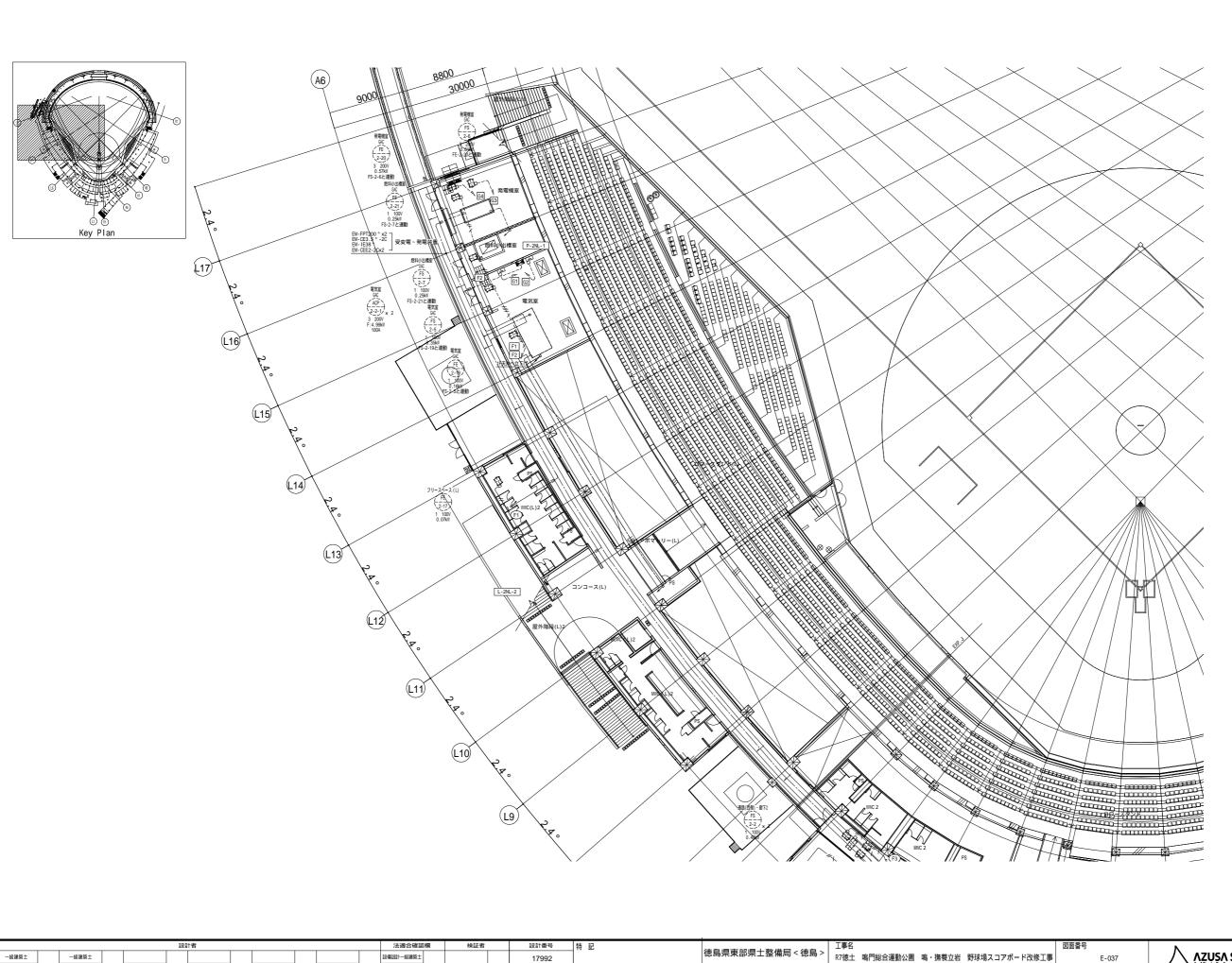
E-035

1 : 200(A1)

R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事

幹線・動力設備 1階平面図(2)





設備設計一級建築士

第6211号

浅山 明

17992

一級建築士

第286776号

渡邉 和幸

一級建築士

第384579号

浅山 明

西山 浩司



**VZUSV SEKKEI** 株式会社 梓設計 関西支社

E-037

1 : 200(A1)

縮尺

図面名

幹線・動力設備 2階平面図(1)

▶●◀ <sup>株式</sup> 宮建築設計 MIYA Architect's Office

概 要		(17) 保守	スコアボード背面より可能とする	(12) 輝度調整	手動(100段階)が可能なこと
本スコアボードシステムは、フルカラーLED素子による	るフリーパターン表示部と、判定表示用の表示信号灯およびアナログ式塔時計			(13) 入力電源	1 2W AC100V又はAC200V
	点・選手名・審判名及び球速表示が行えるものとし、各種メッセージ・静止	<ol> <li>判定表示盤(BSO・サイレン)</li> </ol>		(14) 消費電力	5kVA以下
画・動画映像がカラーで表示可能なものとす	ける。	(1) 構造	屋外型/背面取付構造	(15) 概算重量	1,500kg以下
	に加え、災害時には、映像・文字表示が行うことができ、各種イパント対応	(2) 材質	鋼板製 t2.3	(16) 防水/防塵	IP65 (前面のみ)
等、多目的な活用も可能な設備とする。		(3) 塗装	ルタン樹脂塗装	(17) 保守	背面より可能とする
		(4) 塗装色	指定色 (建築パネルに塗装色・タヤを合わせるものとする)		
<b>寺記事項</b>		(5) 表示灯	300以上 LED式	(表示制御機器)	
	子はスコアボード背面より交換できる構造とする。	(6) 表示色	B(ポール) 青色×3灯	10) 表示制御架	
	最場所に適した防水・防塵対策を考慮するものとする。	(0) 303.2	S(ストライク) 黄色×2灯	(1) 形式	屋内自立型
	F易なものとし、試合の運営に支障のない処理機能を有すること。		0(アウト) 赤色×2灯	(2) 塗装	メーカー標準屋内塗装
		(7) 1 九季源	,	. ,	
) 機器設置後は、十分な調整・試運転を		(7) 入力電源	1 2W AC100V	(3) 塗装色	メーカー標準仕様
) 各機器の取扱説明会を行い、操作方法		(8) 固定文字	白色シール文字/文字高さ:300mm	(4) 機器構成(参考)	1 光成端箱 1台
	o、本設備を納入するメーカーは下記条件を満たすこと。	(9) 概算質量	約 300 kg 以下		② 光信号変換器 1式
	する地方球場への納入実績を有すること。	(10) 保守	スコアボード背面より可能とする		③ LEDコントローラ(運用/予備) 1式
	·有し、運用実績を10年以上有すること。	(11) その他	サイレンおよびLED表示部用の光センサーを実装(設置位置はスコアボード内でも可)		④ 電源操作パ 礼 1台
	交換パネル、点灯電源、制御基板を無償で供給すること。				<ul><li>⑤ 外線端子パ 礼</li></ul>
	い、自社製品として自社製造銘板にて出荷すること。	3) 判定表示盤(HEFc)			⑥ 電源制御器 1台
機器仕様にある寸法及び重量、仕様	等が特定メーカーを指定するものではない。異なる数値、仕様がある場合は	(1) 構造	屋外型/背面取付構造		⑦ ラック本体·架台 1式
監督員に一覧表を作成の上で協議を	行い、承認を得ること。	(2) 材質	鋼板製 t2.3		⑧ 他スコア表示・制御に必要な機器 1式
		(3) 塗装	かタン樹脂塗装	(5) 機能	<ul><li>スコア操作装置、判定・投球数操作盤からの信号を</li></ul>
アボード仕様		(4) 塗装色	指定色 (建築パネルに塗装色・ツヤを合わせるものとする)		受け、光信号変換器にて光信号に変換し、光成端箱にてメイン
		(5) 表示灯	300以上 LED式		スコアボードに表示信号を送信する。
-1 機器構成		(6) 表示色	H(ヒット) 赤色×1灯		(2) サプスコアポート゚へチーム名、合計得点、球速、現存回、BSOHEFc等の信号を送
(メインスコアボード機器)		(-, 5	E(Iラー) 赤色×1灯		③ 電源操作パ 礼にて、メインスコアボート・サブ スコアボート・の
1) フルカラーLED表示部	1式		Fc(フィルダースチョイス) 赤色×1灯		電源人/切操作が可能とする。
2) 判定表示盤(BSO)	1台	(7) 入力電源	1 2W AC100V		電源八/切探作が可能とする。  (4) LED表示部の表示輝度を手動により切替操作が可能とする。
3) 判定表示盤(HEFc)	1台				<b>Y</b>
4) サイレン	1台 (判定表示盤に収容)	(8) 固定文字	白色シール文字/文字高さ:300mm		(5) メインスコアポート の表示映像を最終ラインモュターに表示できるものとし、
5) 塔時計	1台	(9) 概算質量	約 200 kg 以下		最終ラインモニターは、操作がンターに設置すること。
5) 培時間 6) 塔時計調針器/GPSアンテナ	1式	(10) 保守	スコアボード背面より可能とする		⑥ メインスコアボード用LEDコントローラは、運用実数を予備として実装し二重化
,	1式 1台				すること。
7) 表示電源装置	The state of the s	4) サイレン		(6) 入力電源	1 2W AC100V 1kVA (1系統)
8) 受信制御装置	1台	野球場に鳴音に適したサイ	ルンを設けること。		
				11) 最終ラインモニタ-	
(サブ・スコアホ・ート・)		5) 塔時計		(1) 形式/設置	卓上型 /操作がンターに設置
9) サブ、スコアホ゛ート゛(BSOHEFc)	1台	(1) 時計外径	2000	(2) 形状	液晶18型 以上
		(2) 構造	スコアポード前面パネルに取付	(3) 機能	メインスコアボード表示内容の確認用
(表示制御機器)		(3) 材質·塗装·塗装色	Nation 1 (35 miles 1810 and 18	(0) 5232	A LEAGUE A CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE P
10) 表示制御架	1式	(5) 初員 主表 主表已 (指針)	また 10mm かか は 10mm は 1	(スコア操作機器) (映像表示架台に	- 収索 \
11) 最終ラインモニター	1台	(	耐蝕アルミ製 ウレタン樹脂焼付塗装 白色 5分が仕上げ		- 収合 )
) 42.007.17.007		(文字)	ステンルス製 かりか樹脂焼付塗装 白色 5分が仕上げ	12) スコア操作装置	
(スコア操作機器)		(4) 入力信号	時計調針器からのDC24V・30秒有極信号を受け1分運針動作	(1) 形式	屋内卓上型
	0→			(2) 構成	・パソコン本体,キーボード,マウス
12) スコア操作装置	2式	<ol> <li>塔時計調針器/GPSアンテナ</li> </ol>			·液晶モニター 18型 以上
13) 判定・投球数操作盤	1台	(調針器)			① OS Windows 10 ®
14) 公式記録操作盤	1台	(1) 材質	ABS樹脂製 (ライトウ゚レー色)		② メモリ 8GB 以上
15) 公式記録操作盤中継箱	1台	(2) 入力信号	GPSアンテナからの時計電波		③ 記憶装置/容量 SSDまたはHDD / 500GB 以上
16) 無停電電源装置	1台	(3) 出力信号	DC24V 30秒有極信号	(3) 操作機能	下記操作機能を有するものとする。
		(4) 停電補償時間	5時間以上	(スコア操作機能)	① チム名、守備位置、選手名の登録・表示
(スピードガン機器)		(5) 入力電源	1 2W AC100V	(NATIATE IN BE)	登録数は300チーム以上、100名以上/1チーム
17) スピードガン本体	1台	(長波アンテナ)	1 Zii A0100V		
18) スピードガン収納箱	1台	,	+*    + +* +		② 審判名の登録・表示 登録数は100名以上
19) スピードガン制御盤	1台	(1) アンテナケース (2) 卒(年日)かまた	お。リカーボネート樹脂製(色 ライトグ・レー)		③ 個人成績(打数、安打数、ホームラン数)登録・表示
20) スピードガン操作盤	1台	(2) 受信周波数	長波帯標準電波 40kHz/60kHz(自動選択)		④ 下記データを外部で入力・作成し、本装置に取り込むことが可能
20) XC   % / JR   F	'H				「チーム名」「選手名」「背番号」「個人成績」および「審判名」
/师·梅·辛吉州·思〉		7) 表示電源装置			⑤ 攻擊側判別・打順・得点・ビット数・エラー数表示操作
(映像·音声機器)		(1) 構造	屋内自立型		⑥ BSO・HEFc表示操作 判定・投球数操作盤のパックアップ
21) 映像機器架	1式	(2) 材質	鋼板製 t1.6以上		<ul><li>行 投球数の表示操作 判定・投球数操作盤のパックアップ</li></ul>
22) 映像Y-J確認モニタ-	1台	(3) 塗装	粉体塗装		③ 試合経過時間表示操作
23) カメラ接続盤	1台	(4) 塗装色	指定色 半炉仕上げ		表示途中でも時間修正が可能
24) 持込簡易が5用備品	1式	(5) 入力電源	3 3W AC200V		(10) 交代時間表示操作 (投手交代/攻守交替時)
25) 固定がう	3式	(6) 設備容量	60kVA以下		がシトアップ。またはダウン表示の切替操作が可能
26) 固定カメラリモートコントローラ-	1台	(7) 成開合型 (7) 概算重量	約 400 kg 以下		(1) ノック時間の設定・表示・消去操作定
27) 固定カメラ用液晶モニタ-	1台		(1) 各機器へ電源を供給		
,		(8) 機能	(2)故障信号(主要プレーカーのトリップ 信号)を記録放送室内の		② 各辺で表示部の表示色設
(その他機器)					③ 下記スコア表示内容の設定が可能
28) 主審通話連絡器(親機・子機)	1式		電源操作パネに送信		a.選手表示設定 9人制 / 10人制
20) 工备地站建船站(税機·丁機) 29) TV中継車接続盤	1台		③受電部に雷対策としSPD(クラス1)を取付		b.審判表示設定 4人制 /
,	'H				c. 試合中のヒット数・エラー数 表示 / 非表示
(予備品)	4-	8) 受信制御装置			d.打擊個人成績 表示 / 非表示
30) 予備品	1式	(1) 構造	屋内自立型		e. スピードガン(球速) 表示 / 非表示
3-2 機器仕様		(2) 材質	鋼板製 t1.6以上		f.試合経過時間 表示 / 非表示
(メインスコアポード機器)		(3) 塗装	粉体塗装		g.交代時間 表示 / 非表示
1) フルカラーLED表示部		(4) 塗装色	指定色 半炉仕上げ		h. 得点加算時効果表示
(1) 構造	屋外型/分割•背面取付構造	(5) 入力電源	1 2W AC100V		i.選手交代時効果表示 回転表示 / 点滅表示
(2) 材質・塗装	アルミ製・粉体塗装 または 高耐食メッキ鋼板・粉体塗装 同等品	(6) 機能	光信号を受け電気信号に変換し、各機器へ信号を送出		j . スコア表示レイアウト
(3) 表示面寸法	横17,920mm × 縦5,120mm 以上	(-)			k. スコア表示文字選択 漢字表記 / 英字表記
(4) 表示面積	91.75 ㎡以上	(サブ・スコアホ・ート・)		(メッセージ操作機能)	(4) デジ 外静止画面の作成・登録・表示
(5) 表示素子/画素構成	71.75 III以上 71.h5-LED (高輝度発行ダイオード(SMD3in1))	9) サブ・スコアホ <sup>・</sup> ート・		(ア/こ / 3末1下1及出し)	~
			层队刑 /公割。 华南取什堪连		登録数は1007ァイル以上
(6) ドットピッチ (7) まニホま物	横縦共 16mm 以下	(1) 構造	屋外型/分割・背面取付構造		外部作成静止画を記憶媒体によるデータ取り込み機能含む
(7) 表示画素数	横1,120 × 縦320 =358,400以上	(2) 材質・塗装	アル製・粉体塗装 または 高耐食メッキ鋼板・粉体塗装 同等品		(15) 固定・流動メッセージ(文字表示)の登録・表示
(8) 表示画面輝度	5,000 cd/m 以上 (最大値)	(3) 表示画面寸法	横6,400mm × 縦960mm 以上		登録数は1007ァイル以上
(9) 表示階調	65,536 階調 以上	(4) 表示面積	6.1㎡以上		外部作成静止画を記憶媒体によるデータ取り込み機能含む
(10) 素子寿命	100,000 時間 以下 (輝度半減値)	(5) 表示素子/画素構成	フルカラーLED		⑥ デジタル静止画・メッセージとピデオ映像の重ね合わせ表示が可能
(11) 視認角度	水平:120°以上 / 垂直:50°(-30°,+20°)以上	(6) ドットピッチ	横縦共 16mm 以下		17 作成・保存したデッケル静止画・メッセージを表示順に
(12) 輝度調整	手動(100段階)および光センサーによる自動調整が可能なこと	(7) 表示画素数	横400 × 縦60 =24,000以上		登録し、手動による表示操作が可能
(13) 入力電源	3 3W 200V	(8) 表示画面輝度	5,000 cd/m 以上 (最大値) 60本以上		(18) 下記文字種の表示が可能
(14) 消費電力	60kVA以下	(9) 表示階調	65,536 階調 以上		(19) JIS第一水準,第二水準漢字,平仮名,於計,英数字
			65,536 階調 以上 60本以上		19 510岁 小午,为一小牛疾于,干似有,17加,央奴子
	5,200 kg 以下 (スコア表示部のみ )	(10) 素子寿命 (11) 視認角度	60本以上 / 垂直:50°(-30°,+20°)以上		
(15) 概算質量 (16) 防水/防塵	IP65(前面のみ )				

設計者							法適合確認	法適合確認欄		設計番号	特 記	(大克思主知思 ) 数供见 (大克	工事名	図面番号		$\Box$
一級建築士	一級建築	±					設備設計一級建築土	=		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-148	
第286776号	第38457	9号					第6211号						図面名	縮尺	1 : NS(A1)	
渡邉 和幸	浅山	明	西山 浩司				浅山 明		寺田 庄作				大型映像装置設備 仕様書(1)		1 : NS(A3)	





(ピデオ映像操作機能) ② スコアボードへ表示するビデオ映像の切替操作 ピデオ映像の表示位置・表示サイズの切替操作 (その他機能) スコア操作装置(2台)間で登録および試合中の情報(データ)を 共有し、1台のみでも試合運用が可能 (パックアップ機能) ② 判定・投球数操作盤の操作機能 (パックアップ機能) (24) LED表示部の表示面輝度設定機能(8段階以上) AC100V,無停電電源装置より (4) 入力電源 13) 判定・投球数操作盤 卓卜型 (1) 形式 材質 鋼板製 t1.6 (2) (3) 塗装 メラミン樹脂焼付塗装 メーカー指定色 塗装色 下記操作機能を有するものとする。 (5) 機能 (判定操作機能) が가(BSO)操作/公式判定(HEFc)操作/ チェンジ(CH)クリア操作/BS(BS)クリア操作/ ランナーアウト操作/ジャッジリセット操作/サイレン操作 (投球数操作機能) 投球数加算[+1] / 減算[-1]操作 (スコア操作端末でも可) 投球数クリア[クリア]操作 投球数表示 (0~999) 先攻/後攻表示 現在の守備側(投球数表示側)を表示 (6) 入力電源 14) 公式記録操作盤 卓上型 形式 (1) 材質 鋼板製 t1.6 (2) 塗装 メラミン樹脂焼付塗装 (3) 塗装色 指定色 半炉仕上げ 公式判定(HEFc)操作 (5) 機能 手元(公式記録卓)・遠方(判定操作卓)操作の切替操作 15) 公式記録操作盤中継箱 壁面取付型 公式記録操作盤設置付近取付 (1) 形式 (2) 材質 鋼板製 t1.6 (3) 塗装 メーカー標準屋内塗装(粉体塗装) 塗装色 指定色 半炉仕上げ (5) 機能 公式記録操作盤のケーブル接続を行う 16) 無停電電源装置(UPS) ラック実装型または据置型 (1) 形式 機能 各操作機器の電源を供給する (2) パックアップ。時間 約4分間以上(定格負荷出力時) (4) 定格出力容量 1100W 以上 (最大出力時) (5) 切替時間 10msec 以内 (6) 入力電源 AC100V (スピードガン機器) 17) スピードガン本体 スピードガン収納箱内に専用金具にて取付 (1) 設置 測定可能距離 約60m以下 (3) 測定可能速度 80 ~ 170km/h (4) 計測精度 + 1km/h 調整用音叉を添付すること その他 (5) 18) スピードガン収納箱 バックネット裏に設置 - NS E 設置方法は現地調査後、監督員と協議の上決定すること。 (1) 形式 (2) 材質 (ケース) SUS製 t1.5 (前面パネル) 計測電波を透過する材質 塗装 かタン樹脂塗装 (3) 設置場所周囲の近似色 3分炒仕上げ (4) 塗装色 (5) 機能 スピードガン本体からの信号を変換しスピードガン制御盤へ送信 スピードガン制御盤より専用電源を入力 入力電源 (6) 内部制御基板およびガン本体へ供給 19) スピードガン制御盤 ラック組込型または壁面取付型 (1) 形式 (2) 材質 鋼板製 t1.6 メラミン樹脂焼付塗装 (3) (4) 塗装色 指定色 or メーカー指定色 ① スピードガンの計測データを変換し、スピードガン操作盤 スコア制御部及び中継車接続盤へシリアル信号にて送出 (5) 機能 ② スピードガンおよびスピードガン操作盤へ電源供給 (6) 入力電源 AC100V 500VA 20) スピードガン操作盤 (1) 形式 卓上型 (2) 材質 鋼板製 t1.6 メラミン樹脂焼付塗装

(4) 塗装色 ① スピードガンで計測された最高速度をモニタ ② スピードガン本体およびスピードガン制御盤の電源操作 ③ 球速表示時間を5段階で設定可能 北°-ドガン制御盤より入力 (6) 入力電源 (映像・音声機器) 21) 映像機器架 屋内自立型 (1) 形式 メーカー標準屋内塗装 (2) 塗装 (3) 塗装色 メーカー標準仕様 (4) 機器構成(参考) ① 映像切替器 ② 同期信号発生器 1台 ③ ブルーレイプレーヤー 1台 4) Ŧニタースピーカ 1台 5) 外部映像入力パネル 1台 電源制御器 1台 う ラック本体・架台 ② ドデオリプレイ装置 1式 )他映像表示・制御に必要な機器 1式 (5) 機能 必要な映像信号に同期信号を入力 22) 映像ソース確認モニタ 卓上型 /操作カウンターに設置 (1) 形式/設置 (2) 形状 液晶18型 以上 (3) 機能 各映像入力ソースおよび出力選択映像の確認 23) がう接続盤 屋外壁面取付型 (1) 形式 (2) 材質 鋼板製 t1.6 (3) 涂装 かか 樹脂塗装 塗装色 (4) 指定色 半炉仕上げ 操作室までの持込ハンディカメラ用映像ケーブルの中継接続 機能 (5) 24) 持込簡易が5用備品 同軸ケープル 5CFW/30m×1個,20m×1個 (1) ケープ・ルト・ラム 信号変換器 映像信号の変換器 (HDMI HD-SDI) ×1台 (2) (3) (4) その他 ハンディカメラ本体は使用者にて持込むものとする。 25)-1 固定が5収納箱(固定が51.2用) 屋外壁掛型 構造 (1) 材質 鋼板製 t2.3 (2) 塗装 かか 樹脂塗装 指定色 (建築パ 礼に塗装色・炉を合わせるものとする) (4) 塗装色 25)-2 固定カメラ収納箱(固定カメラ3用) (1) 屋外型/背面取付構造 (2) 材質 鋼板製 t2.3 塗装 かタン樹脂塗装 (3) 塗装色 指定色 (建築パ 礼に塗装色・ 炒を合わせるものとする) (4) 25)-3 固定がえ 撮像素子 1/2 8型CMOS以上 約200万画素以上 総画素数 (2) 光学24倍以上 レンス゜ (3) パン/チルト角度 パン±175度、チルト+90度/-30度 (4) プリセットポジション 100ポジション その他 操作室からリモコンにて操作が行えること 26) 固定がラリモートコントローラー 卓上型 /操作カウンターに設置 (1) 形式/設置 (2) 機能 固定カメラのパン・チルト・ズーム・フォーカス等のリモート操作 (3) 入力電源 AC100V 27) 固定カメラ用液晶モニター (1) 形式/設置 卓上型 /操作がンターに設置 (2) 形状 液晶13型 以上 各映像入力ソースおよび出力選択映像の確認 (3) 機能 (4) 入力電源 AC100V (その他機器) 28) 主審通話連絡器(親機・子機) (親機)記録放送室内操作がンター/卓上型 (1) 設置 (2) 材質 機能 (3) ② 通話状態(ON/OFF)操作は、親機にて行えること。 (4) 入力電源 AC100V (親機のみ)

映像切替器により、スコアボードへ表示するビデオ映像を選択 ③ スコアボードへ表示する映像の音声を、既設・音響設備に送出 (子機)パックネット裏壁面/壁面取付型 ① 主審(グランド内)と操作員(記録放送室内)との連絡通話用

39) TV中継車接続盤

屋外壁面取付型 (1) 形式 材質 鋼板製 t1.6 (3) 塗装 かタン樹脂塗装 (4) 塗装色 指定色 半炒什トげ

操作室までのTV中継車からの映像ケープルの中継接続 (5) 機能

(予備品)

30) 予備品 (1) LEDŦシ゚ュール(表示素子) 使用数の1% 各電圧毎 1個 (2) DC電源 (3) 制御基板 各種 1枚 各種 1個 (5) ۲¬−ス゚ 現用数

予備品収納箱 (6)

その他保守に必要な部品を納入するものとする。 (7)

## 3-3 表示機能

1) メインスコアポード(スコア表示部)

(1) チーム名、守備位置・選手名の表示

打者に該当する守備位置表示部は、背景色表示ありまたは赤下線にて表示

表示文字色をフルカラーにて任意に設定可能

チム名、得点(各回・合計)、ヒット数、5ラ数、打率、ホム5ン数、球速、 審判名、試合経過時間、交代時間、投球数の表示

チーム名表示部は、チームロゴ (外部作成データ読込)または全角3文字・半角6文字表示可能、

また全角4文字を自動圧縮して表示可能

合計得点は自動加算表示 表示文字をカラーにて任意に設定可能

表示色の設定は下記表示部単位での設定 (1) チーム名(得点部) 先攻/後攻個々に設定可能

② 各回得点 合計得点

③ ヒット数・ エラー数

④ 球速

⑤ チーム名· 守備位置· 選手名 (6) 審判名

⑦ 試合経過時間

8 交代時間

9 投球数

2) メインスコアポート\*(映像表示)

表示部全体を使用した固定広告・メッセージ表示ができること。

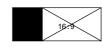
映像システムからの動画を表示ができること。

映像表示はスコア操作装置にて下記「3パターン」の選択可能とする。



パターン1:映像16:9表示

左右 部は非表示またはデジ 外画像表示



パ ターン2:映像16:9表示 左側 部は非表示またはデジ 外画像表示



パターン3:映像(16:9)を全画面表示 横幅合わせのため上下 🖾 部は非表示

# 3) その他機能

(1) 表示部の画面に文字、図形等によりメッセージ表示が作成できること。

写真データ等を取込むことが可能であり、編集が可能であること。

メッセージ画面については、200画面以上の登録・保存が行えるものとし、

容易に表示が可能なこと。 表示部に流し文字表示が可能なものとすること

# 施工条件

現場養生・仮囲い・仮設足場等は本工事に含むものとする

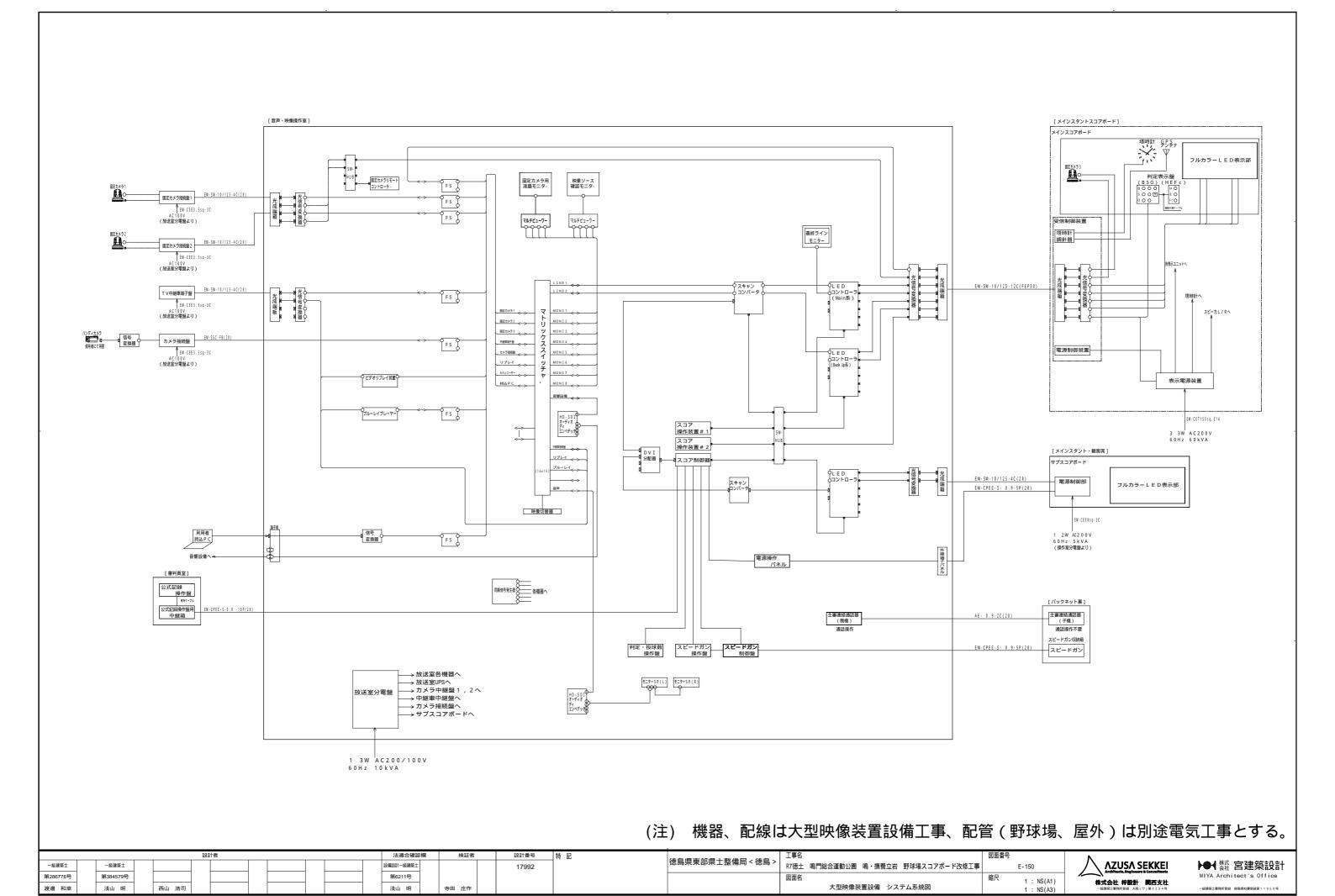
・撤去材等は法令に遵守し 適切場外搬出・処分すること

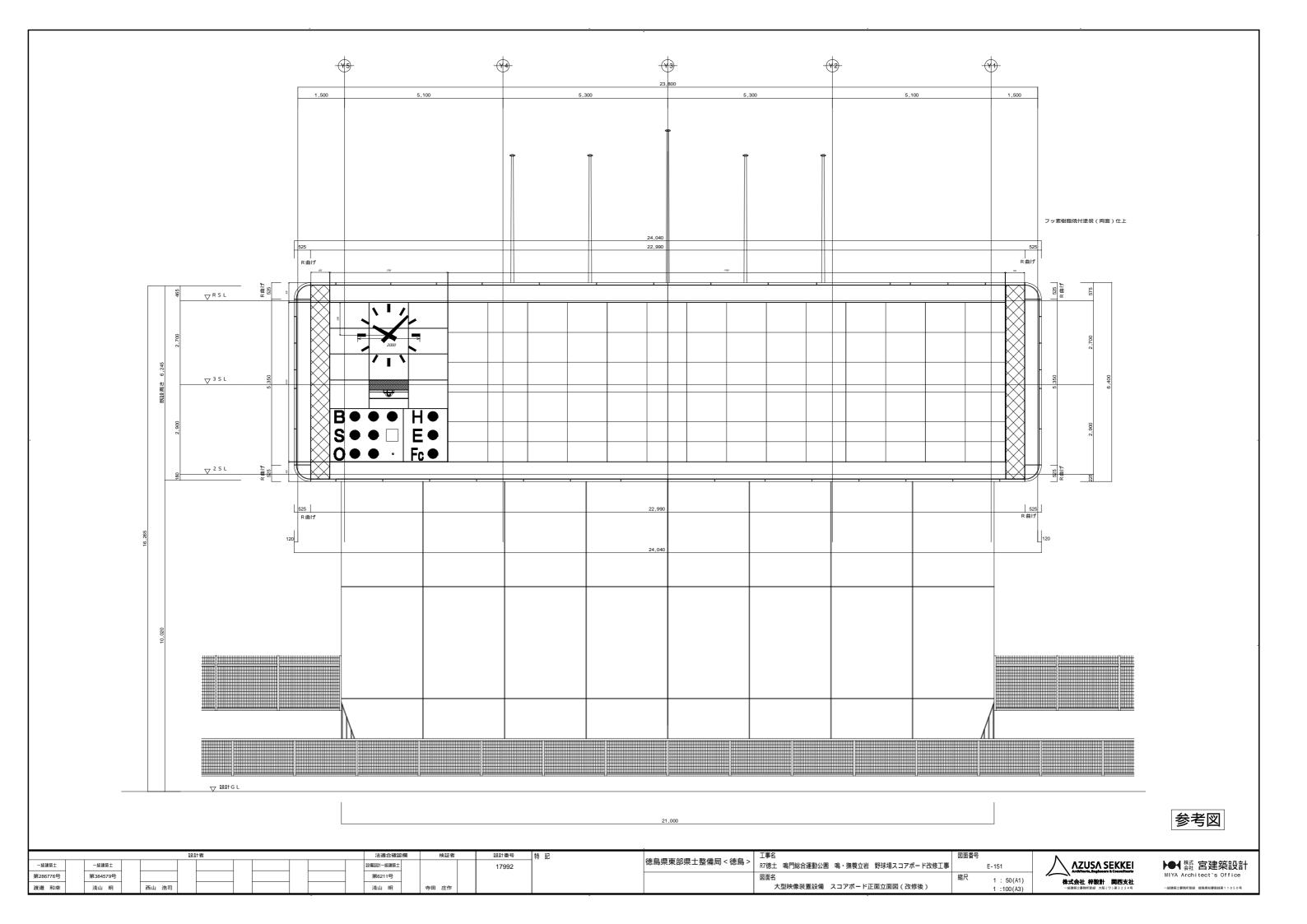
・試験調整費に オペレーター教育(3日間程度)・運用立会(2日間程度)見込むこと

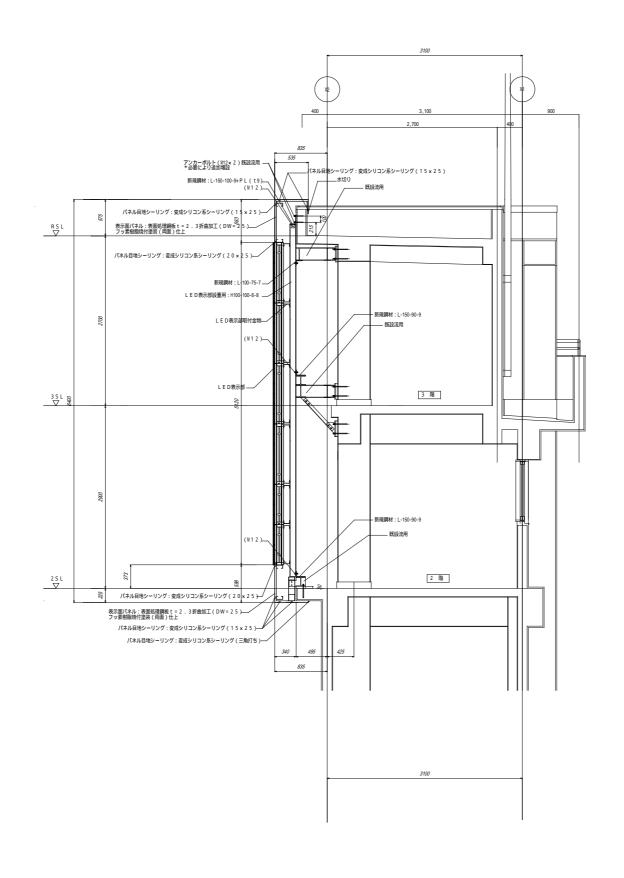
L															
Γ				設計	者		法適	合確認欄	検証者	設計番号	特 記	/t自用主动用   数供口 / / 自 ·	工事名	図面番号	
	一級建築士	一級建築士					設備設計一	建築士		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事	1	E-149
L	第286776号	第384579号					第621	号					図面名	縮尺	1 : NS(A1)
П	渡邉 和幸	浅山 明	西山 浩司				浅山		寺田 庄作				大型映像装置設備 仕様書(2)	1	1 : NS(A3)







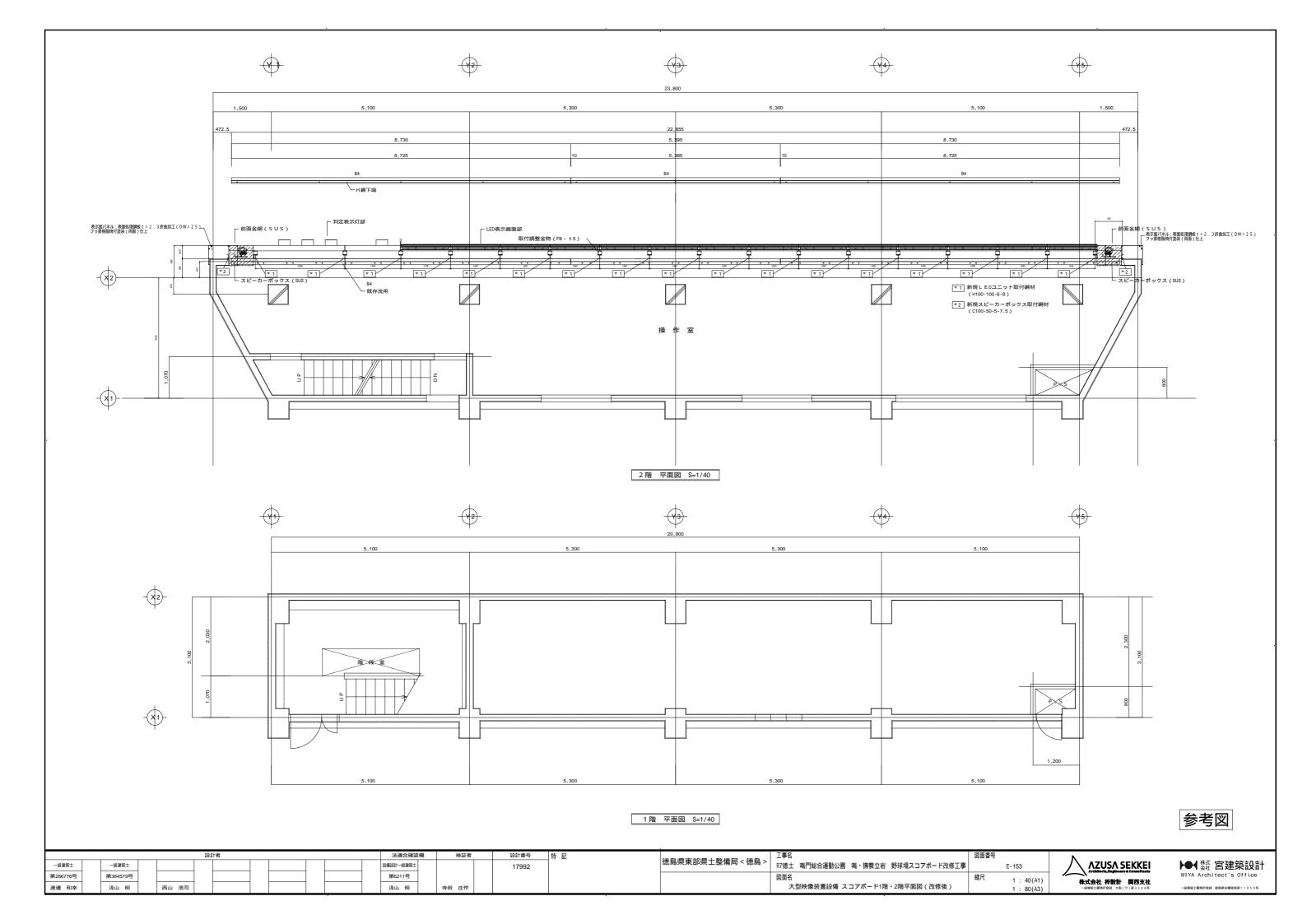


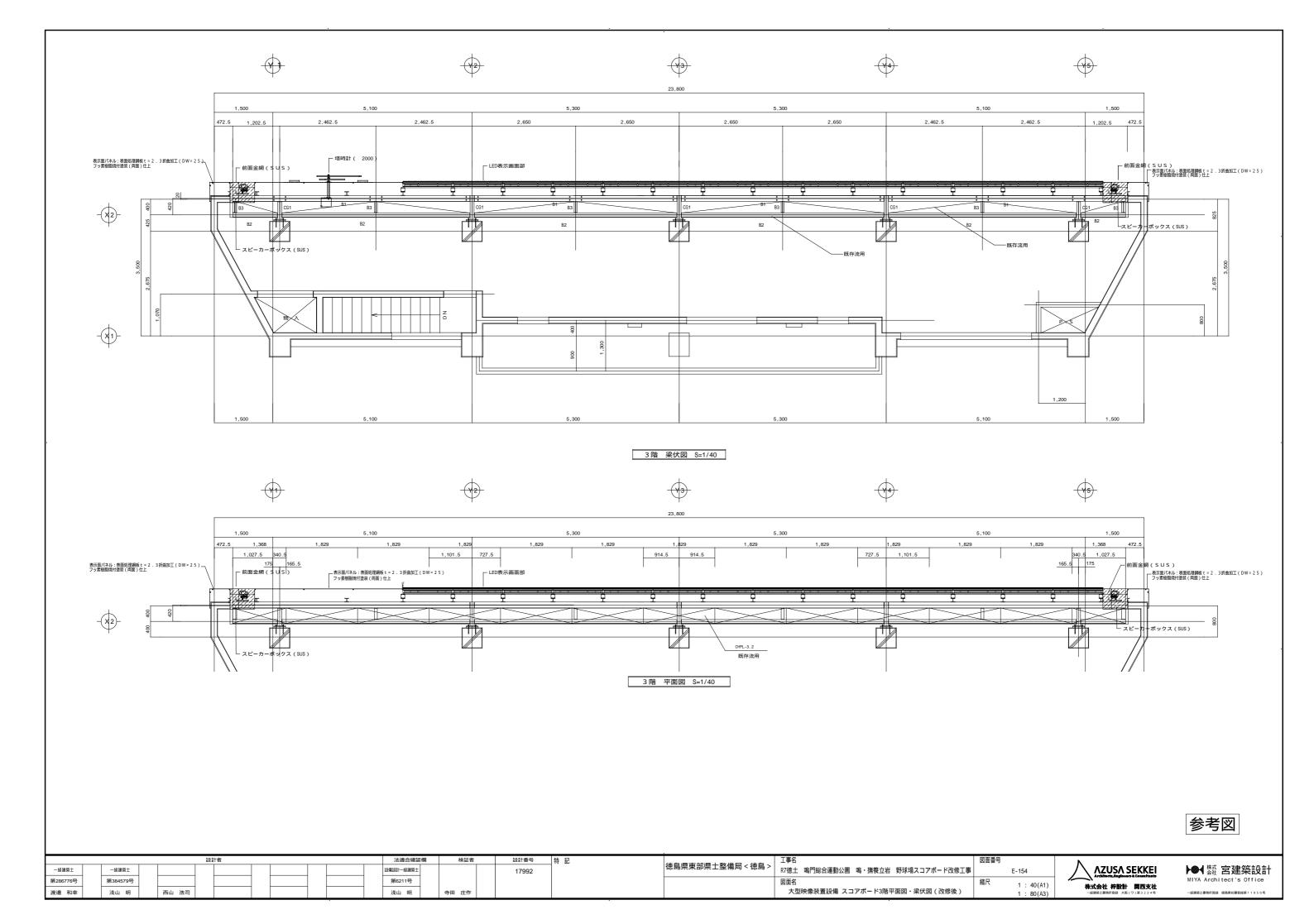


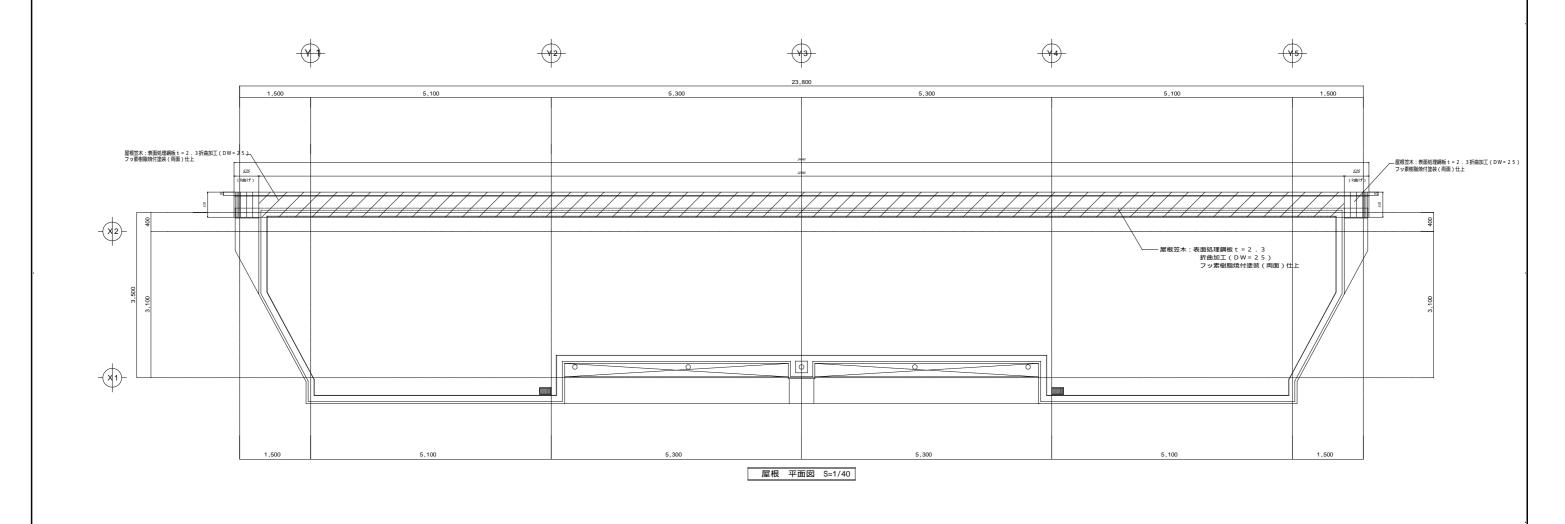
				設計	†者			法適合確認欄	検証者	設計番号	特 記	(大克思主动思   数供日 · (大克	工事名	図面番号		
一級建筑	築士	一級建築士					設保	備設計一級建築士		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-152	
第2867	776号	第384579号						第6211号					図面名	縮尺	1 : 30(A1)	1 4
渡邉	和幸	浅山 明	西山 浩司					浅山 明	寺田 庄作				大型映像装置設備 断面詳細図(改修後)		1 : 60(A3)	



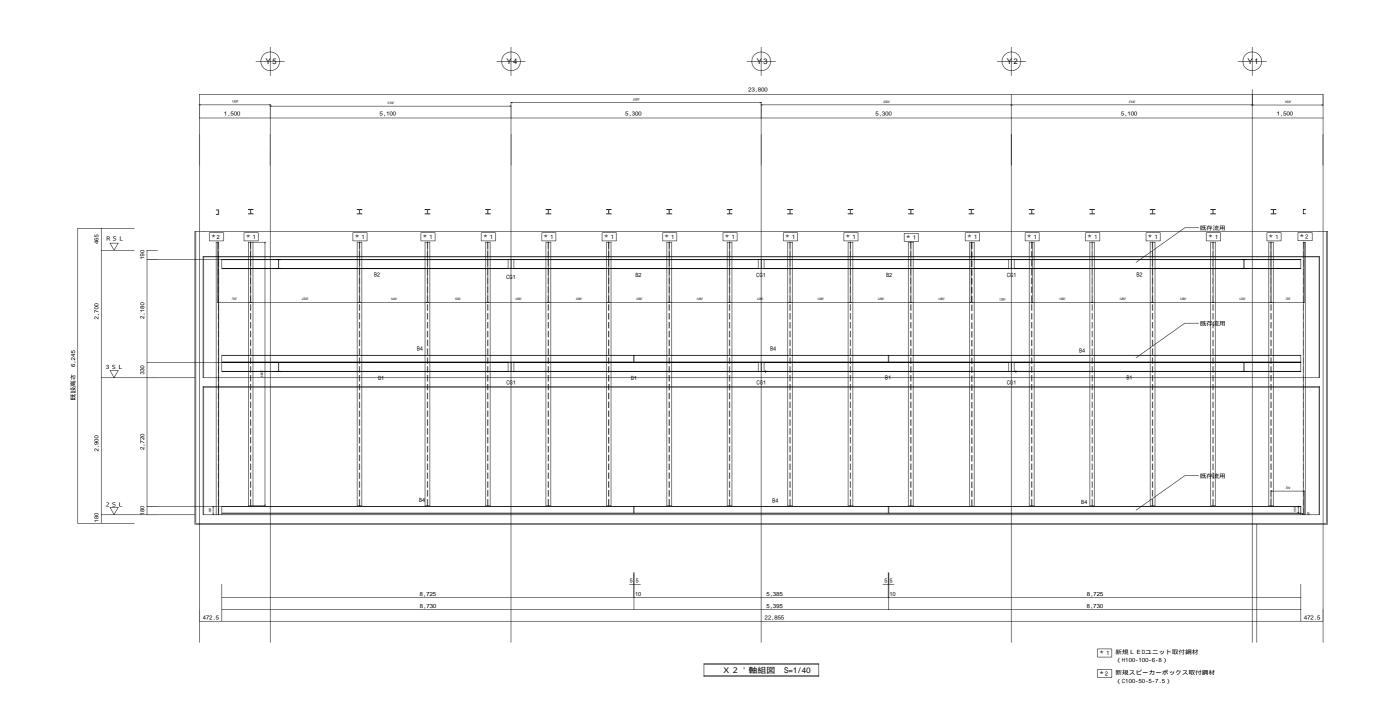






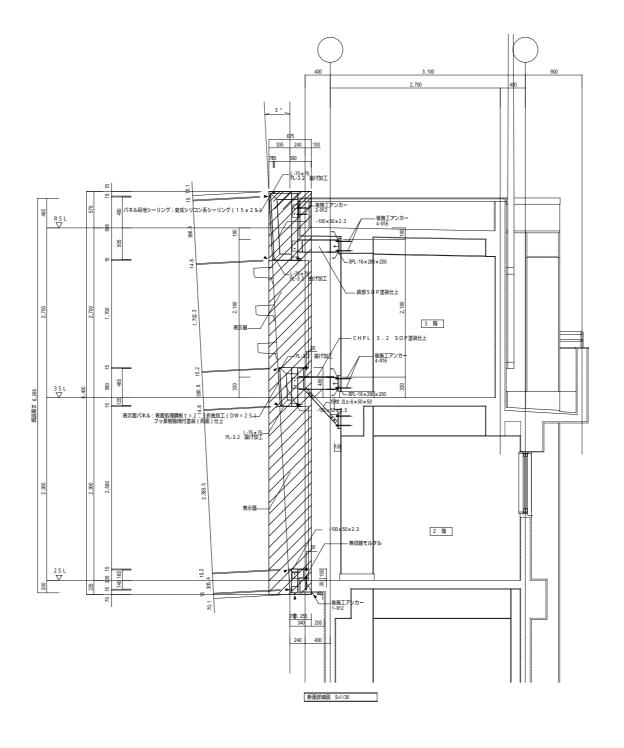


- 1				設計者		法週台催認權	<b>検証者</b>	設計番号	特 記	45.5	<b>上事</b> 名	凶囬番号		N.	
	一級建築士	一級建築士				設備設計一級建築士		17992	7	徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳士 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-155	AZUSA SEKKEI Architectu, Singlineers & Consultantu	<b>▶●</b>
١	第286776号	第384579号				第6211号					図面名	縮尺	1 : 40(A1)		MIYA Architect's Office
- [	渡邉 和幸	浅山 明	西山 浩司			浅山 明	寺田 庄作				大型映像装置設備 スコアボード屋根平面図(改修後)		1 : 80(A3)	株式会社 梓設計 関西支社 -級建築土事務所登録 大阪(ワ)第3234号	一級建築士事務所登録 德島県知事登録第11050号



L																		
					設計	者			法適合確認	欄	検証者	設計番号	特記	(4.9.周末如周上数供用,(4.9.)	工事名	図面番号		-
	一級建築士	一級建築士							設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-156	i
Г	第286776号	第384579号							第6211号						図面名	縮尺	1 : 40(A1)	
Г	渡邉 和幸	浅山 明	]	西山 浩司					浅山 明		寺田 庄作				大型映像装置設備 スコアボード取付鋼材軸組図(改修後)		1 · 80(A3)	i

AZUSA SEKKEI Architectu, Jugineers & Constitution 株式会社 椊設計 関西支社 ►●◀ 株式 宮建築設計 MIYA Architect's Office

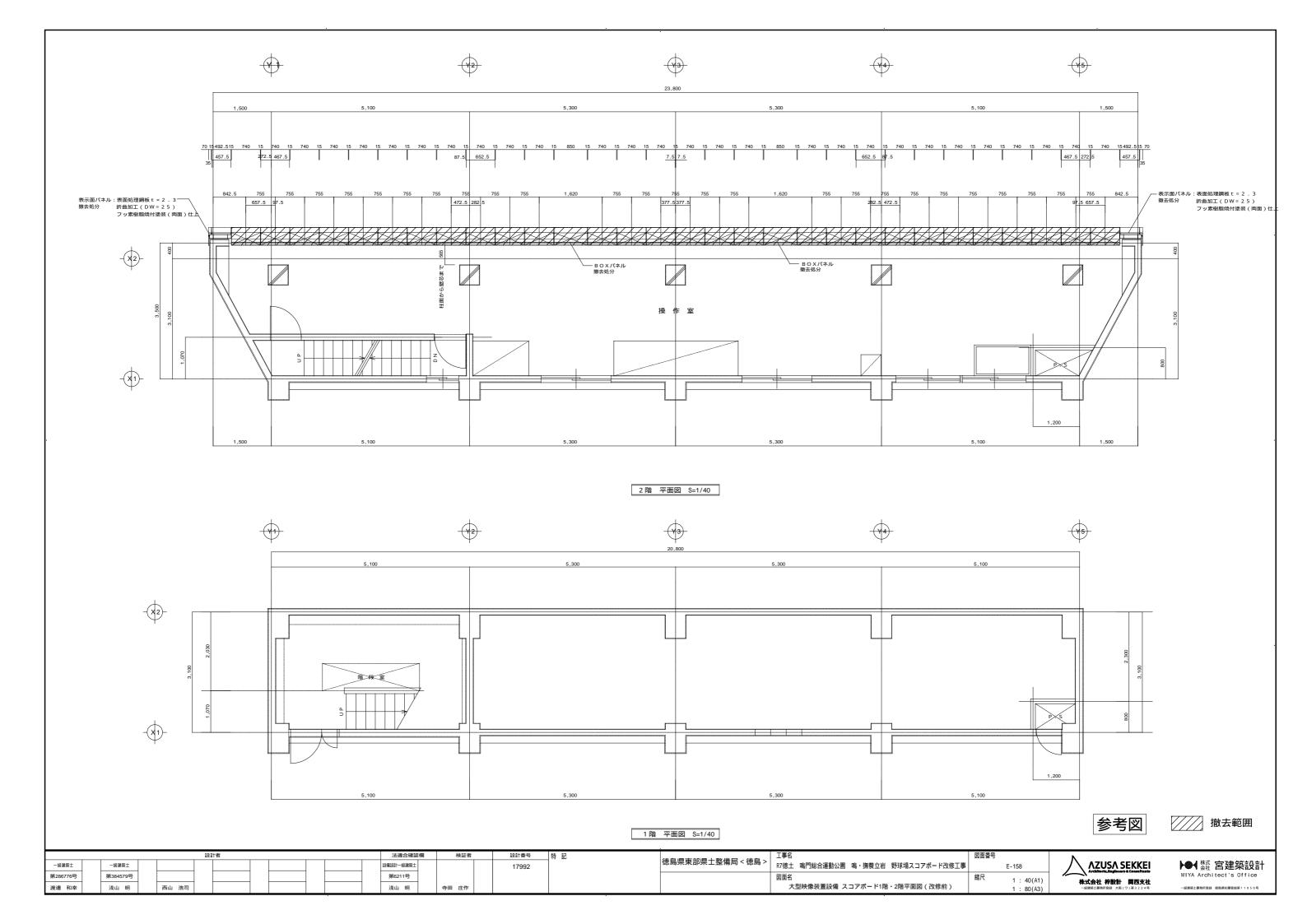


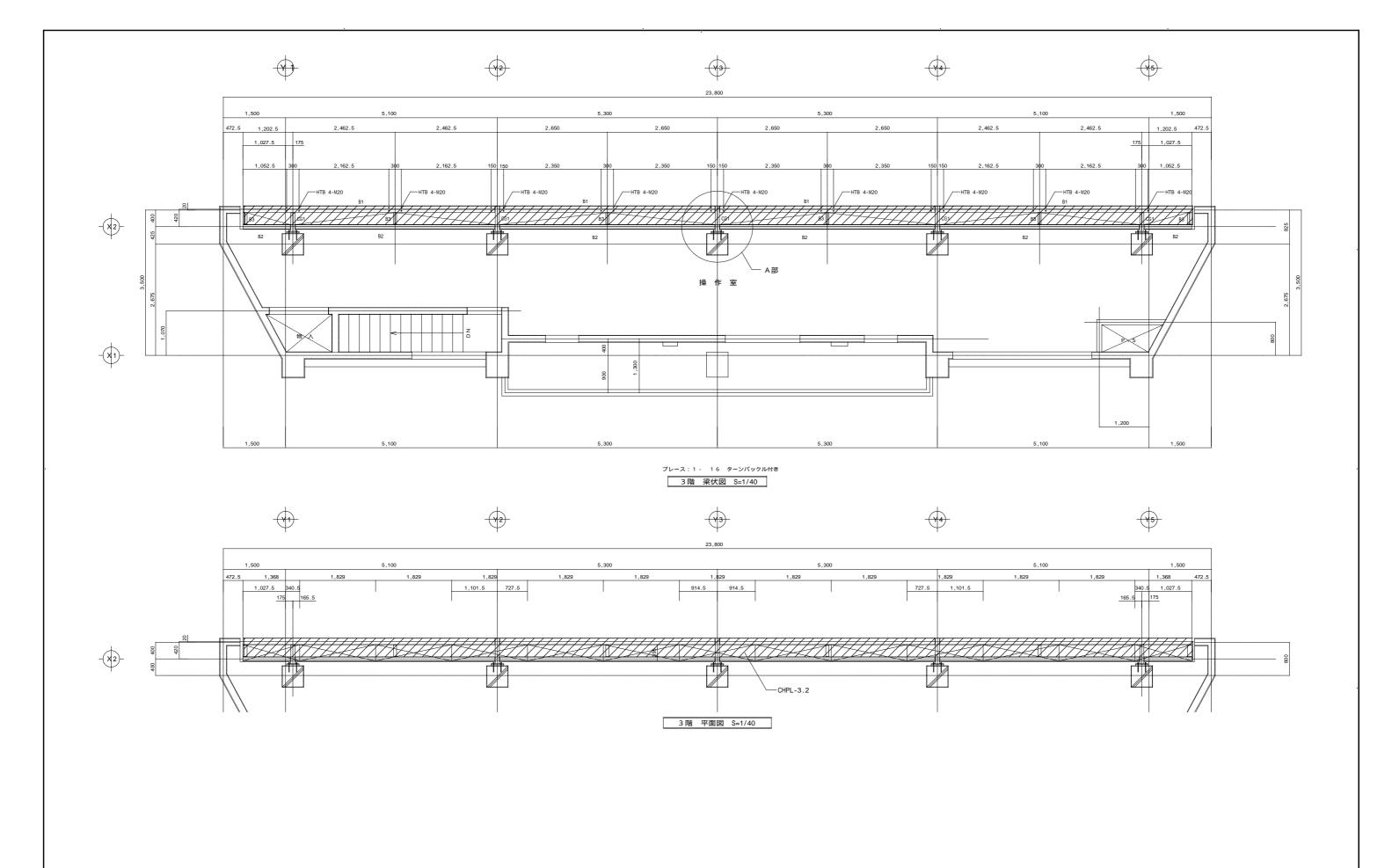
撤去範囲

-																
ı				設計者			法適合確認	8欄	検証者	設計番号	特記	(大克) B 末初 B 上 数 # B 、 (大克)	工事名	図面番号		
ı	一級建築士	一級建築士					設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事	1	E-157	
1	第286776号	第384579号					第6211号						図面名	縮尺	1 : 30(A1)	•
- 1	渡邊 和幸	浅山 明	西山 浩司				浅山 明	]	寺田 庄作				大型映像装置設備 スコアボード断面詳細図(改修前)	1	1 : 60(///)	

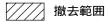








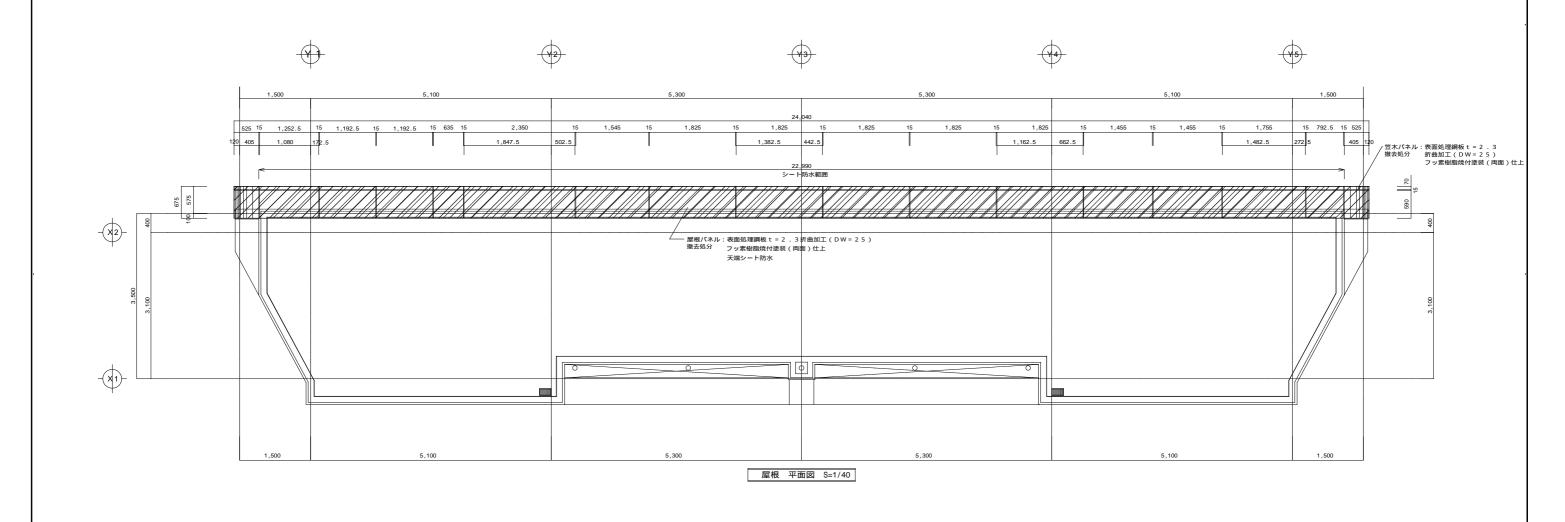




			設計	者				法適合確認相	刷	検証者	設計番号	特記	(t)	工事名	図面番号		
一級建築士	一級建築士							设備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-159	
第286776号	第384579号							第6211号						図面名	縮尺	1 : 40(A1)	12
and an ata	24.1. BB		Г			1	7	24.1. 00		±m +#=				大刑映像装置設備 フコアボード3階平面図・②伏図(改修前)		1 . 40(////)	

AZUSA SEKKEI Architecta, Ragineara & Consultranto 株式会社 椊散計 関西支社



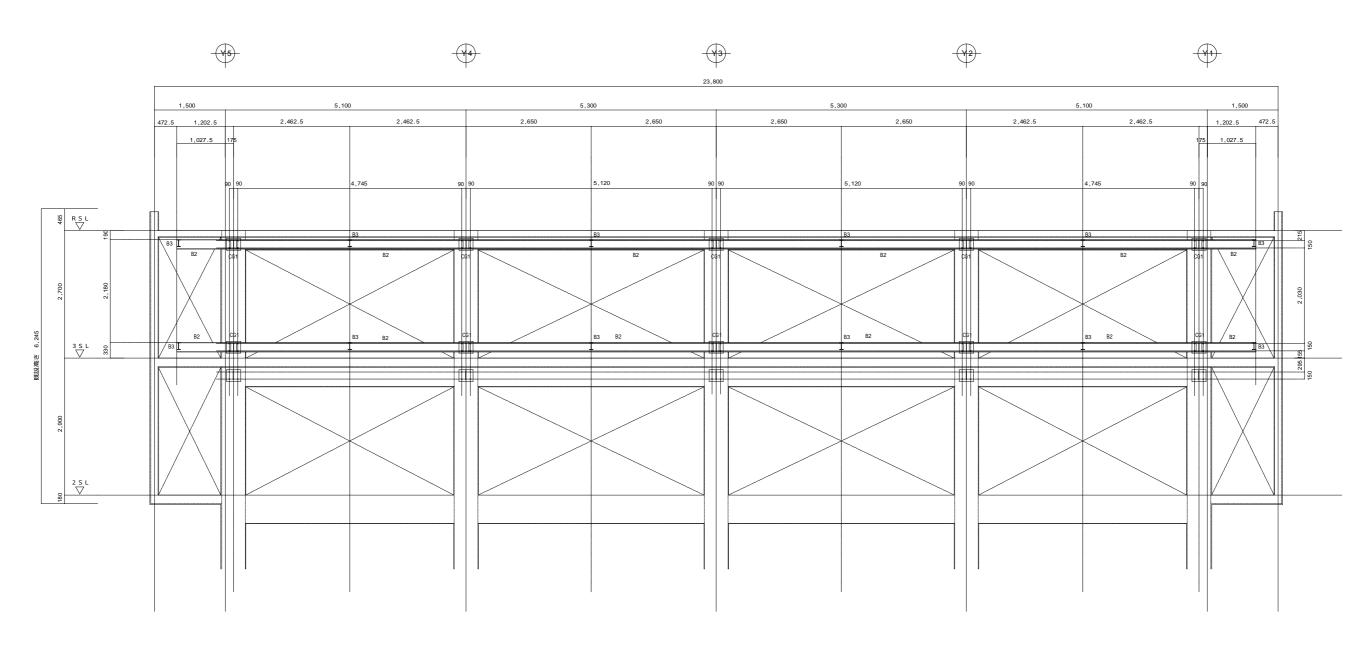


撤去範囲

			is	計者				法適合確認欄	検	証者	設計番号	特記	(大克)是主教员   数供品 , (大克)	工事名	図面番号		
一級建築士	一級建築士							設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-160	
第286776号	第384579号							第6211号						図面名	縮尺	1 : 40(A1)	1
渡邊 和幸	浅山 明	7	西山 浩司		7	1	1 [	浅山 明	- 寺田 月	re l				大型映像装置設備 スコアボード屋根平面図(改修前)		1 . 40(//1)	1

AZUSA SEKKEI Architecte, Sugment a Consultanto
株式会社 梓設計 関西支社





X 2 '軸組図 S=1/40

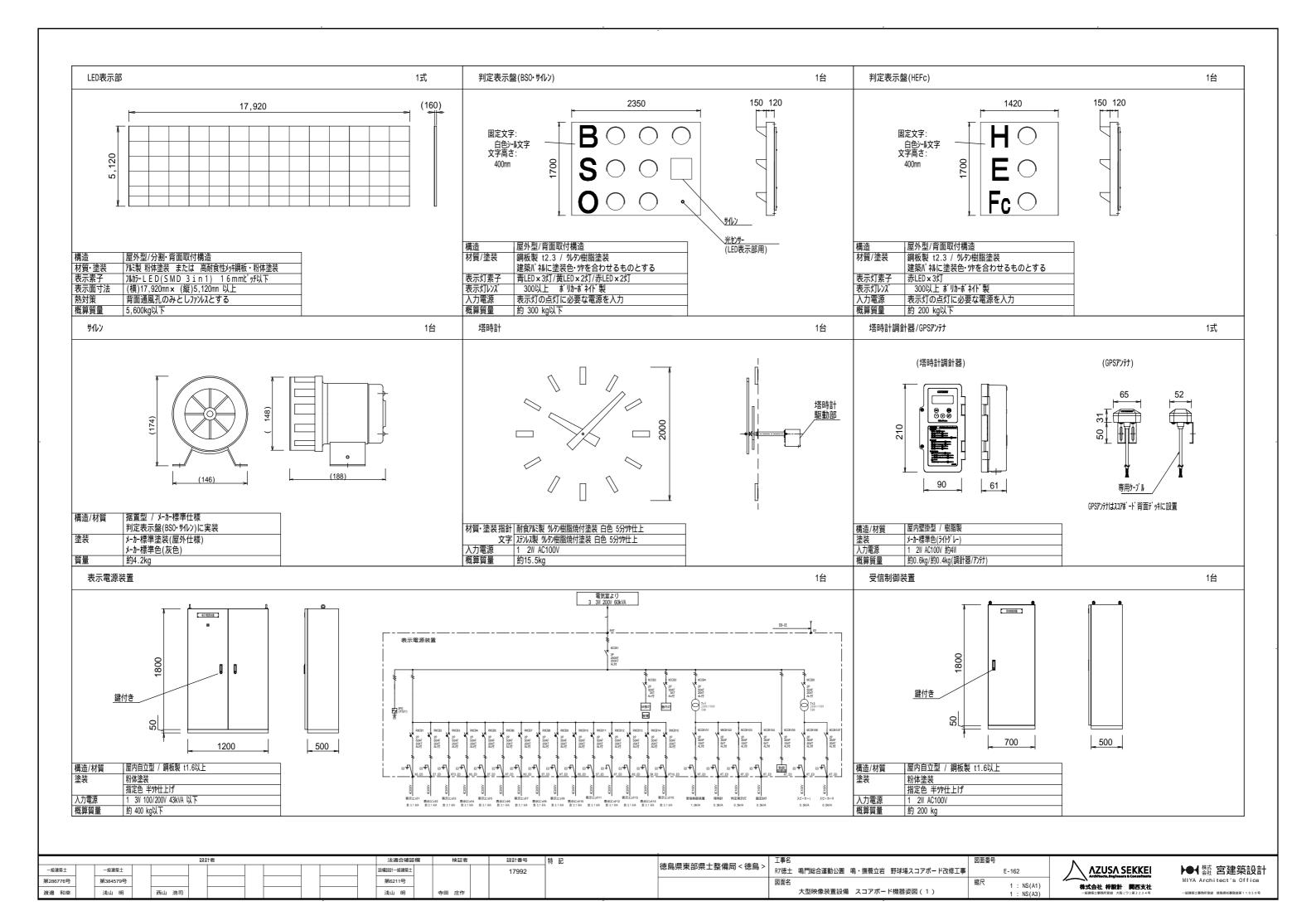
参考図

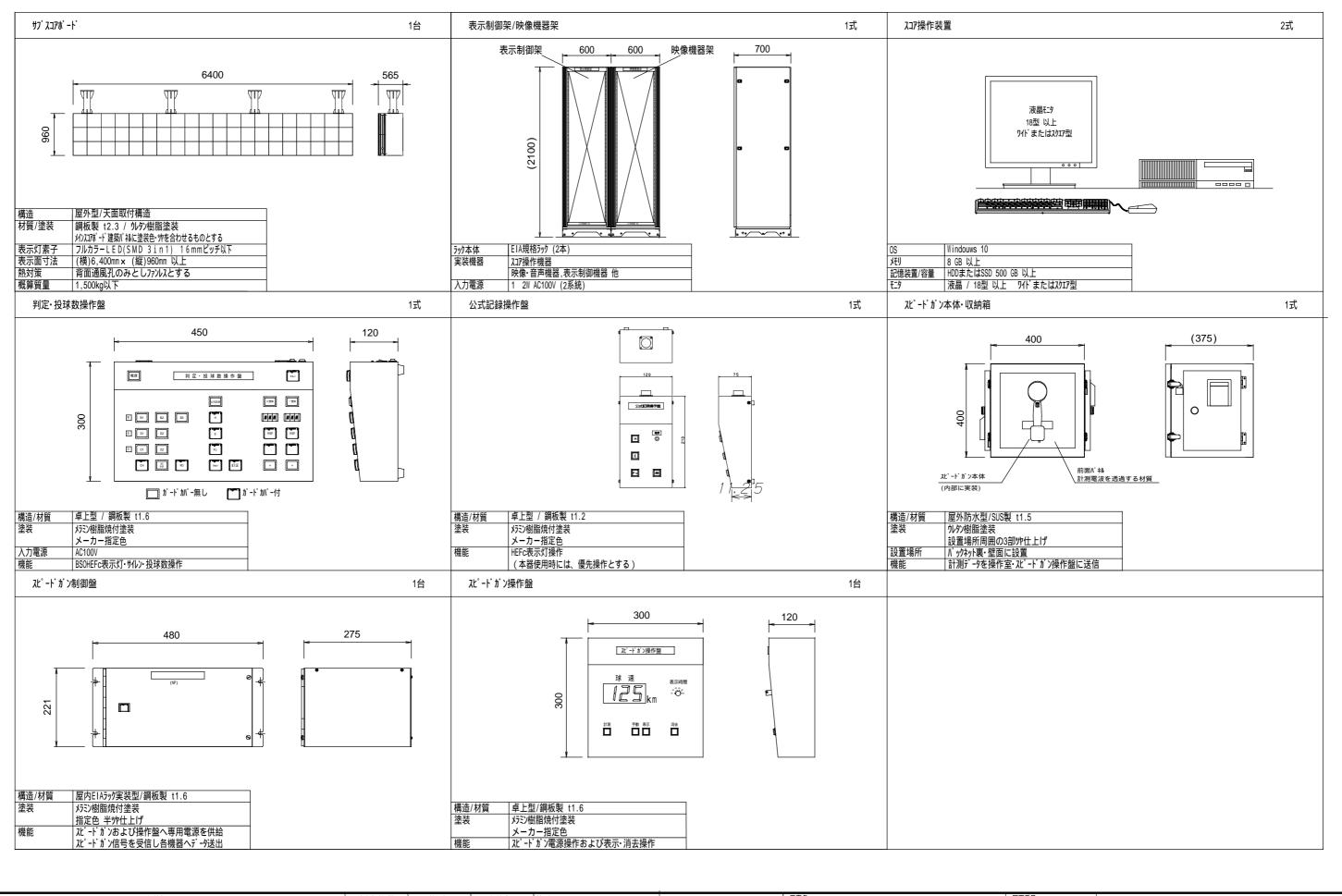
撤去範囲

L																
				設計者			法適合確認欄	検証者	i .	設計番号	特記	(大克)尼主教(B)   数(B)   (大克)	工事名	図面番号		
	一級建築士	一級建築士					設備設計一級建築士			17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-161	1 4
ſ	第286776号	第384579号					第6211号						図面名	縮尺	1 : 40(A1)	1
П	again. Ende	34.11 DB	## 1			1	:±.1. 08	+m +/-					大型映像装置設備 スコアボード取付細材軸組図(改修前)		4 00(40)	i





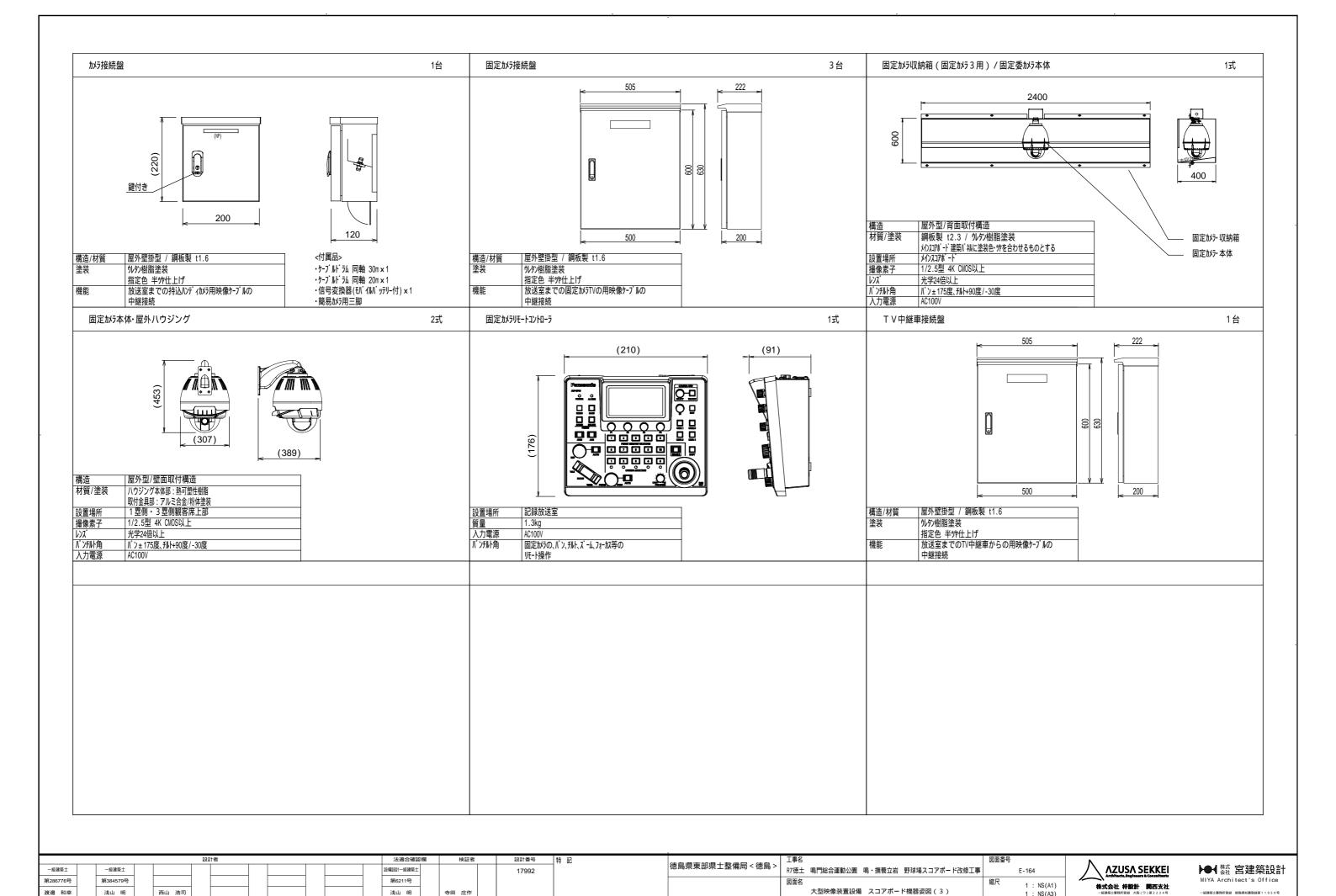


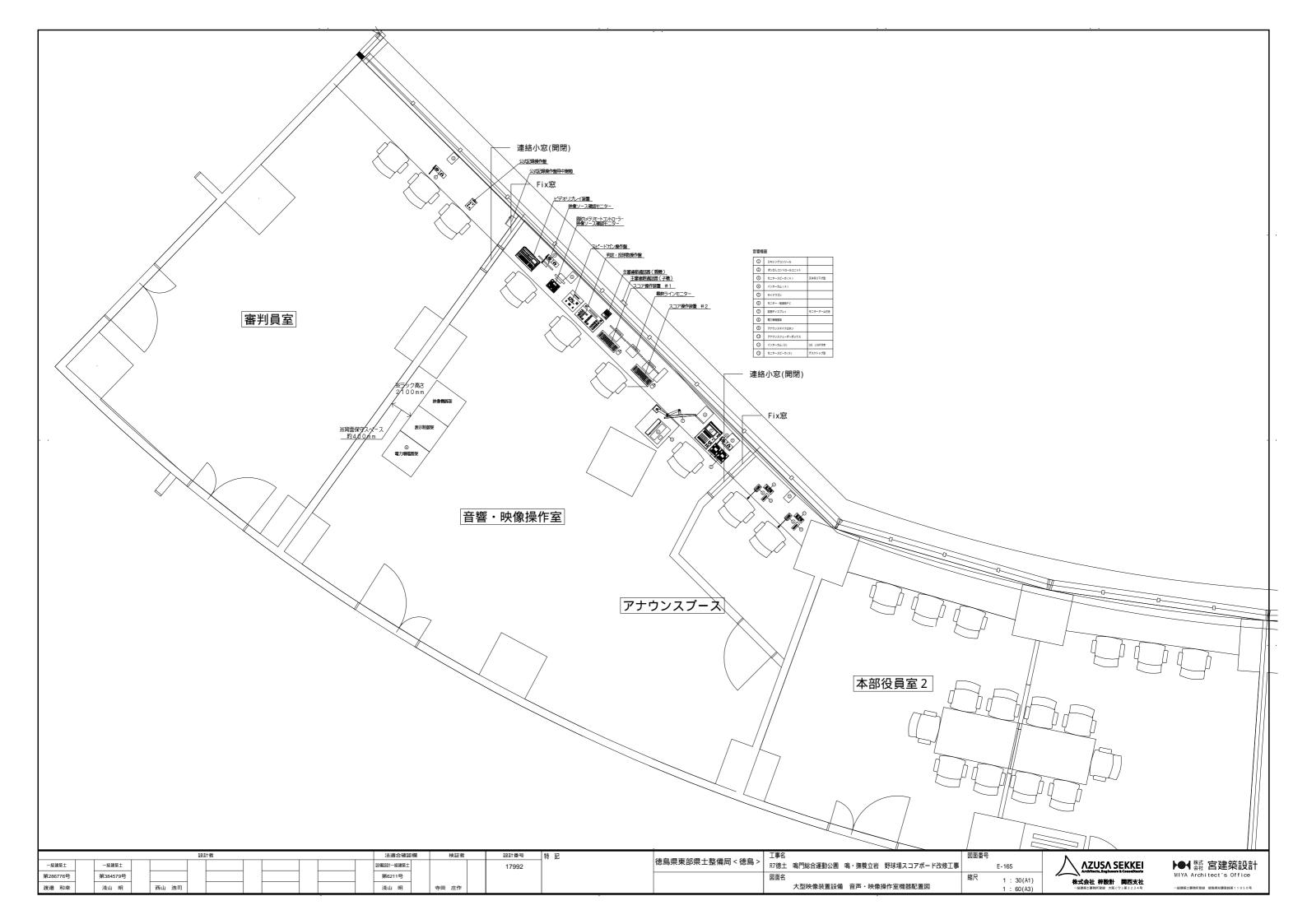


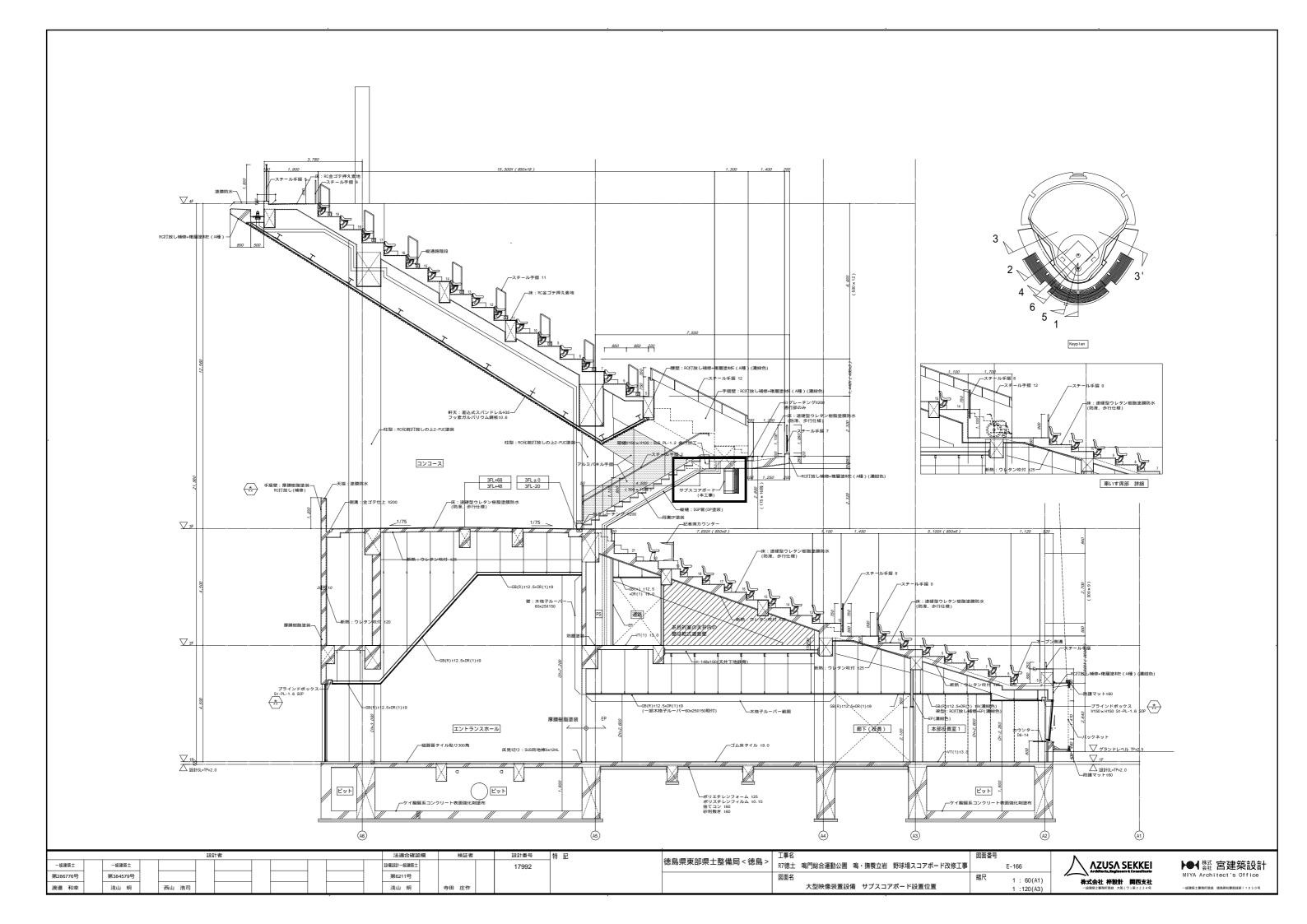
			設	計者			法適合確認欄	検証者	設計番号	特記	<b>,</b> , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	工事名	図面番号	
一級建築士	一級建築士						設備設計一級建築士		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳土 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアボード改修工事		E-163
第286776号	第384579号						第6211号					図面名	縮尺	1 : NS(A1
渡邉 和幸	浅山 明	西山 浩	1]				浅山 明	寺田 庄作				大型映像装置設備 スコアボード機器姿図(2)		1 : NS(A3

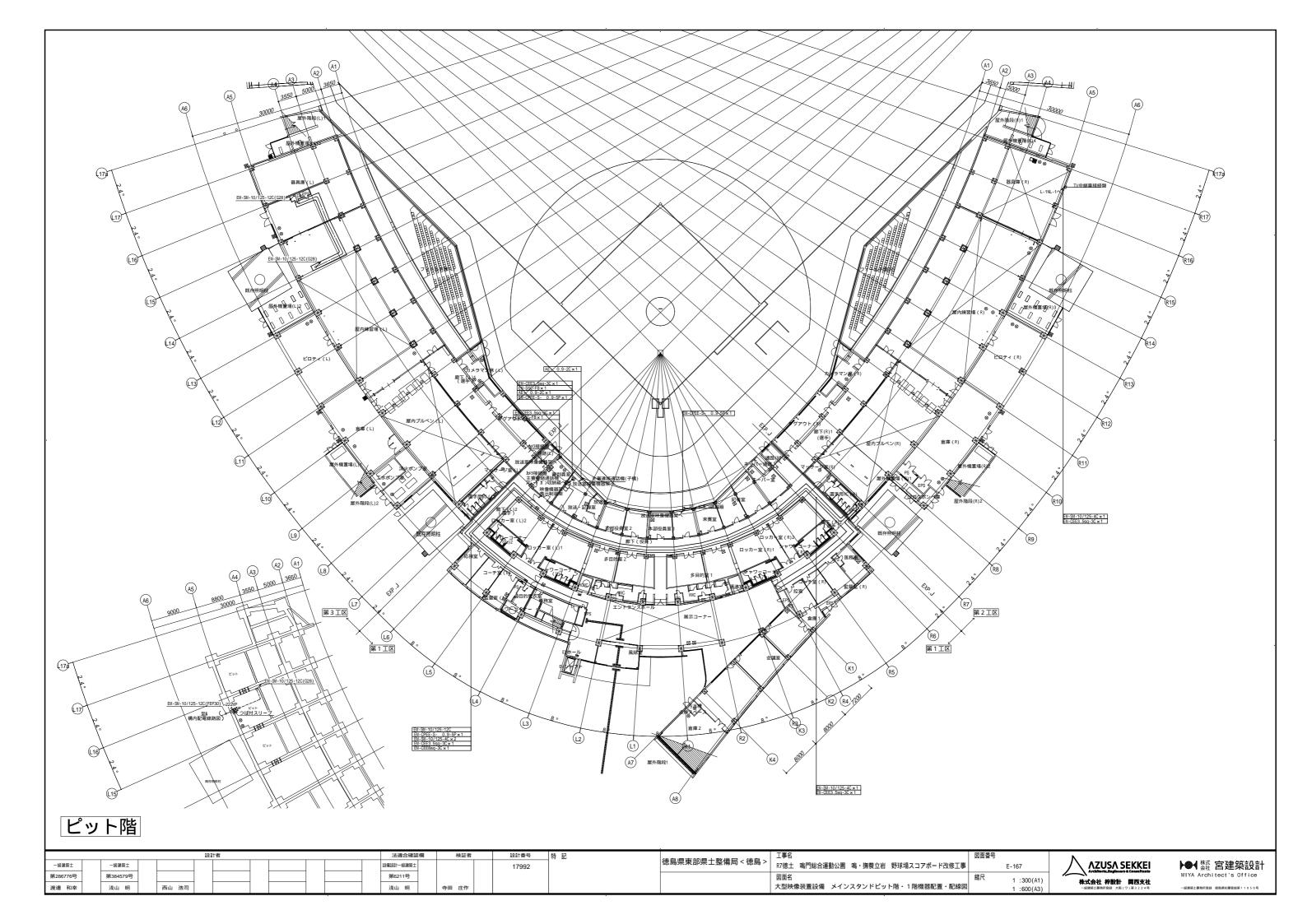


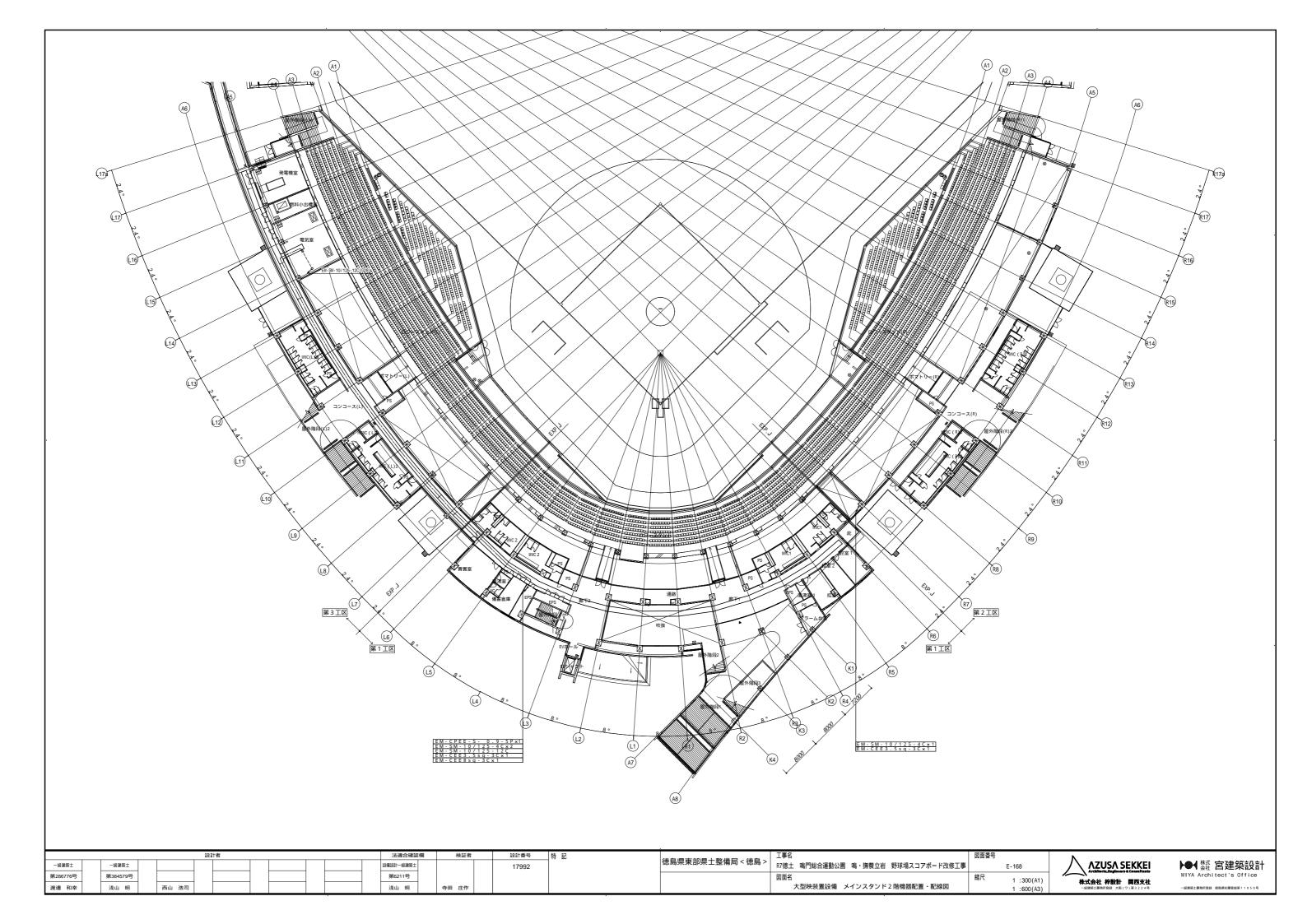


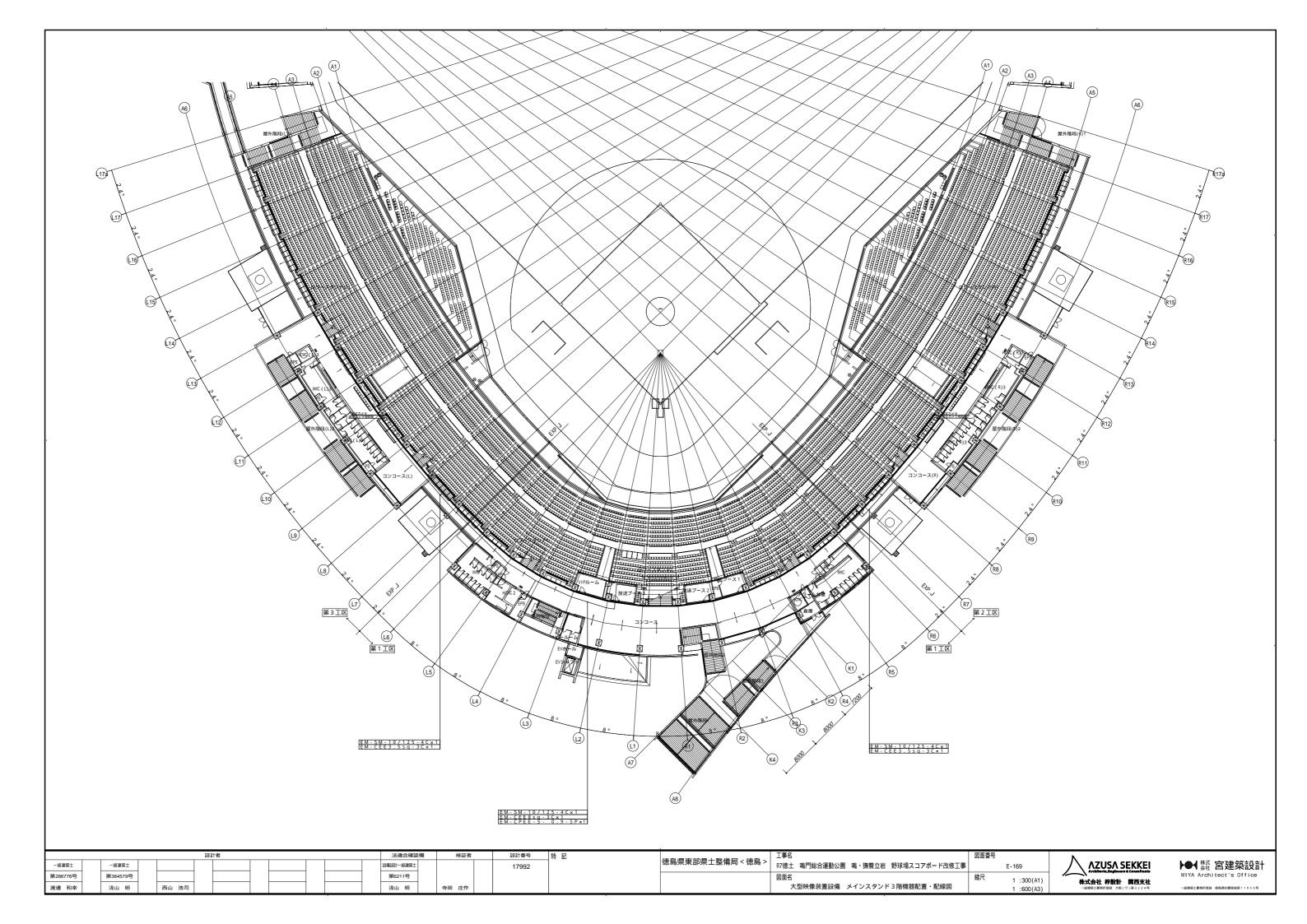


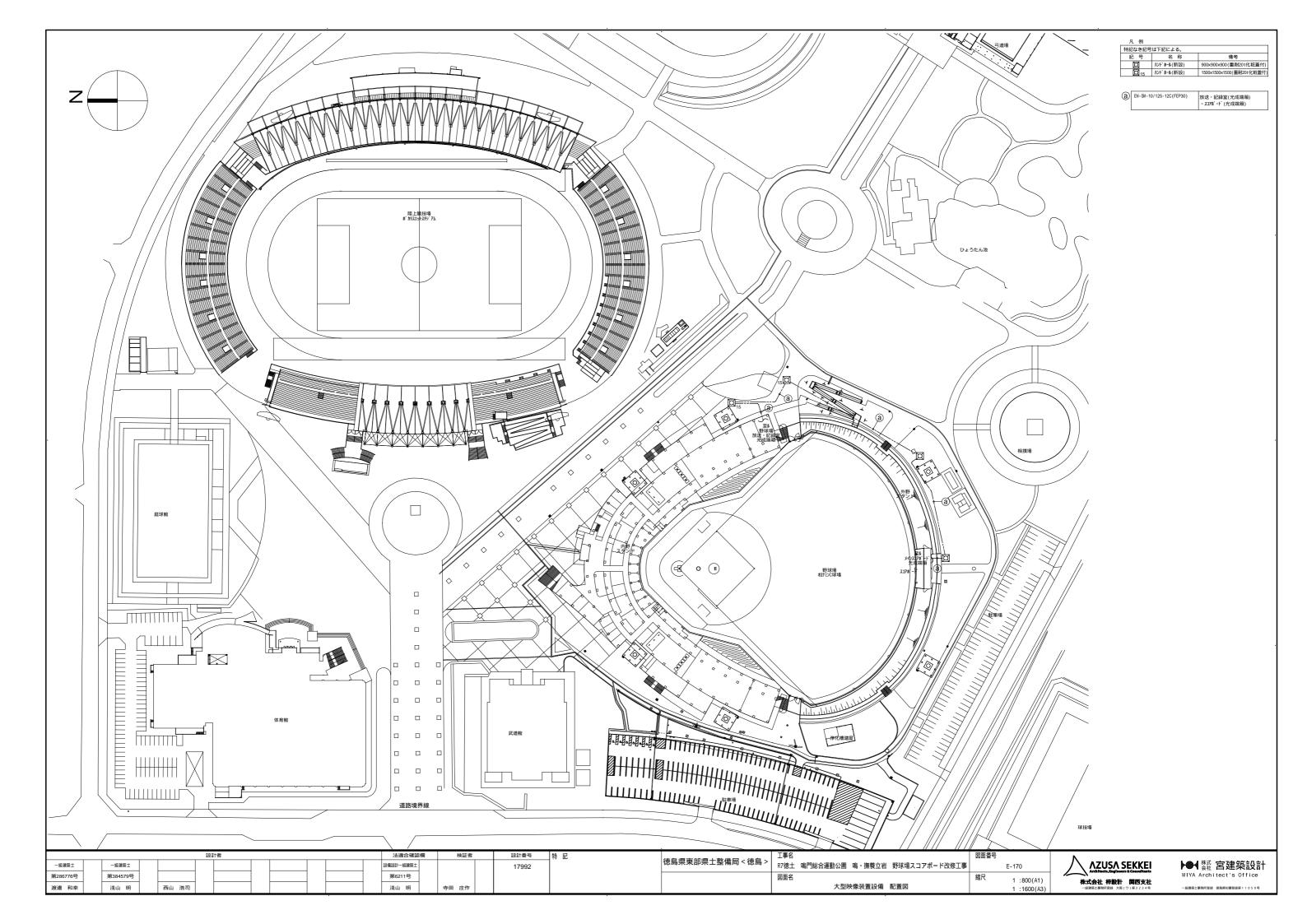


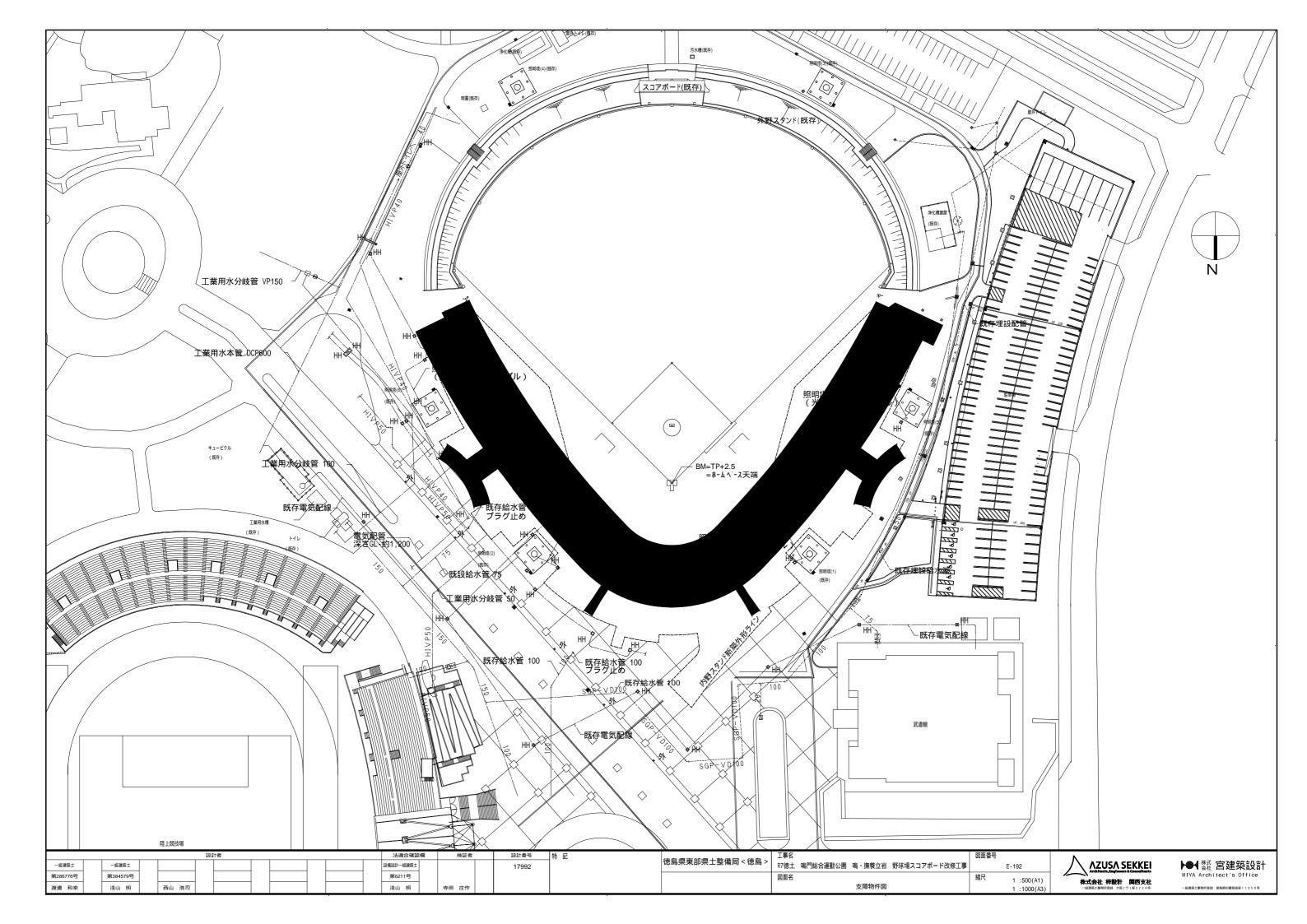


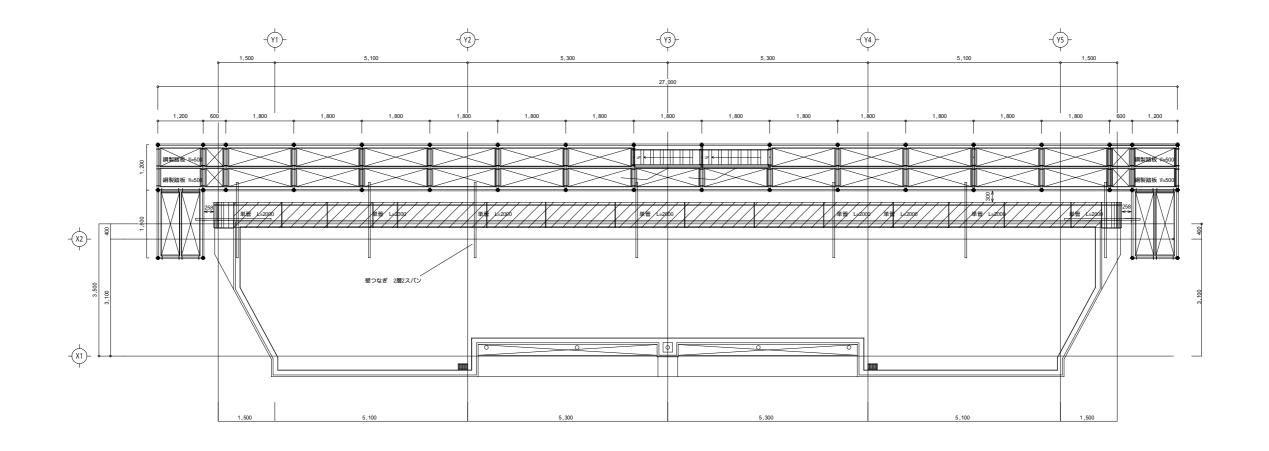












				設	計者			法適合確認欄	検証者	設計番号	特記	<b>建筑是</b>	工事名	図面番号	
一級建築士	一級建	築士						設備設計一級建築士		17992		徳島県東部県士整備局 < 徳島 >	R7徳士 鳴門総合運動公園 鳴・撫養立岩 野球場スコアポード改修工事		E-193
第286776号	第384	579号						第6211号					図面名	縮尺	1 : 50(A1)
渡邉 和幸	浅山	明	西山 浩	5]				浅山 明	寺田 庄作				大型映像装置設備 スコアボード足場図(平面図)		1 :100(A3)





